

令和5年度第1回総合教育会議

日 時：令和5年7月27日(木)16時00分～
場 所：役場3－A B会議室

1 開会挨拶

2 協議事項

- (1) 第7次幕別町生涯学習中期計画、第2期幕別町スポーツ推進計画及び幕別町教育大綱（2024年度～2028年度）について【資料1－1～4】
- (2) 「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について」に関する保護者アンケートの結果について【資料2－1～2】
- (3) 令和5年度図書館運営計画について【資料3】

3 その他

4 閉会

【配布資料】

- 資料1－1 第7次生涯学習中期計画、第2期幕別町スポーツ推進計画及び教育大綱策定スケジュール
- 資料1－2 第6次幕別町生涯学習中期計画
- 資料1－3 第1期幕別町スポーツ推進計画
- 資料1－4 幕別町教育大綱（2019年度～2023年度）
- 資料2－1 「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について」に関する保護者アンケートの結果について【概要】
- 資料2－2 「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について」保護者アンケート【集計総括（データ）】
- 資料3 令和5年度図書館運営計画【事業計画】

第7次生涯学習中期計画、第2期幕別町スポーツ推進計画及び教育大綱策定スケジュール
令和5年 令和6年

◆:事務局の作業

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
<p>【総合教育会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1回(7/27) ●第2回(10/30) ●第3回(12/19) ●第4回(2/19) 											
<p>◇第6次計画評価書(教委内部評価)</p> <p>【生涯学習中期計画・スポーツ推進計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1回社会教育委員会(6/7) <ul style="list-style-type: none"> 【諮問】 【全体会議】①役員選出 ②部会構成 ●第2回社会教育委員会(7/12) <ul style="list-style-type: none"> 【全体会議】①計画策定の方針 ②部会長の決定 ③各部会の進め方の確認 【専門部会】①3部会による第6次中期計画書の評価 <ul style="list-style-type: none"> ※資料:第6次計画書 ※資料:事務事業評価書 ②部会長協議-次回の進め方の確認 ●第3回社会教育委員会(8/下) <ul style="list-style-type: none"> 【専門部会】①第6次中期計画書の評価 ②アンケート協議 ◆アンケート発送(9/中) ▲アンケート回収期間(~10/上) ◆アンケート集計分析(~10/中) ●第1回スポーツ推進委員会(7/13) <ul style="list-style-type: none"> ①計画策定の方針及びスケジュールについて ●第2回スポーツ推進委員会(9/上) <ul style="list-style-type: none"> ①第1期スポーツ推進計画の評価 ②アンケートの内容について ●第3回スポーツ推進委員会(10/下) <ul style="list-style-type: none"> ①アンケート結果について ②計画書文書の確認 ●第4回社会教育委員会(10/下) <ul style="list-style-type: none"> 【全体会議】①各部会の進捗状況の確認 ②アンケート結果について 【専門部会】①計画書文書作成 ●第5回社会教育委員会(11/中) <ul style="list-style-type: none"> 【全体会議】①計画書全体の文書の確認 ◆答申原案編集・印刷製本 ▲パブコメ ●第6回社会教育委員会(2/中) <ul style="list-style-type: none"> 【部会長会議】①計画書全体の文書の確認 ●第7回社会教育委員会(3/上) <ul style="list-style-type: none"> 【全体会議】答申原案の製本印刷完成 【答申】 ★教育委員会議決(3/中) 											
<p>【教育大綱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第2回総合教育会議(10/30) <ul style="list-style-type: none"> 教育大綱素案の作成 ●第3回総合教育会議(12/19) <ul style="list-style-type: none"> 教育大綱素案の作成 ▲パブコメ ●第4回総合教育会議(2/19) <ul style="list-style-type: none"> 教育大綱案の作成 ★教育大綱策定 											
<p>【議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★総務文教常任委員会所管事務調査(1/上) ★各計画議会配付(3/下) 											

スポーツ推進計画は、スポーツ推進委員会の意見を参考に、社会教育委員会において改訂作業を行います。



幕別町教育委員会

はじめに

国は、少子高齢化に歯止めをかけ、子ども、高齢者、障がい者など、全ての人々が、それぞれの能力を発揮でき、生きがいを感じることができる「一億総活躍社会」の実現に向けた取組を進めています。

また、地方では、それぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生する「地方創生」の深化を図るため、総合戦略に基づく様々な施策を推進しているところです。

第6次幕別町生涯学習中期計画は、まちづくりの基本である「第6期幕別町総合計画（2018年度～2027年度）」に示されている、基本目標の「協働と交流で住まいる」と「豊かな学びと文化、スポーツで住まいる」を基本として策定いたしました。

この新たな中期計画のもと、特に、子どもたちの生きる力の育成、豊かな心を育むための学校教育への支援や家庭教育への支援を行うとともに、子どもの読書活動をはじめとした読書のまちづくり、未来のオリンピックを目指す子どもたちや、障がいのある人からお年寄りまで、幅広い方々がスポーツに親しめるスポーツ・レクリエーション活動などを重点として計画を推進してまいりますので、共に取り組んでくださいますよう、町民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

本計画の策定に当たり、度重なる熱心な審議をいただき、答申を賜りました幕別町社会教育委員会委員の皆様をはじめ、生涯学習に関する町民意識調査にご協力をいただいた町民の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

2019年3月

幕別町教育委員会 教育長 菅野 勇次

目 次

第1章 計画の策定

- 1 生涯学習とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (1) 幕別町の地域特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (2) 実施事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - (3) 町民意識調査から見たこと・・・・・・・・・・ 9
- 3 計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 4 計画の性格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 5 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 6 計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

第2章 基本構想

- 1 めざす姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2 幕別町の教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (1) 学校教育目標と実践指標・・・・・・・・・・ 14
 - (2) 社会教育目標と実践指標・・・・・・・・・・ 14

第3章 基本計画

- 1 国内交流や国際交流の推進・・・・・・・・・・ 15
- 2 豊かな人生を育む生涯学習の推進・・・・・・・・ 16
- 3 「生きる力」を育む学校教育の推進・・・・・・・・ 18
- 4 青少年の健全育成の推進・・・・・・・・・・ 22
- 5 芸術・文化活動の振興・・・・・・・・・・ 23
- 6 歴史的文化の保存・伝承・・・・・・・・・・ 24

7 健康づくりとスポーツ活動の振興	26
-------------------	----

資 料

(1) 町民意識調査の結果	28
(2) 幕別町生涯学習中期計画案の策定について（諮問）	57
(3) 第6次幕別町生涯学習中期計画策定経過	58
(4) 幕別町社会教育委員会委員名簿	59

第1章 計画の策定

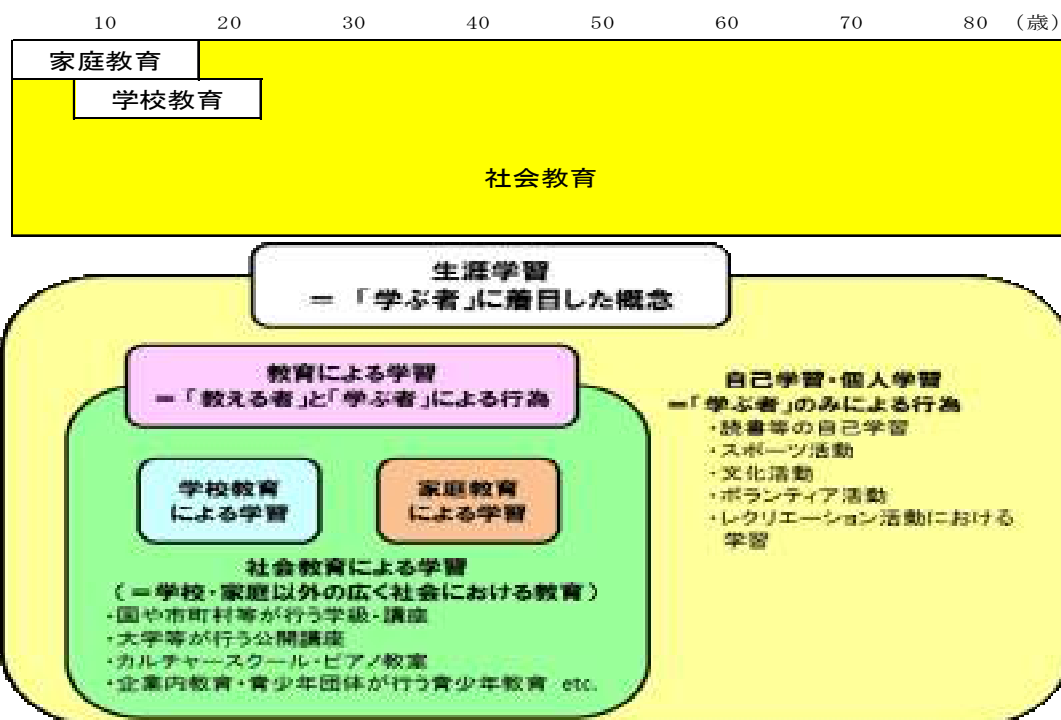
1 生涯学習とは

生涯学習は、私たちが生涯にわたって行う学習活動です。私たちは、生まれるとすぐに、家庭を中心として学習を始めます。やがて、学校に通い学習を進めるとともに、地域社会でもいろいろな学習機会に出会い、学習する事柄を広げていきます。さらに、学校を卒業して社会に出ると、仕事に関わる学習や、豊かで充実した人生を送るための学習を続けることになります。

このように、家庭・学校・職場・地域社会で行われる全ての学習を生涯学習として捉えることができ、生涯学習は、私たち一人ひとりの生きていく姿そのものに深く関わっているといえます。

また、生涯学習は、一人ひとりの人生を生きがいのある充実したものにするだけでなく、学びを通じて人と人がつながり、お互いを尊重し合い、交流を深めながら幸せと誇りを感じられる、住みよい地域社会の構築に大きな役割を果たすことが期待されています。

【生涯学習社会の概念】



2 現状と課題

少子化や核家族化などによる社会の変化は、子どもたちの生活体験や自然体験の機会を減少させ、社会性の未発達やコミュニケーション不足による人間関係の希薄化をもたらしています。

また、スマートフォンやゲーム機の急激な普及、高度化により、SNS等によるトラブルが増しているなど、青少年を取り巻く環境も大きく変化しています。

こうした子どもたちや青少年を巡る課題に対応するためには、学校のみならず、家庭や地域の果たす役割が大きく、家庭や地域の教育力を一層高めていくことが重要です。

生涯学習への意欲や関心が高まる中で、多様なニーズに応じた学習を継続して行うことができる環境が求められており、あらゆる年齢層に応じた学習環境を充実させていく必要があります。

また、高齢化の進行を踏まえ、今後、ますます、高齢者が地域活性化の担い手となる状況が想定されることから、学びの成果を生かす機会の確保など、さらなる活動意欲を高めるための取組が必要です。

(1) 幕別町の地域特性

幕別町は、北海道・十勝の主要都市である帯広市の東に位置し、東西 20 km、南北 47 km の距離で、総面積 477.64 km²、人口約 27,000 人の農業を基幹産業とした「パークゴルフ」と「ナウマン象」の町です。

本町は、大きく幕別、札内、忠類の三つの地区で形成され、人口は、平成 17 年から平成 27 年までの 10 年間で 108 人の微減となり、地区別で見ると、幕別地区で 993 人の減少、札内地区で 1,139 人の増加、忠類地区では 254 人減少しています。

「パークゴルフ」は昭和 58 年に本町で考案され、愛好者は日本国内はもとより世界へ広がり、健康増進、地域や家庭のコミュニケーションを支えるという社会

的効果や経済効果など本町のまちづくりに大きな効果をもたらしています。

また、「ナウマン象」の化石骨が昭和44年に忠類晩成の農道工事現場で偶然発見され、これまでの研究を書き換えるほどの貴重な発見となり、発掘されたナウマン象の化石骨の復元骨格標本は、日本国内のみならず、海外にも展示されています。

○人口の推移

	H17	H22	H27	H17/H27 比
人口	26,868 人	26,547 人	26,760 人	△108 人
幕別地区	6,789 人	6,322 人	5,796 人	△993 人
札内地区	18,294 人	18,607 人	19,433 人	1,139 人
忠類地区	1,785 人	1,618 人	1,531 人	△254 人
世帯数	10,126 世帯	10,359 世帯	10,944 世帯	818 世帯

※出典：国勢調査

まちの人口 26,927人 (平成30年4月30日現在)

まちの面積 477.64km² (平成29年10月1日現在)

町名の由来 アイヌ語で「マウンペツ」(山頂)を流れる川という意味から。

まちの産物
 産物(特産品)、畜産が盛ん。
 フンサイ、小栗、馬鈴薯、豆、アザイモ、レタス、ニラなど生産物。
 2004年(平成16年)に品種登録されたヒダ種や毛丸がほとんどないアザイモの新品種「和歌山」や、黄色で小粒の馬鈴薯「インカのみずめ」(真っ白な「ゆり」種)が特に有名。

まちの歴史
 1897年(明治30年):開町
 1969年(昭和44年):忠類でナウマン象の化石が発見
 1983年(昭和58年):パーゴラが完成
 2006年(平成18年):自治農村と合併

町の花
「シバザクラ」



町の木
「カシワ」



町の鳥
「オオハクチョウ」



まちの地図



(2) 実施事業

年度 (西暦)	平7 1995	平8 1996	平9 1997	平10 1998	平11 1999	平12 2000	平13 2001	平14 2002	平15 2003	平16 2004	平17 2005	平18 2006	平19 2007	平20 2008	平21 2009	平22 2010	平23 2011	平24 2012	平25 2013	平26 2014	平27 2015	平28 2016	平29 2017	平30 2018	2019	2020	2021	2022	2023
幕別町総合計画	第3期幕別町総合計画					第4期幕別町総合計画					第5期幕別町総合計画					第6期幕別町総合計画													
幕別町生涯学習中期計画	幕別町生涯学習中期計画		第2次幕別町生涯学習中期計画			第3次幕別町生涯学習中期計画			第4次幕別町生涯学習中期計画				第5次幕別町生涯学習中期計画			第6次幕別町生涯学習中期計画													
忠類村社会教育中期計画	第3期忠類村社会教育中期計画			第4期忠類村社会教育中期計画			第5期忠類村社会教育中期計画																						
北海道総合計画	北海道新長期総合計画		第3次北海道長期総合計画					新・北海道総合計画(ほっかいどう未来創造プラン)					北海道総合計画																
北海道教育長期総合計画	北海道新教育長期総合計画		第3次北海道教育長期総合計画					第4次北海道教育長期総合計画					北海道教育推進計画																

- ・幕別町開基100年
- ・学校週5日制(第2・第4土曜日)
- ・新学習指導要領告示
- ・「第2次生涯学習中期計画」策定
- ・池田小児童殺傷事件
- ・「第3次生涯学習中期計画」策定
- ・「読書のまち構想」策定
- ・新学習指導要領
- ・完全学校週5日制
- ・「第3次生涯学習中期計画」策定
- ・「読書のまち構想」策定
- ・幕別町、忠類村合併
- ・教育基本法改正(平20公布)
- ・学校教育法改正
- ・幼稚園教育要領改正
- ・新学習指導要領全面实施(小学校)
- ・新学習指導要領全面实施(中学校)
- ・小中学校学習指導要領改訂
- ・社会教育法、図書館法、博物館法改正
- ・「第4次生涯学習中期計画」策定
- ・「第4次生涯学習中期計画」策定
- ・スポーツ基本法施行
- ・新学習指導要領全面实施(小学校)
- ・滋賀県大津市中学男子生徒自殺事件
- ・「第5次生涯学習中期計画」策定
- ・「第6次生涯学習中期計画」策定
- ・幕別町開基120年、合併10周年
- ・役場新庁舎落成

幼稚園教育	<ul style="list-style-type: none"> ・混合縦割り保育 ・預り保育 ・幼稚園協議委員制度(試行) ・満3歳児入園 																										
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助制度 ・奨学金制度 ・英語指導助手 ・スクールカウンセラー ・悩み相談ダイヤル ・小規模校特別転入学制度 ・特色ある教育活動支援事業 ・教育ネットワーク会議 ・心教室相談員 ・中里小学校開校 ・学校給食センター完成 ・白人小開校100周年 ・幕別中、糠内中開校50周年 ・相川小開校 ・小規模校特別転入学制度 ・開かれた学校づくり推進モデル事業 ・ジュニア教育委員会 ・地域教育連携支援事業 ・まっく心の教室 ・まっく心の教室 ・学校協議員制度 ・まっく心の教室 ・古舞小開校100周年 ・学校教育推進アドバイザー ・札幌北小通学区域弾力化事業 ・札幌中開校30周年 ・ゆとりいきいきパートナー事業 ・全小中学校でインターネット接続 ・日本体育・学校保健センター負担金(全額公費) ・札幌北栄町等通学区域弾力化 ・特別支援教育支援員 ・忠類小開校100周年 ・こどもサポーターの配置 ・札幌中開校30周年 ・青少年相談員廃止 ・幕別小開校30周年 ・札幌南小開校30周年 ・札幌小開校 ・中札幌高等養護学校幕別分校の開校 ・道立幕別清陵高校の開校 																										
社会教育	<ul style="list-style-type: none"> ・海外研修事業(成人) ・中学生海外研修事業 ・中学生国内研修事業 ・児童生徒健全育成推進委員会 ・青少年相談員 ・子ども会育成連絡協議会 ・まなびや相川 ・小学生国内研修事業(東郷町)(現日向市東郷地区) ・いじめ問題等対策委員会 ・スワディ講座 ・学校芸術鑑賞 ・生涯学習講座 ・ふるさと館展示(学徒援農) ・しらかば大学 ・紙芝居講座 ・ふれあい子育て学習会 ・ふれあい子育て読書講演会 ・ふるさと館ジュニアスクール(昭61) ・生涯学習リーダーバンク ・生涯学習講師派遣事業 ・青少年健全育成センター設置 ・北の文化シンポジウム ・図書館開館10周年 ・地域文庫(糠内コミセン) ・図書館札幌分館の夜間延長 ・あっちこっち紙芝居事業 ・ふるさと館開館20周年 ・ミニ歴史館 ・高校生海外研修事業 ・高校生海外留学補助制度 ・国際交流ホストファミリー事業 ・地域ぐるみの学校安全推進モデル事業 ・地域教育力・体験活動推進協議会(体験活動ボランティア活動支援センター) ・ふれあい子育て読書推進運動(ブックスタート事業) ・親子ふれあい事業(道民家庭の日:(財)北海道青少年育成協会) ・札幌IK遺跡発掘 ・札幌IK遺跡発掘 ・忠類村青年会休止 ・幕別町図書館忠類分館 ・子ども110番の家 ・IT講習 ・安東ウメ子CD「シリビリカ」 ・十勝管内広域個人貸出事業開始 ・図書館新システム導入 ・ふるさと館合併年表作成 ・学童保育所がこども課へ移管 ・集団研修施設こまはたオープン ・札幌市民館改修 ・青少年問題協議会解散 ・児童生徒健全育成推進委員会へ統合 ・町民会館耐震改修 ・札幌IK遺跡発掘 ・ふるさと館30周年記念「丸木舟」制作 ・百年記念ホール指定管理開始 ・幕別町文化協会設立40周年 ・第2期幕別町子どもの読書活動推進計画策定 ・中学生、高校生海外研修先メルローズハイスクールへ ・図書館蔵書管理新システム導入 ・日南市小学生国内研修解消(H25まで) ・埼玉県上尾市こども会交流40周年 ・中土佐町、開成町小学生国内研修開始 ・ナウマン象記念館開館30周年 ・札幌内福祉センター廃止 ・しらかば大学創立40周年 ・ナウマン象化石骨発見50周年 																										
社会体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体育指導員設置 ・陸上競技場完成 ・体育連盟設立40周年 ・温水プール(依田)解体 ・野球場完成 ・トレーニング指導員配置 ・PGジュニアスクール ・幕別町民プール温水化 ・スポーツセンター通年開館 ・国際パークゴルフ協会NPO法人格取得 ※体育連盟(事務局業務を教委から移行) ・トレーニング室機器更新・増設 ・明野が丘スキー場ペアリフト新設 ・体育連盟設立50周年 ・総合型地域スポーツクラブ ・幕別町、忠類村両体育連盟合併 ・幕別町、忠類村両スポーツ少年団合併 ・福島千里、山本幸平、桑井亜乃リオデジャネイロオリンピック出場 ・町出身現役オリンピック選手5名との交流イベント開催 ・日本ハムファイターズ幕別町応援大使(大谷翔平選手・市川友也選手) ・古谷優人福岡ソフトバンクホークスと契約(町初のプロ野球選手) ・高木菜那、高木美帆平昌オリンピック出場(金メダル獲得) ・高木菜那、高木美帆平昌オリンピック金メダル凱旋パレード ・体育連盟設立60周年 ・慶応義塾体育会野球部合宿 ・札幌内スポーツセンター ・農業者トレーニングセンター指定管理開始 ・十勝総合型スポーツクラブフーニ設立 ・日本ハムファイターズイースタンリーグ戦開催 ・福島千里、山本幸平ロンドンオリンピック出場 ・高木菜那ソチオリンピック出場 ・高木菜那、高木美帆平昌オリンピック出場 ・チャレンジデー開催 ・パークゴルフ30周年家族大会開催 																										

(3) 町民意識調査から見たこと（5年前と比べて）

9歳から17歳まで、18歳以上の2階層に分けて、アンケートを実施しました。

ア. 9歳から17歳まで

子どもたちが1日の時間をどのように使っているのかは、テレビやDVDを見る時間、本を読む時間が減少し、インターネットやSNSをする時間が大きく増えてきています。

自由な時間の過ごし方としては、平日は、自分の好きなことをする、家の手伝いをする時間が減り、家族と一緒に過ごす時間が増加しました。一方、休日は、家族と一緒に過ごす、家で勉強する時間が減少し、のんびり休養する、友達と遊ぶ時間が増加しています。

子どもたちがどんな学習に興味を持っているかについては、スポーツ・体力づくり、職業体験が大きな割合を占めています。

また、現在、スポーツをしている子どもの割合が6割を超え、サッカー、陸上、野球のほか、多種目にわたって取り組んでいることがわかります。

反対に、スポーツをしていない理由としては、時間がない、お金がかかるなどの理由が大きな割合を占めています。

○困っていることは

- ・自由な時間がほしい。
- ・人間関係（学校の友人、先生など）

○やってみたいと思うボランティア活動は

- ・ゴミ拾い、清掃活動や被災地でのボランティア活動
- ・お年寄りや小さい子どもとの交流、支援活動

○参加したいスポーツイベント・教室は

- ・高木美帆、高木菜那選手のスケート教室
- ・プロスポーツ選手の指導（野球、サッカー、バスケットボールほか）

イ. 18 歳以上

前回調査時と同様に、自由な時間に本などを読む、スポーツをするといった時間が少なくなってきたおり、その自由時間には、のんびり休養したいと考えている方が多くなっています。

自由な時間に生涯学習に取り組み難い理由としては、周囲の理解や活動への不安は少ないものの、時間がない、経費が掛かるという割合が増加しています。

小・中学校における教育活動や地域の力を学校運営に生かすコミュニティ・スクール制度については、学校の状況がよくわからない、制度を知らないという回答が多く、子育て世代以外の方への情報発信が課題となっています。

また、スポーツをしていない人の割合が7割を超え、その理由として、時間がない、興味がない、仲間がいないが多くなっています。

本町出身のスポーツ選手やアスリートと連携し、今後、どのようなイベントを開催してほしいかについては、子ども向けのスポーツ教室、健康増進を目的とした体づくりの講演会、子どもと大人が参加するスポーツイベントを望む割合が高くなっています。

○困っていることは

- ・モラルに欠けている人がいる。（ゴミ出しルール、路上駐車等）
- ・除雪作業（高齢化）

○参加してみたいと思う生涯学習講座は

- ・健康、体力づくりに関する講座
- ・パソコンやスマートフォン、英会話や手話講座
- ・気軽に参加できる、親子で参加できる講座

○やってみたいと思うボランティア活動は

- ・子育て世代への支援や子どもと関わる活動
- ・お年寄りや障がいのある方への支援
- ・ゴミ拾い、清掃活動

3 計画の目的

この計画は、第6期幕別町総合計画のメインテーマである『みんながつながる 住まいるまくべつ』の実現を目指し、町民が主体的に生涯に渡って学習活動を行い、それぞれのライフステージに応じ、生き生きとした人生を送るための町民の学習活動を総合的に支援する施策の体系として策定するもので、本町の生涯学習に関する施策の総合的な推進を図ることを目的としています。

4 計画の性格

この計画は「幕別町総合計画」を上位計画とし、その基本計画の「協働と交流で住まいる」と「豊かな学びと文化、スポーツで住まいる」を推進するための行政施策を生涯学習の視点から体系づけた部門計画です。

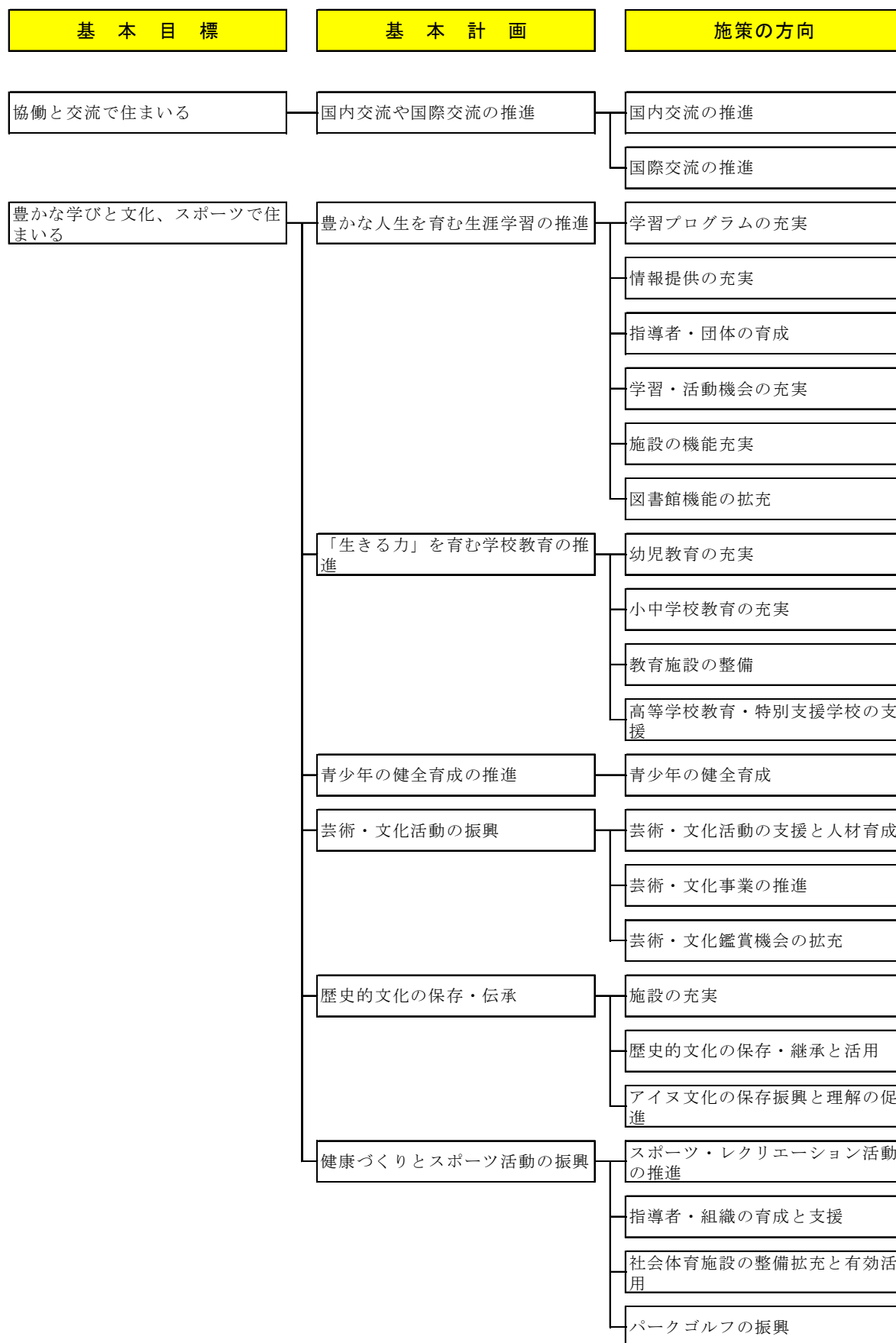
5 計画期間

この計画の期間は、2019年度から2023年度までの5年間とします。

なお、社会情勢等により計画の改定を行う必要が生じた場合には、適宜その見直しを行うものとします。

6 計画の体系

この計画は「幕別町総合計画」に掲げた教育に関する領域の将来像と施策の大綱を実現するために必要な基本的施策を総合的かつ体系的に明らかにするものです。



第2章 基本構想

1 めざす姿

本町の生涯学習を一層推進するためには、町民一人ひとりの学習活動を促進することを基本に、幕別・十勝・北海道の良さや可能性を最大限に生かすこと、人口減少や少子高齢化、子どもたちを巡る様々な課題に向き合うこと、さらに、地域住民相互のつながりを深め、地域づくりを進めていくことなどについて、町民をはじめ、様々な機関・団体等が同じ方向を向いて取り組んでいくことが必要です。

その実現のためには、まずは、町、教育機関、関係団体などが、多様な学習機会の提供や環境づくりなどを通して、町民一人ひとりの学習意欲を高め、自発的な学習活動を促進することが重要です。

これまでに広く浸透している「いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる」という生涯学習から一歩踏み出し、「学びを行動へつなげる」、「子どもたちの学びを広げ、支える」、「地域の良さや課題を学ぶ」という見方に立って、一人ひとりが主体的に学び、その成果を生かすことにより、さらに学びが深まるという循環を生み出すことが大切です。

そのため、町民一人ひとりには、自らの住む地域の将来に思いを巡らせながら、生涯を通じて積極的に楽しく学習に取り組み、自分の住む地域の様々な課題を自らのこととして捉え、学習で得た知識や経験を地域の活性化や子どもたちの成長に生かしていくことが求められます。

このような状況の下、幕別町の教育目標である「郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人」の育成を基本として、文化やスポーツ・健康などに関する学習機会の提供をはじめ、地域とともにある開かれた学校づくりや幼児から高齢者までのライフステージに応じた生涯学習の推進など、これまで推進してきた取組は、本町の生涯学習推進の根幹となるものとして、引き続き、推進・充実を目指していきます。

2 幕別町の教育目標

『郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人』

【具体目標】

- ・豊かな心とたくましい体の育成
- ・豊かな生活と自ら学ぶ力の高揚

- ・豊かな人間愛と国際性の涵養
- ・豊かな郷土と文化の創造

(1) 学校教育目標と実践指標

目 標	強い意志を育み、じょうぶな体をつくる人	自ら学び、すすんで行動する人	広い心を持ち、思いやりのある人	文化に親しみ、郷土を愛する人
要 素	健康、安全、練磨、衛生、忍耐力	探究心、実践力、創造力、自主性、向上心	誠実、寛容、人間愛、協調性、公正	郷土愛、自然愛、文化の創造、勤労、奉仕
幼 児 期	○すききらいをせずによくたべる子 ○元気に遊ぶ子	○いろいろな遊びができる子 ○自分のことは自分でする子	○がまんすることや、ゆずりあうことのできる子 ○絵や歌が好きな子	○よろこんで、てつだいができる子 ○生きものをかわいがる子
小 学 校	○いろいろな運動に親しみ楽しさを広げる子 ○健康や安全に心がける子	○楽しく学び、学年の基礎がわかる子 ○生活の目標をきめ、ねばり強くやりぬく子	○思いやりのある心の優しい子 ○美しいもの、清らかなものに感動できる子	○自然に親しむ子 ○地域活動に親しみ、進んで奉仕活動のできる子
中 学 校	○自ら体力づくりにはげむ生徒 ○余暇を健全にすごす生徒	○学びかたを身につけ意欲的に学習する生徒 ○適確な判断ができる生徒	○互いの立場を尊重し協力しあう生徒 ○美しいもの、清らかなものを大切にできる生徒	○自然を大切にする生徒 ○郷土に対するたしかな理解と愛情をもつ生徒
高等学校	○スポーツを愛好し、心身をきたえる生徒 ○趣味を生かし、余暇を有効にすごす生徒	○創造的に物事を考えることのできる生徒 ○目的をもって意欲的に学ぶ生徒	○互いの立場を尊重し協力しあう生徒 ○美しいもの、清らかなものを大切にできる生徒	○自然を擁護する生徒 ○郷土を愛し地域の発展に参加する生徒

(2) 社会教育目標と実践指標

目 標	豊かな心とたくましい体を育む人	豊かな生活と自ら学ぶ力を求める人	豊かな人間愛と国際性の涵養に努める人	豊かな郷土と文化の創造を目ざす人
要 素	健康、安全、衛生、継続、奉仕	実践力、創造力、積極性、主体性	誠実、寛容、人間愛、連帯、信頼	郷土愛、自然愛、文化の創造、勤労
青 年 (熱、力)	○コミュニティ・スポーツの積極的な推進と展開 ○奉仕活動の積極的な推進と展開	○学ぶ機会を求め、企画推進する ○余暇を生み出す工夫と積極的参加	○仲間意識、仲間づくりの発展 ○国際交流の企画・推進	○文化活動の中心的な企画・推進 ○自然を生かし、活用する運動の企画・推進
父 母 (温かさ、和)	○コミュニティ・スポーツへの参加 ○奉仕活動への参加	○積極的に教養の場を志向する ○余暇の活用を図り生活を充実する	○家族愛、隣人愛の高揚 ○世界の国々の正しい認識	○文化活動への積極的参加 ○自然を生かし共存する運動への参加
高 齢 者 (知恵、伝承)	○コミュニティ・スポーツに親しむ ○奉仕活動への援助	○知恵・技能の還元 ○趣味・特技を生かした活動	○世代間の交流 ○国際交流の理解と展望	○文化の伝承と発展 ○自然保護と緑化運動

第3章 基本計画

1 国内交流や国際交流の推進

【現状と課題】

国内交流では、埼玉県上尾市、神奈川県開成町や高知県中土佐町との小学生による交流が行われています。

国際交流の分野では、中学生・高校生による海外派遣事業を実施しているほか、パークゴルフを通じた海外や十勝管内在住の外国人との交流、国際交流協会による各種事業の実施など様々な交流が行われています。

今後も、交流を通じた次世代の人材を育成するため、行政、経済、教育、文化などあらゆる分野での交流をさらに促進するための取組が必要です。

【基本方針】

国内交流を推進し、幅広い交流を行います。

また、学校教育や社会教育など、様々な場を通じて、国際理解の機会づくりと国際性豊かな人材の育成を図ります。

【方 策】

(1) 国内交流の推進

	推進項目	推進事業・事項など
①	埼玉県上尾市、神奈川県開成町や高知県中土佐町をはじめ、様々な地域との交流による連携を強化します。	・小学生国内研修事業

(2) 国際交流の推進

	推進項目	推進事業・事項など
①	国際性豊かな人材を育成するため、中高生の海外派遣や受入など交流機会の確保や体制づくりに努めます。	・中学生・高校生海外研修事業
②	ホームステイの受入先の確保など、国際交流活動についての支援を行います。	・相互交流事業（中学生・高校生海外研修事業）によるホームステイ受入先の拡大
③	国際交流員を継続配置し、生きた英語学習を進めるとともに、外国の文化等について国際理解を図ります。	・幼稚園、小・中学校での英語授業サポート

2 豊かな人生を育む生涯学習の推進

【現状と課題】

生涯学習は、町民が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育のほか、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など様々な場や機会において行われる広義の学習であり、生涯いつでも、自由に学習する機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価される「生涯学習社会」の実現が求められています。

学校教育、社会教育はもとより、福祉や保健などあらゆる分野との連携が必要であり、「いつでも、どこでも、だれでも」が学ぶことができる生涯学習施策を展開し、学習成果を生かすことができる「生涯学習社会」の充実を目指す必要があります。

【基本方針】

多種多様な学習機会を自己に適した手段、方法により自ら選択し、生涯にわたる学習活動を通じ、その学習効果が還元される総合的な環境づくりを進めます。

百年記念ホールや図書館をはじめとする生涯学習の拠点施設を有効活用するとともに、社内コミュニティプラザや町民会館、忠類コミュニティセンターなどの施設も活用し、各種事業や生涯学習講座の充実に取り組みます。

【方 策】

(1) 学習プログラムの充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	多様化・高度化する学習ニーズに応え、町民それぞれが自らに適した生涯学習の機会を得られるよう、ソフト・ハード両面の体制づくりに取り組みます。	・百年記念ホール等で開催する生涯学習講座の充実

(2) 情報提供の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	一人ひとりの多様な個性・能力を生かし、生涯にわたって自己の能力と可能性を最大限に高められるよう、学習情報の効果的な発信に努めます。	・広報紙・ホームページ等各種広報活動による情報提供 ・学校を通じたの情報提供 ・文化活動の拠点である百年記念ホールにおける情報提供 ・専門的な知識を有する職員の配置（生涯学習推進員の継続的配置）

(3) 指導者・団体の育成

	推進項目	推進事業・事項など
①	生涯学習において知識や技能を有する人材の発掘や指導者の育成・確保を図り、指導体制の維持、拡充に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習リーダーバンク制度 ・生涯学習関連団体との連携による新たな事業展開

(4) 学習・活動機会の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	地域の特性や年齢階層などを考慮した多様な講座の開設や実習、展示会の開催など様々な学習機会の提供を図るとともに、誰もが参加しやすい体制を設けることで生涯学習への関心を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズに対応した生涯学習講座の開催 ・青年のまちづくり活動への支援 ・生涯学習を通じた世代間交流の促進 ・しらかば大学の運営（生きがいのある人生を支援） ・大学等との連携による講座の開設（生涯学習講座「幕別町コミュニティカレッジ」、「小中学生ものづくり体験講座」）
②	多様な学習サービスの質の保証・向上、学習成果の活用、学習活動を通じた地域活動の推進など活動機会の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・百年記念ホール等における生涯学習講座・活動の充実

(5) 施設の機能充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	百年記念ホールや町民会館など生涯学習施設等の機能充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設の計画的な改修

(6) 図書館機能の拡充

	推進項目	推進事業・事項など
①	住民参画による図書館事業を行うための人材育成を図るとともに、町民を主体とする「図書館アドバイザー会議」などにより、図書館の機能強化に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報の編集センター（北の本箱、ホームページやAR（拡張現実）を活用した地域情報コンテンツを充実）
②	住民ニーズをとらえた特色のある蔵書や図書企画展示の充実を努め、個性や魅力のある図書館づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の入口拡大、利用者サービスの向上
③	子育てや保健、福祉など様々な分野と連携した事業を展開し、図書館を核とした知の拠点づくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書活動の促進（学校図書館整備のサポート、マイファーストブックサポート、ボランティアサークルによる読み聞かせ等）

3 「生きる力」を育む学校教育の推進

【現状と課題】

近年、子どもたちを取り巻く環境は複雑多様化しており、今後の社会変化に対し適切に順応ができる児童生徒の育成と、心の悩みを持つ児童生徒個々に対する適切な支援、また、それらに対応していくため、教職員の資質の向上が求められています。

本町には幼稚園2園、小学校9校、中学校5校、高等学校2校、特別支援学校1校がありますが、子どもたちのいじめ、不登校、ネットトラブル等の対応及び未然防止を図るためには、学校だけではなく、家庭、地域社会と連携・協力を深め、全体で早期発見・早期対応を行っていくことが大切です。

また、子どもたち一人ひとりが、個性豊かで伸びやかに育ち、豊かな感性を身に付け、より快適な学校生活を過ごすためには、本町の美しい自然環境や歴史・文化などを生かした教育の推進や、町が設置している学校等の状況に応じた計画的な学校施設の整備が求められています。

さらには、急速に情報化が進展する社会の中で、情報教育を進めていくためには、ICT環境の整備と教育内容の充実に向けたタブレットなど情報通信機器や校内LANなどの通信環境の整備が必要です。

【基本方針】

本町の教育目標である「郷土を愛し 自ら学び 心豊かに生きる人」の具現化を目指し、全ての児童生徒が、主体的に判断し、行動できる「生きる力」を育むため、家庭、学校、地域がそれぞれの役割を自覚し、お互いの理解、協力を深めることができるよう学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用しながら連携を図ります。

また、一貫教育の推進により、小学校と中学校が同じ目標である、目指す子ども像の実現に向けて、9年間を見通した教育により、中1ギャップと呼ばれる子どもたちの困り感の解消や、子どもの発達等に応じた柔軟で多様な教育の充実を図るとともに、地域の教育資源を活用し、郷土に誇りを持つ子どもを育みます。

【方 策】

(1) 幼児教育の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	異年齢保育や預かり保育、満3歳児保育の充実を図り、多様化するニーズに対応した幼児教育を実践し、幼児一人ひとりの健やかな成長を育む教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢保育の実施（わかば幼稚園） ・預かり保育の実施（わかば幼稚園） ・満3歳児保育の実施（わかば幼稚園）
②	幼稚園、保育所、小学校との交流連携を拡充し、共通理解を進め、連続性のある円滑な教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育所、小学校の連携（交流会の開催などによる幼児期から小学校への教育活動の円滑な移行、実態に応じた子どもの発達や学び、生活の連続性のある教育の充実）
③	就園奨励費補助事業や私立幼稚園入園料・保育料補助事業を実施し、幼稚園教育の振興や就園負担の公平化、保護者負担の軽減に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園就園奨励費補助事業 ・私立幼稚園入園料・保育料補助事業
④	教育環境を整えるとともに、教職員の研修を促進し、指導力の向上及び資質の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への参加促進（わかば幼稚園）

(2) 小中学校教育の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	学習指導要領に基づき、子どもたちが社会の一員として自立し、時代に対応した力を養うため、確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスが取れた生きる力を育む教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の充実・学習指導の充実（創意ある教育課程の編成・実施、個に応じたきめ細かな学習指導の充実、少人数指導・ティームティーチング）
②	幕別町の産業や文化などをまとめた社会科副読本の授業での活用や、地域の自然体験学習を通して、郷土に対する愛着と理解を深める教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実 ・人権教育の充実 ・社会科副読本の作成（小学校3、4年生向け） ・体験学習の充実
③	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用し、地域の力を学校運営に取り入れ、地域と共にある学校経営を行うことで地域と共に育てる教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と共にある学校経営の推進（学校運営協議会による学校運営の承認、評価を行い、地域との連携を促進することにより、地域と共にある学校経営を推進）
④	学校ICT環境の整備・活用を図り、高度情報化に対応した教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育用コンピュータ整備事業

⑤	「まくべつ教育の日」を中心に、社会に開かれた学校づくりを行うため、子どもを真ん中に地域住民等との連携・協力関係を深めた教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月19日を「まくべつ教育の日」と定め、家庭・地域・学校の三者で教育に対する意識の向上を図る。
⑥	支援を必要としている児童生徒が、適切な教育を受けられるよう関係機関と連携し、それぞれに応じた適切な学びを保障する特別支援教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の配置 ・教育支援委員会の開催 ・特別支援教育就学奨励費扶助
⑦	地域の特性を生かした特色ある学校づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校づくりの推進
⑧	教職員の研修を促進し、指導力の向上及び資質の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の充実（小中の連携による合同研修の充実、小中学校教員の資質の向上や指導力の向上を図るための各種研修会への参加）
⑨	いじめ、不登校、虐待などに適切に対応するため、教育相談体制を充実するとともに、学校・家庭・地域の連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー活用事業 ・スクールソーシャルワーカー活用事業 ・いじめ防止対策推進事業 ・子どもサポーター配置事業 ・スクールガードを配置するなど、学校安全・保健計画に基づく組織的な安全管理の推進
⑩	体験活動などを通じて、「食」に関する知識と正しい食習慣を身に付け、健全な成長を育む食育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験塾事業（農作業体験や農作物の加工体験等）等を通じて食育を推進
⑪	安全な給食を提供するため、食器や機材などの更新整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・給食用食器等更新事業
⑫	健やかな成長に資する給食の提供に努めるとともに、地域の食材を生かした給食の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産食材活用事業 ・アレルギー対応食品活用事業
⑬	小中学校が目指す子ども像を共有する義務教育9年間を通した小中一貫教育を推進し、中1ギャップと呼ばれる課題の解決に努めるとともに、ふるさとに誇りを持つ子どもを育みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校（学園）の設置 ・小中一貫教育の充実（教科担任制や部活動体験、小学生の中学校登校等）
⑭	義務教育期間における保護者負担の軽減に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校修学旅行費支援事業

(3) 教育施設の整備

	推進項目	推進事業・事項など
①	幼児・児童・生徒の推移など長期展望に立って、施設規模の適正化及び適正配置を検討し、学校施設の計画的な整備・改修を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校規模の適正化及び適正配置 ・長寿命化計画に基づく学校施設の整備
②	教職員の居住動向を勘案し、教職員住宅の改修整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員住宅改修事業（教職員住宅の適切な戸数の確保、実態に応じた改修）

(4) 高等学校教育・特別支援学校の支援

	推進項目	推進事業・事項など
①	各学校の特色を生かした魅力ある学校づくりについて、支援を行うとともに、義務教育課程との連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土に根ざした特色ある学校づくりの支援
②	社会に開かれた学校づくりを推進するため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入に向けて、学校設置者と協議します。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、小学校、中学校との連携 ・高校、地域間をコーディネート
③	特別支援学校の教育活動について、地域や関係団体等が一体となり、支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協力会への参加 ・行事や授業におけるスクールバスの運行支援
④	経済的理由により就学が困難な生徒を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・修学支援資金制度による経済的負担の軽減

4 青少年の健全育成の推進

【現状と課題】

次代を担う青少年が豊かな人間性を育み、自他ともにかげがえのない存在であることを認識するとともに、社会の一員として自覚し、自ら進んで社会参加ができる健全な社会人として成長するよう、家庭・学校・地域などが連携して青少年の健全育成を推進していくことが必要です。

【基本方針】

未来を担う青少年が心身ともに健やかに育つ環境づくりを進めます。

【方 策】

(1) 青少年の健全育成

	推進項目	推進事業・事項など
①	家庭教育に関する学習機会を充実し、家庭内の教育力の向上を目指します。	・家庭教育を考える集い（町P連研究大会） ・「学び隊」の開設
②	自然体験やボランティア活動など多様な経験を通し、豊かな人間性を育てます。	・ふるさと館ジュニアスクールの開講 ・社会貢献活動の推進
③	家庭、地域、学校、関係機関の連携を図り、「幕別町PTA連合会」や「幕別町児童生徒健全育成推進委員会」のほか、子ども会などの活動に対して支援を行い、青少年の健全育成を推進します。	・幕別町PTA連合会活動の支援 ・児童生徒健全育成推進委員会活動の支援 ・4地区（幕別、札内、南幕別、忠類）生活指導連絡協議会活動の支援 ・子ども会活動の支援 ・地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」の推進に向けた取組
④	毎月19日の「ノーテレビデー、ノーゲームデー」や「携帯電話・スマートフォンのルール」の取組を積極的に周知し、家族と過ごす時間や、家庭学習の時間を確保するとともに、SNS等によるトラブルを減らし、青少年の健全育成を推進します。	・「ノーテレビデー・ノーゲームデー」の実施 ・「携帯電話・スマートフォンのルール」の取組推進

5 芸術・文化活動の振興

【現状と課題】

音楽、美術、演劇、映画などの芸術文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものであると同時に、社会全体を活性化する上で大きな力となるものであり、その果たす役割は極めて重要です。

芸術・文化活動の発表・交流の場の提供などへの支援や多様な芸術・文化の振興を図っていくことが必要となっています。

【基本方針】

国内外の優れた芸術文化に接し、体感できる鑑賞機会などの提供や自主的な活動による芸術文化の振興と豊かな情操の育成を図ります。

【方 策】

(1) 芸術・文化活動の支援と人材育成

	推進項目	推進事業・事項など
①	文化・芸術に関する学習の成果を発表・鑑賞する機会を提供する文化協会や町民芸術劇場などの団体を支援し、リーダーの育成とともに自主的な活動を促進します。	・幕別町文化協会、まくべつ町民芸術劇場への支援
②	芸術・文化活動が積極的に展開されるよう、本町の芸術・文化の拠点施設である「百年記念ホール」をはじめ、公共施設の活用を図ります。	・公共施設を地域住民の芸術作品の展示や文化活動の場として提供

(2) 芸術・文化事業の推進

	推進項目	推進事業・事項など
①	町出身の芸術家や芸術・文化を愛する町民の作品等を発表する機会を設けるなど、芸術・文化のさらなる振興発展を促進します。	・図書館等の空きスペースを地元の芸術家や文化人の作品展示スペースとして開放 ・百年記念ホールギャラリー等を活用した展示スペースの拡大

(3) 芸術・文化鑑賞機会の拡充

	推進項目	推進事業・事項など
①	子どもや初心者にも配慮した文化講座、教室を開催するとともに、町民が生涯を心豊かに過ごすため、優れた芸術・文化を体感できる鑑賞機会の提供に取り組みます。	・芸術・文化公演事業 ・文化講演会及び生涯学習講演会の開催 ・学校芸術鑑賞事業

6 歴史的文化の保存・伝承

【現状と課題】

本町の歴史的・文化的資源である郷土文化資料と、その情報を町民共有の財産として次世代に引き継ぐため、収集・保存する事業とともに、郷土文化資料を通じて、身近に先人の苦勞や豊かな知識に触れ、町民、特に次代を担う子どもたちがふるさとへの新たな思いを養い、幕別町への愛着と誇りを育む事業の展開が重要です。

現在、本町の歴史的資料やアイヌ文化資料を収集、保存、展示しているふるさと館や蝦夷文化考古館は、施設の老朽化が進んでいることから整備が必要となっています。

アイヌ文化に関しては、平成9年度に「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」の制定により、総合的な政策が推進されてきており、アイヌの人たちの誇りが尊重される社会の実現が望まれています。

また、昭和44年に発見されたナウマン象化石骨は、世界的にも貴重な資料であり、その復元骨格標本や発掘資料などをナウマン象記念館に展示し、現在も多くの人に注目されています。

ナウマン象の歴史、埋蔵文化財、アイヌ文化、開拓以来の歴史・文化など保存・伝承すべき有形、無形の貴重なふるさとの資源が豊富にあり、これらを後世に伝えていくことが求められています。

【基本方針】

本町の歴史的資料やアイヌ文化資料を収集・保存、展示しているふるさと館や蝦夷文化考古館、世界的にも貴重な資料を展示しているナウマン象記念館のそれぞれの特徴を生かし、郷土の歴史や文化の保存・継承を図ります。

【方 策】

(1) 施設の充実

	推進項目	推進事業・事項など
①	歴史的資料を適切に保存し、公開施設の整備・改修等、充実を図ります。	・郷土文化資料館等整備基本構想の策定に向けた収蔵品の把握、未整理資料の調査研究

(2) 歴史的文化の保存・継承と活用

	推進項目	推進事業・事項など
①	地域文化の保存と伝承を担う人材の育成を支援するとともに、本町の歴史を伝承する活動の充実を図ります。	・糠内獅子舞保存会などへの支援
②	各種の資料をテーマに沿って展示・公開し、児童生徒や町民に郷土の歴史に触れる機会を設けるとともに、専門的知識を有する人材の活用・育成を図ります。	・指定文化財の保存 ・開拓の歴史の展示 ・歴史の散歩道の活用 ・郷土文化研究員の配置 ・郷土文化特別相談員の配置

(3) アイヌ文化の保存振興と理解の促進

	推進項目	推進事業・事項など
①	アイヌ民族の歴史・文化などの調査研究を進め、その保存・伝承活動を支援します。	・郷土文化研究員の配置 ・郷土文化特別相談員の配置 ・アイヌ文化の伝承
②	町民がアイヌの人々や文化について理解を深めるため、学習機会の提供に努めます。	・アイヌ文化の展示 ・アイヌの歴史の社会科副読本への掲載

7 健康づくりとスポーツ活動の振興

【現状と課題】

多くの人が、心身ともに健康で活力ある生活を望んでおり、スポーツ・レクリエーションへの関心がますます高まっています。

スポーツは、健康づくり、体力づくりに寄与するだけでなく、スポーツを通じて培われた仲間との連帯感や協調性は、より良い地域社会形成の基礎となるほか、青少年が思いやりの心やフェアプレーの精神を育む重要な役割も果たしています。

本町には、陸上競技場や野球場、スポーツセンターなどがあるほか、町発祥のコミュニティスポーツであるパークゴルフ場など町民が気軽にスポーツなどを楽しむことができる環境が整備されており、こうした環境で育った本町出身のオリンピック選手やプロスポーツ選手など多くのアスリートがいろいろな分野で活躍しています。

これらのスポーツ・レクリエーション施設の有効利用を図るとともに、障がいを持つ方も含め、子どもから高齢者までスポーツに取り組める環境の整備やパークゴルフなどのスポーツを振興していくことが必要です。

【基本方針】

町民がいつでも気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境づくりを進め、パークゴルフの振興とスポーツ・レクリエーションの指導者、団体の育成を図ります。

また、町出身のアスリートやスポーツ団体と連携し、次世代のアスリートの育成に努めます。

【方 策】

(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

	推進項目	推進事業・事項など
①	個々の運動能力に応じた体力づくり講座、各種講習会などの開催を通じて、あらゆる人がスポーツ・レクリエーションに親しめる機会の充実を図ります。	・体力づくりの指導及び健康講座の開催 ・スポーツ・レクリエーション機会の提供
②	スポーツ教室や施設、大会案内など、スポーツ・レクリエーションに関する情報提供の充実を図ります。	・スポーツ講座開催等の情報提供
③	町出身のアスリートやスポーツ団体との連携により各種大会やイベント、合宿誘致などを通し、スポーツに対する意識を向上させるとともに、次世代のオリンピックアスリートの育成を進めます。	・未来のオリンピック選手を育てる事業 ・スポーツ大会の誘致 ・スポーツ合宿の誘致

(2) 指導者・組織の育成と支援

	推進項目	推進事業・事項など
①	体育連盟やスポーツ少年団をはじめ、町民の自主的な運営による「総合型地域スポーツクラブ」の支援を図ります。	<ul style="list-style-type: none">・総合型地域スポーツクラブへの支援・スポーツ関係団体への支援
②	スポーツ・レクリエーション指導者や団体に対して情報提供の充実に努め、指導者の養成を図ります。	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ指導者の養成のための研修会や講習会に関する情報提供・スポーツ推進委員との連携

(3) 社会体育施設の整備拡充と有効活用

	推進項目	推進事業・事項など
①	社会体育施設の計画的な環境整備を進めるとともに、効率的かつ効果的な管理運営と機能充実を推進します。	<ul style="list-style-type: none">・社会体育施設の計画的な改修
②	学校体育施設の開放による有効活用を進めます。	<ul style="list-style-type: none">・学校体育施設の活用

(4) パークゴルフの振興

	推進項目	推進事業・事項など
①	パークゴルフの発祥の地として、国内外への情報発信に努めるとともに、日本パークゴルフ協会や様々な分野と連携しながら、一層の振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none">・パークゴルフ関係団体との連携・クマゲラハウスの環境整備・パークゴルフを通じた3世代交流の促進や若者を中心とした交流人口の増加

資 料

(1) 町民意識調査の結果

1. 調査の概要

ア. 調査の目的

第6次幕別町生涯学習中期計画を策定するに当たり、町民の生涯学習に関する参画状況や意識を把握し、計画策定及び今後の事業に反映させるため。

イ. 調査方法と回収結果

①対 象 9歳以上の全町民

②抽出方法 住民基本台帳により、幕別、札内、南幕別、忠類の4地域別に無作為に抽出。

9歳から17歳まで、18歳以上の2階層別に対象者を確定。

③発送方法 郵送により行い、返信は「料金受取人払郵便」とする。

9月19日発送 ※回収期限：10月5日

④発送数と回収数

年齢区分	発送数	回収数	回収率
9～17歳	704	319	45.3
18歳以上	796	306	38.4
計	1,500	625	41.7

2. 調査の結果

【9歳から17歳】

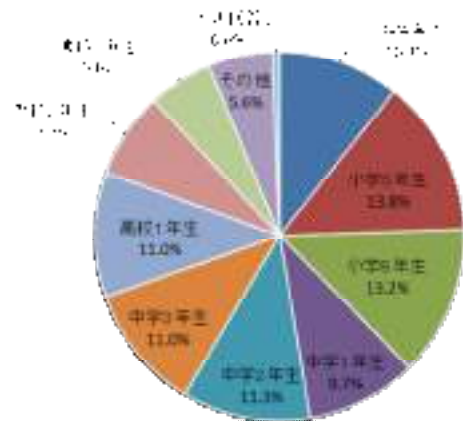
問1 あなたの性別についてお答えください。

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
男性	135	43.3%	166	52.0%
女性	172	55.1%	152	47.6%
※未回答	5	1.6%	1	0.4%
計	312	100.0%	319	100.0%



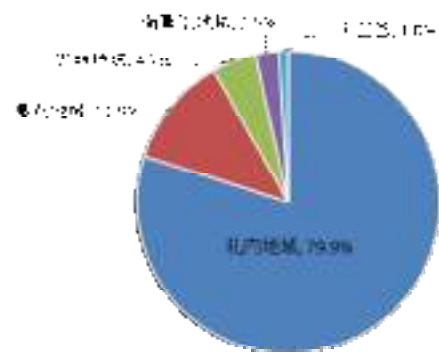
問2 あなたの学年についてお答えください。

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学4年生	40	12.8%	34	10.7%
小学5年生	48	15.4%	44	13.8%
小学6年生	40	12.8%	42	13.2%
中学1年生	42	13.5%	31	9.7%
中学2年生	34	10.9%	36	11.3%
中学3年生	39	12.5%	35	11.0%
高校1年生	21	6.7%	35	11.0%
高校2年生	28	9.0%	24	7.5%
高校3年生	19	6.1%	18	5.6%
その他	0	0.0%	18	5.6%
※未回答	1	0.3%	2	0.6%
計	312	100.0%	319	100.0%



問3 あなたの住んでいる地域はどこですか。

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
札内地域	247	79.2%	255	79.9%
幕別地域	42	13.5%	38	11.9%
忠類地域	18	5.8%	15	4.7%
南幕別地域	4	1.3%	8	2.5%
※未回答	1	0.3%	3	1.0%
計	312	100.0%	319	100.0%



問4 あなたは幕別町に何年住んでいますか。

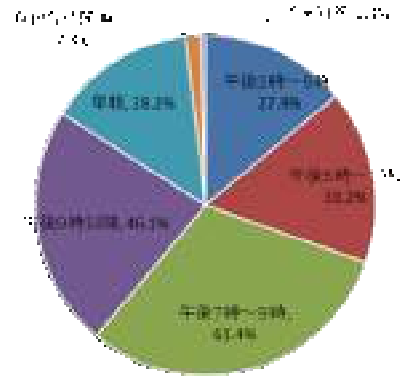
区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
生まれてからずっと住んでいる	190	60.9%	199	62.4%
	※平均居住年数	13年	※平均居住年数	12.8年
引っ越してきた	122	39.1%	113	35.4%
	※平均居住年数	8.1年	※平均居住年数	8.3年
※未回答	0	0.0%	7	2.2%
計	312	100.0%	319	100.0%



問5 あなたが自由に使える時間は次のどれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

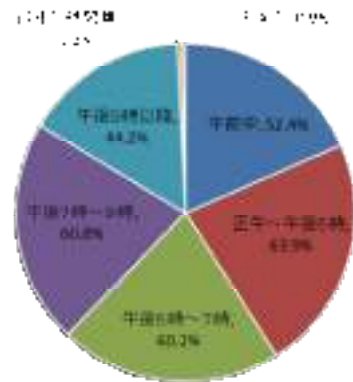
【平日（月～金）】

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
午後3時～5時	90	28.8%	89	27.9%
午後5時～7時	111	35.6%	106	33.2%
午後7時～9時	169	54.2%	196	61.4%
午後9時以降	145	46.5%	147	46.1%
早朝			90	28.2%
自由な時間無し	11	3.5%	9	2.8%
※未回答	5	1.6%	3	0.9%
計	531		640	



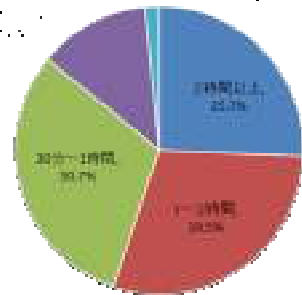
【休日】

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
午前中	163	52.2%	167	52.4%
正午～午後5時	182	58.3%	204	63.9%
午後5時～7時	173	55.4%	192	60.2%
午後7時～9時	174	55.8%	194	60.8%
午後9時以降	146	46.8%	141	44.2%
自由な時間無し	5	1.6%	4	1.3%
※未回答	10	3.2%	3	0.9%
計	853		905	

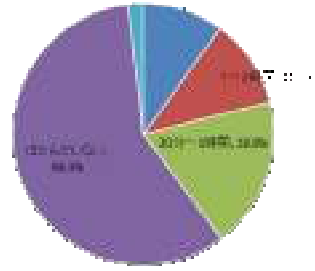


問6 あなたは、普段の生活で、次のようなことを1日の間に平均してどのくらいの時間行っていますか。（すべての項目で、あてはまるもの1つに○）

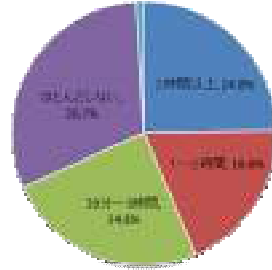
区分		第5次		第6次	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
テレビ・DVDを見る	2時間以上	73	23.4%	82	25.7%
	1～2時間	121	38.8%	94	29.5%
	30分～1時間	91	29.2%	98	30.7%
	ほとんどしない	24	7.7%	40	12.5%
	※未回答	3	1.0%	5	1.6%
	計		312	100%	319



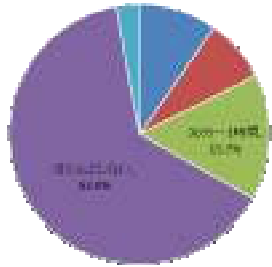
区分		第5次		第6次	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
テレビゲームをする	2時間以上	20	6.4%	32	10.0%
	1～2時間	37	11.9%	35	11.0%
	30分～1時間	61	19.6%	60	18.8%
	ほとんどしない	190	60.9%	186	58.3%
	※未回答	4	1.3%	6	1.9%
	計	312	100%	319	100%



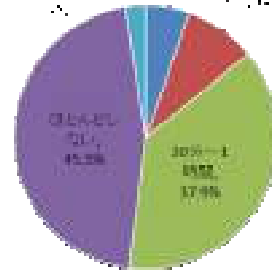
インターネットをする	2時間以上	29	9.3%	79	24.8%
	1～2時間	40	12.8%	60	18.8%
	30分～1時間	80	25.6%	79	24.8%
	ほとんどしない	162	51.9%	98	30.7%
	※未回答	1	0.3%	3	0.9%
	計	312	100%	319	100%



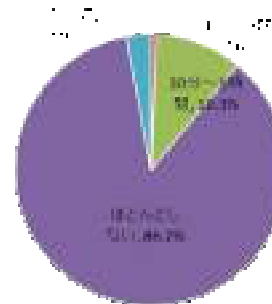
SNSをする	2時間以上	18	5.8%	31	9.7%
	1～2時間	22	7.1%	25	7.8%
	30分～1時間	53	17.0%	50	15.7%
	ほとんどしない	214	68.6%	204	63.9%
	※未回答	5	1.6%	9	2.9%
	計	312	100%	319	100%



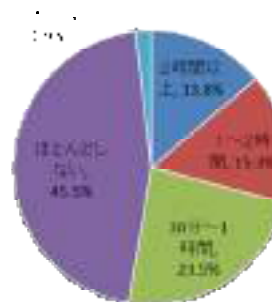
本を読む	2時間以上	20	6.4%	17	5.3%
	1～2時間	24	7.7%	28	8.8%
	30分～1時間	134	42.9%	121	37.9%
	ほとんどしない	128	41.0%	145	45.5%
	※未回答	6	1.9%	8	2.5%
	計	312	100%	319	100%



新聞を読む	2時間以上	0	0.0%	0	0.0%
	1～2時間	1	0.3%	2	0.6%
	30分～1時間	46	14.7%	33	10.3%
	ほとんどしない	260	83.3%	275	86.2%
	※未回答	5	1.6%	9	2.9%
	計	312	100%	319	100%



外で遊ぶ	2時間以上	42	13.5%	44	13.8%
	1～2時間	37	11.9%	49	15.3%
	30分～1時間	73	23.4%	75	23.5%
	ほとんどしない	155	49.7%	145	45.5%
	※未回答	5	1.6%	6	1.9%
	計	312	100%	319	100%



問7 あなたは、平日の自由な時間を、どのように過ごすことが多いですか。
(あてはまるもの3つに○)

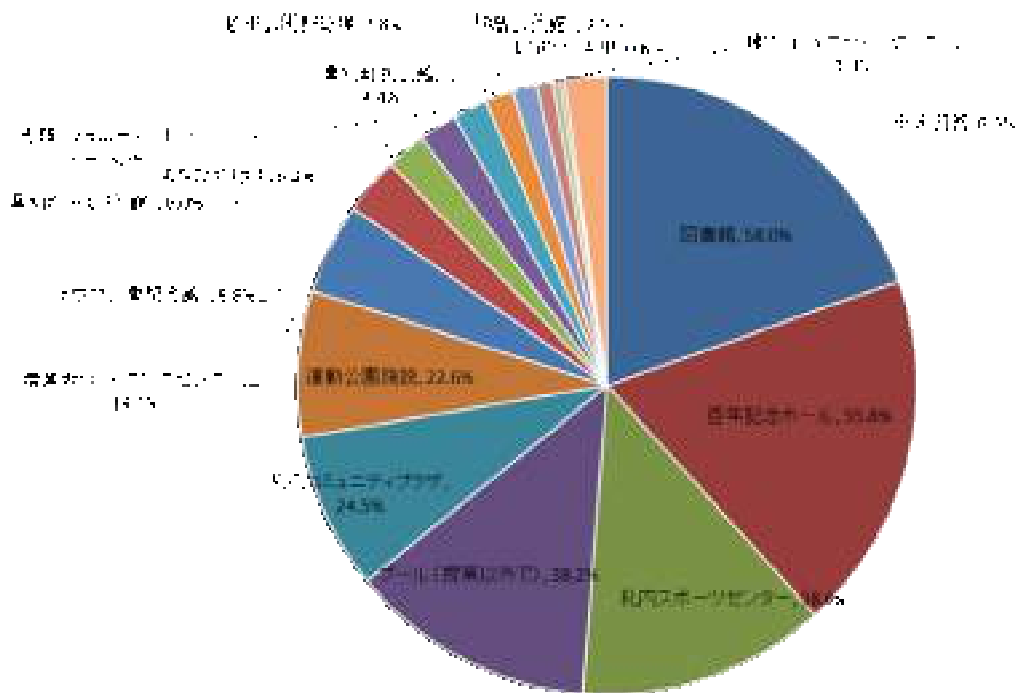
区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
テレビを見たりゲームをする	178	57.1%	194	60.8%
自分の趣味や好きなことをする	144	46.2%	131	41.1%
のんびり休養する	127	40.7%	127	39.8%
家で勉強する	137	43.9%	127	39.8%
友達と遊ぶ	100	32.1%	99	31.0%
家族と一緒に過ごす	80	25.6%	95	29.8%
スポーツなど身体を動かす	66	21.2%	76	23.8%
新聞や雑誌、本などを読んだりする	48	15.4%	38	11.9%
家の手伝いをする	40	12.8%	25	7.8%
自然と楽しむ活動をする	0	0.0%	8	2.5%
その他	10	3.2%	3	0.9%
ボランティア活動をする	0	0.0%	1	0.3%
※未回答	0	0.0%	0	0.0%
計	930		924	
※その他の内容	図書館で勉強			
	塾			

問8 あなたは、休日の自由な時間はどのように過ごすことが多いですか。
(あてはまるもの3つに○)

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
テレビを見たりゲームをする	183	58.7%	197	61.8%
のんびり休養する	136	43.6%	167	52.4%
友達と遊ぶ	118	37.8%	137	42.9%
自分の趣味や好きなことをする	131	42.0%	129	40.4%
家族と一緒に過ごす	127	40.7%	110	34.5%
家で勉強する	110	35.3%	77	24.1%
スポーツなど身体を動かす	60	19.2%	62	19.4%
新聞や雑誌、本などを読んだりする	39	12.5%	31	9.7%
家の手伝いをする	42	13.5%	20	6.3%
自然と楽しむ活動をする	6	1.9%	7	2.2%
その他	9	2.9%	4	1.3%
ボランティア活動をする	1	0.3%	0	0.0%
※未回答	0	0.0%	0	0.0%
計	962		941	
※その他の内容	福祉施設			
	買い物に行く			
	アルバイト			
	図書館で勉強			

問9 あなたは最近1年で、町内の次の施設を利用したことがありますか。
(あてはまるもの全てに○)

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
図書館	217	69.6%	185	58.0%
百年記念ホール	235	75.3%	178	55.8%
札内スポーツセンター	142	45.5%	123	38.6%
プール(授業以外で)	109	34.9%	122	38.2%
札内コミュニティプラザ	48	15.4%	78	24.5%
運動公園施設	59	18.9%	72	22.6%
農業者トレーニングセンター	41	13.1%	45	14.1%
ナウマン象記念館	29	9.3%	28	8.8%
まなびや相川	22	7.1%	20	6.3%
幕別町ふるさと館	42	13.5%	19	6.0%
忠類コミュニティーセンター	11	3.5%	17	5.3%
幕別町民会館	30	9.6%	14	4.4%
依田公園野球場	26	8.3%	12	3.8%
駒島公民館	6	1.9%	8	2.5%
糠内コミュニティーセンター	3	1.0%	4	1.3%
まなびや中里	0	0.0%	2	0.6%
蝦夷文化考古館	0	0.0%	0	0.0%
※未回答	15	4.8%	21	6.6%
計	1,035		948	



問10 あなたは、放課後（または学校から帰って）や休日は、どのような場所で過ごすことが多いですか。（あてはまるもの3つまで○）

【放課後】

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
自分の家	279	89.4%	282	88.4%
学習塾、習い事	98	31.4%	102	32.0%
学校	87	27.9%	85	26.6%
公園、近くの空き地	58	18.6%	75	23.5%
友達の家	74	23.7%	40	12.5%
町内の運動施設	16	5.1%	21	6.6%
札内コミュニティプラザ			18	5.6%
コンビニ、お店	21	6.7%	16	5.0%
図書館	29	9.3%	12	3.8%
学童			7	2.2%
百年記念ホール	9	2.9%	5	1.6%
幕別パークプラザ			1	0.3%
その他	15	4.8%	11	3.4%
※未回答	1	0.3%	0	0.0%
計	687		675	
※その他の内容	帯広の森弓道場			
	福祉施設			
	河川敷			
	少年団活動			
	部活			
	寮			
	アイスアリーナ			

【休日】

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
自分の家	285	91.3%	288	90.3%
公園、近くの空き地	59	18.9%	78	24.5%
友達の家	94	30.1%	62	19.4%
学習塾、習い事	57	18.3%	59	18.5%
学校	37	11.9%	43	13.5%
コンビニ、お店	52	16.7%	40	12.5%
図書館	34	10.9%	23	7.2%
町内の運動施設	21	6.7%	19	6.0%
札内コミュニティプラザ			15	4.7%
百年記念ホール	10	3.2%	10	3.1%
学童			4	1.3%
幕別パークプラザ			3	0.9%
その他	21	6.7%	17	5.3%
※未回答	3	1.0%	5	1.6%
計	673		666	
※その他の内容	帯広の森弓道場			
	福祉施設			
	帯広市			
	札内河川敷			
	少年団活動			
	祖父母の家			
	アイスアリーナ			
	家族と外出			

問 11 あなたが生きる中で大切なものはなんですか。（あてはまるもの3つまで○）

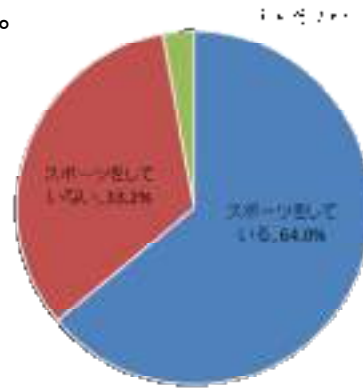
区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
命	248	79.5%	253	79.3%
家族	261	83.7%	241	75.5%
お金や物	104	33.3%	106	33.2%
友だち	159	51.0%	105	32.9%
水(資源)			72	22.6%
時間	52	16.7%	71	22.3%
勉強(知識)	29	9.3%	34	10.7%
家	32	10.3%	26	8.2%
遊び	17	5.4%	11	3.4%
スマートフォン			9	2.8%
ふるさと	4	1.3%	3	0.9%
その他	13	4.2%	6	1.9%
※未回答	1	0.3%	0	0.0%
計	920	294.9%	937	293.7%
※その他の内容	モラル			
	絆			
	自分に関わるもの全て			
	生きていこうという精神			
	豊かさ・人権・衣食住			
	車			

問 12 あなたは、次の学習内容の中で特にやってみたいものはなんですか。（あてはまるもの1つに○）

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
スポーツ・体力づくり			100	31.3%
仕事や職業についての学習	157	50.3%	98	30.7%
学校の学習	26	8.3%	28	8.8%
国際学習	43	13.8%	23	7.2%
違う世代(年寄・子供)との交流	22	7.1%	21	6.6%
情報についての学習	23	7.4%	15	4.7%
ふるさとについての学習	13	4.2%	8	2.5%
まちづくり活動	8	2.6%	7	2.2%
福祉についての学習	14	4.5%	6	1.9%
その他	5	1.6%	5	1.6%
※未回答	1	0.3%	8	2.5%
計	312	100.0%	319	100.0%
※その他の内容	書道			
	料理			
	戦争について(学校より詳しく学びたい)			
	人間心理についての学習			

問 13 あなたは、現在何かスポーツをしていますか。

区分	第6次	
	人数	割合(%)
スポーツをしている	204	64.0%
スポーツをしていない	106	33.2%
※未回答	9	2.8%
計	319	100.0%

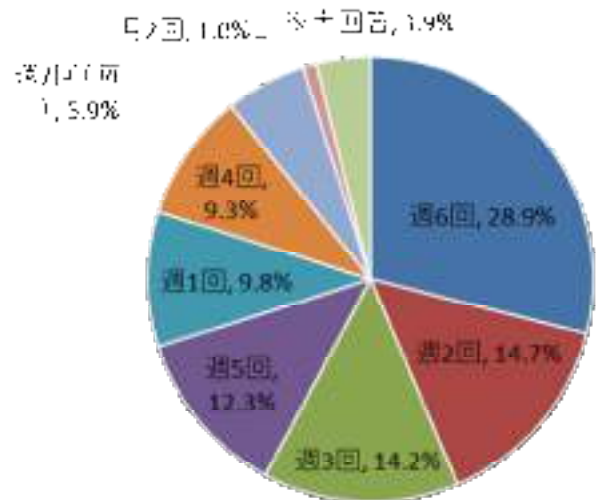


「スポーツをしている」と回答した方が
行っているスポーツ（2つまで）

スポーツの種類	人数	割合(%)
サッカー	40	16.9%
陸上	26	11.0%
野球	23	9.7%
水泳	22	9.3%
バレーボール	18	7.6%
卓球	17	7.2%
バスケットボール	11	4.6%
ソフトテニス	9	3.8%
テニス	9	3.8%
スピードスケート	8	3.4%
バドミントン	7	3.0%
スキー	6	2.5%
弓道	5	2.1%
剣道	4	1.7%
バトントワリング	4	1.7%
マラソン	4	1.7%
柔道	3	1.3%
ダンス	3	1.3%
ランニング	3	1.3%
アイスホッケー	2	0.8%
空手	2	0.8%
トランポリン	2	0.8%
バレエ	2	0.8%
ミニバスケットボール	2	0.8%
キャップ投げ	1	0.4%
ソフトボール	1	0.4%
登山	1	0.4%
馬術	1	0.4%
フィギュアスケート	1	0.4%
計	237	100.0%

「スポーツをしている」と回答した方が
スポーツを行っている頻度

スポーツを行っている頻度	人数	割合(%)
週6回	59	28.9%
週2回	30	14.7%
週3回	29	14.2%
週5回	25	12.3%
週1回	20	9.8%
週4回	19	9.3%
週7回(毎日)	12	5.9%
月2回	2	1.0%
※未回答	8	3.9%
計	204	100.0%



問14 問13で「スポーツをしていない」と答えた方の、スポーツをしていない理由とスポーツへの興味・関心について

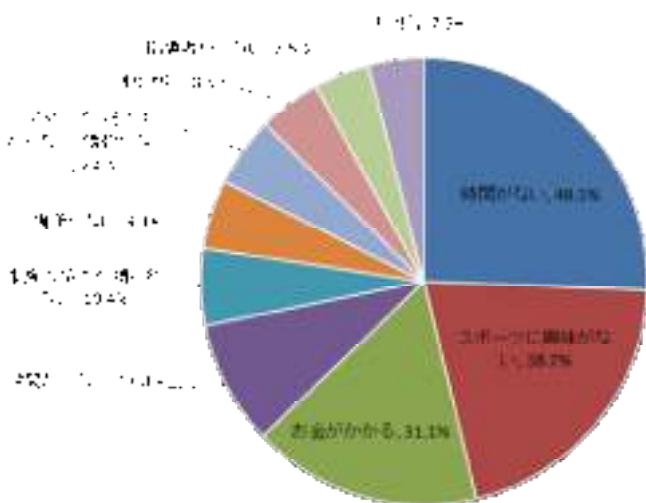
スポーツをしていない理由（あてはまるもの3つに○）

区分	第6次	
	人数	割合(%)
時間がない	51	48.1%
スポーツに興味がない	41	38.7%
お金がかかる	33	31.1%
仲間がいない	18	17.0%
家族の協力が得られない	11	10.4%
場所がない	10	9.4%
どこでやっているかわからない(情報が無い)	10	9.4%
体が弱い	9	8.5%
指導者がいない	8	7.5%
※未回答	8	7.5%
計	199	

スポーツへの興味・関心

(あてはまるもの1つに○)

区分	第6次	
	人数	割合(%)
やってみたい	38	35.8%
どちらかというとやってみたい	23	21.7%
どちらかというとやりたくない	27	25.5%
やりたくない	18	17.0%
計	106	100.0%

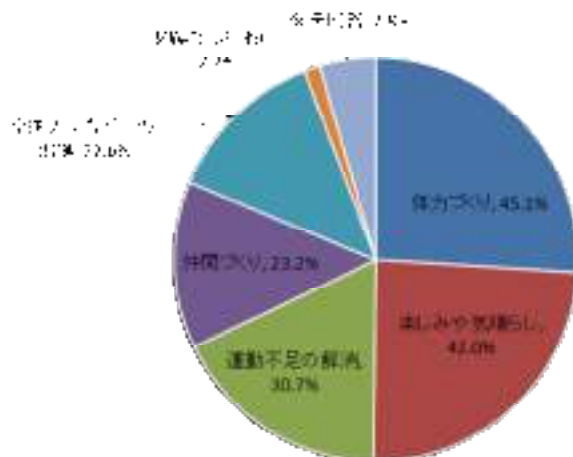


「やってみたい」「どちらかというとやってみたい」と回答した方がやりたいスポーツ

スポーツの種類	人数	割合(%)	スポーツの種類	人数	割合(%)
バドミントン	9	14.9%	ダンス	2	3.3%
野球	7	11.5%	スピードスケート	1	1.6%
テニス	7	11.5%	弓道	1	1.6%
卓球	6	9.8%	ドッチボール	1	1.6%
バスケットボール	6	9.8%	バントフリング	1	1.6%
バレーボール	5	8.2%	スノーボード	1	1.6%
サッカー	4	6.7%	カーリング	1	1.6%
陸上	2	3.3%	ゴルフ	1	1.6%
水泳	2	3.3%	ボルダリング	1	1.6%
スキー	2	3.3%	ソフトボール	1	1.6%
計				61	100.0%

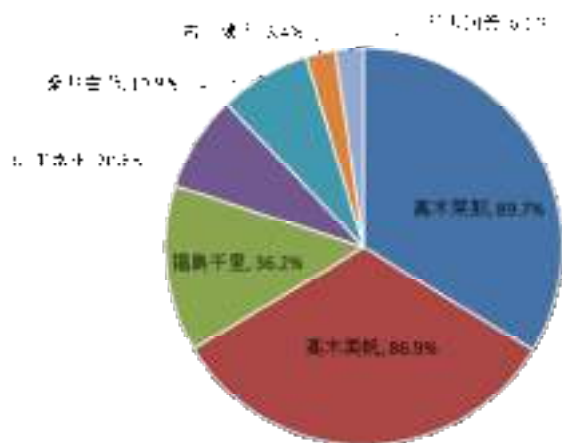
問 15 何のためにスポーツをしている（やってみたい）と思いますか。
（あてはまるもの2つに○）

区分	第6次	
	人数	割合(%)
体力づくり	144	45.1%
楽しみや気晴らし	134	42.0%
運動不足の解消	98	30.7%
仲間づくり	74	23.2%
全国大会などへの出場	72	22.6%
家族のふれあい	7	2.2%
※未回答	25	7.8%
計	554	



問 16 あなたが知っている、世界で活躍している幕別町出身のスポーツ選手（自由記述）

区分	第6次	
	人数	割合(%)
高木菜那	280	89.7%
高木美帆	271	86.9%
福島千里	113	36.2%
山本幸平	65	20.8%
桑井亜乃	62	19.9%
古谷優人	20	6.4%
※未回答	19	6.1%
計	830	



問 17 参加したいスポーツイベントや指導を受けたいスポーツ選手(自由記述)

プロ野球選手(14人)、北海道日本ハムファイターズの選手(9人)、大谷翔平(17人)、古谷優人(4人)、中田 翔(3人)、杉谷拳士など
コンサドーレの選手、サッカー選手(21人)、長谷部 誠、大迫 勇也、澤 穂希など
レバンガ北海道、バスケットボール選手(6人)、田嶋朝飛(2人)など
スピードスケート、スピードスケートの選手(5人)高木美帆(48人)、高木菜那(43人)、小平奈緒、押切美沙紀など
スノーボード、スキー、フィギュアスケートなどウィンタースポーツの選手、羽生結弦(4人)、浅田真央(2人)、高橋大輔など
テニス選手(3人)、大坂なおみ(13人)、錦織圭(6人)など
陸上の選手(5人)、福島千里(11人)、ケンブリッジ飛鳥(2人)、桐生祥秀
バレーボール選手(8人)、古賀紗理那、宮下遥
卓球、卓球の選手(2人)福原愛(4人)、張本智和、石川佳純など
カーリング、LS北見の選手、藤澤五月など
バドミントン選手
ラグビーの選手(2人)
剣道の選手、栄花直樹
水泳、水泳の選手(3人)

山本幸平(2人)
ボクシングの選手 村田諒太、那須川天心
柔道の選手
男子競泳の選手、入江陵介、瀬戸大地、萩野公介
内村航平(男子体操)
北海道出身のスポーツ選手
幕別町出身のオリンピック選手
有名なスポーツだけでなく子どもからお年寄りが気軽に楽しめるスポーツのイベント
陸上(短距離、跳躍)のトレーニング方法や練習の仕方、けがなどの応急処置の仕方など

問 18 あなたが普段、学校や家庭で困っていることはありますか。(自由記述)

【家庭・人間関係】
姉と仲が悪い
男子にいじめられる
母の帰りが遅い事
仲間外れにされたりすることがある
母がうるさい
母が精神的に不安定なのでいつも怒らせてばかりです。何かカウンセリングを受けさせたい
家族との不仲
いじわるな子がいて困っている
あまり周囲になじめない
周りあまり考えが合わない
【学校・勉強の悩み】
毎日6時間授業が辛い
学校が遠い。家の近くにSOSの家がない
高校の教科書類が重く、学校に置いて行くことを禁止されているため、肩が毎日痛い。部活が忙しく、家に帰ってからも仕事があるため、勉強の時間がとれない。
部活の先輩・後輩の仲が悪い
時間がうまく作れなくて勉強や運動ができないことです。
担任の先生が嫌です。
教科書が重いので置き勉強をしたい
池田高校吹奏楽部に所属しています。少ない部費で活動していますが、幕別町のイベントに是非出演したい。
学校でみんなできばきと行動できていないこと
先生の対応の仕方
部活動で自由時間がない
札内に温水プールを作してほしい
宿題や習い事で自由な時間がない
勉強の仕方
教科書が重いので置き勉強をしたい
給食がまずい
時間がない、リュックが超重い
副担任が性別で差別する
学校が夏暑い
学校の二階トイレの水飲み場が少ししか出ない所がある
部活内の先生にテニスの経験者がいない
学校で男子が悪口を言って泣かせたりして先生が大変そうな事
学校環境が悪い
学校の授業が楽しくない

【その他】
人前に出る時緊張してばいになってしまう
適当な性格を直したい
部屋の片づけができない
うまく時間が使えない、十分に睡眠がとれない
忘れ物
自分の意見が絶対に正しいと思っている大人が多すぎる。子供の意見に興味がない大人が多すぎる
街灯を増やしてほしい

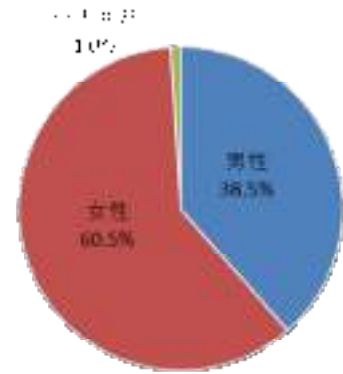
**問 19 あなたがボランティア活動をするとしたら、どのようなことをしてみたいですか。
(自由記述)**

ゴミ拾い(117)
被災地ボランティア(17)
高齢者の支援、交流(11)
地域の清掃活動(8)
除草(6)
高齢者の家の雪下ろし、除雪など(4)
募金(4)
リングブル回収(4)
お年寄りや小さな子供との交流・ボランティア(3)
花壇整備(3)
除雪(3)
老人ホーム訪問(3)
あいさつ活動(2)
お年寄りとの交流(2)
国際交流(2)
子どもの世話(2)
障害を持つ子どもとの交流(2)
動物保護(2)
いじめをなくす活動をしたい
ユニセフ活動
英語を使ったボランティア活動
害虫駆除
交通マナーの呼びかけ
公園整備
行方不明者を探す
手話
障害者のためになること
植樹
他の国や地域との交流ができるような活動
地域の方と学校の人達で町の活性化に関わること
認知症サポーター
範囲の大きいゴミ拾いや年齢関係なくできるイベント、ボランティア活動してみたい
被災地への募金活動
保育士ボランティア
幼児との交流
老人クラブとの交流
老人施設のボランティア

【18歳以上】

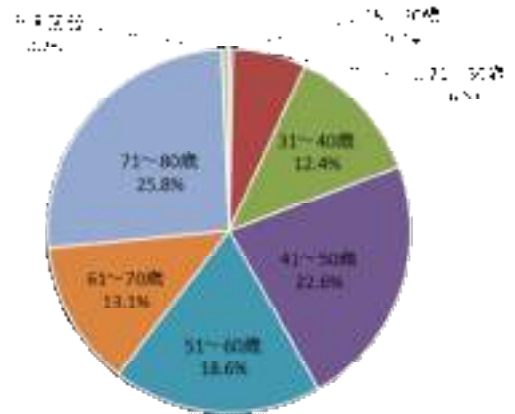
問1 あなたの性別についてお答えください。

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
男性	149	46.0%	118	38.5%
女性	170	52.5%	185	60.5%
※未回答	5	1.5%	3	1.0%
計	324	100.0%	306	100.0%



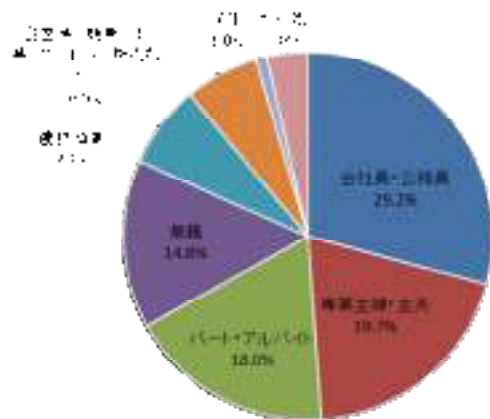
問2 あなたの年齢についてお答えください。

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
18～20歳	5	1.5%	1	0.3%
21～30歳	26	8.0%	20	6.5%
31～40歳	36	11.1%	38	12.4%
41～50歳	41	12.7%	69	22.6%
51～60歳	55	17.0%	57	18.6%
61～70歳	78	24.1%	40	13.1%
71～80歳	55	17.0%	79	25.8%
81歳以上	24	7.4%		
※未回答	4	1.2%	2	0.7%
計	324	100.0%	306	100.0%



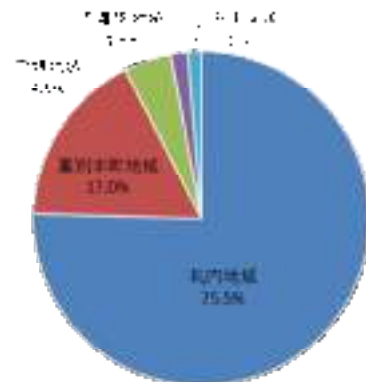
問3 あなたの主な職業についてお答えください。

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
会社員・公務員	75	23.1%	89	29.2%
専業主婦・主夫	63	19.4%	60	19.7%
パート・アルバイト	42	13.0%	55	18.0%
無職	83	25.6%	45	14.8%
農林漁業	21	6.5%	22	7.2%
自営業(商業、工業、サービス、販売など)	16	4.9%	20	6.5%
学生	6	1.9%	3	1.0%
その他	10	3.1%	11	3.6%
※未回答	8	2.5%	0	0.0%
計	324	100.0%	305	100.0%



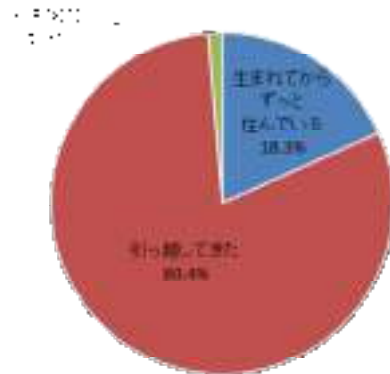
問4 あなたのお住まいの地域はどこですか。

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
札幌地域	218	67.3%	231	75.5%
幕別本町地域	69	21.3%	52	17.0%
忠類地域	21	6.5%	14	4.6%
南幕別地域	12	3.7%	5	1.6%
※未回答	4	1.2%	4	1.3%
計	324	100.0%	306	100.0%



問5 あなたの在住年数は何年ですか。

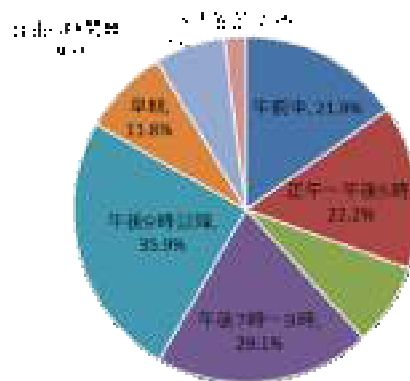
区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
生まれてからずっと住んでいる	72	22.2%	56	18.3%
	※平均居住年数	50.6年	※平均居住年数	37.3年
引っ越してきた	245	75.6%	246	80.4%
	※平均居住年数	22.6年	※平均居住年数	21.6年
※未回答	7	2.2%	4	1.3%
計	324	100.0%	306	100.0%



問6 あなたが自由に使える時間は次のどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

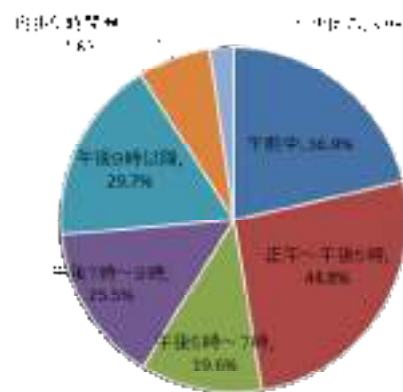
【平日（月～金）】

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
午前中	95	30.4%	67	21.9%
正午～午後5時	88	28.2%	68	22.2%
午後5時～7時	43	13.8%	34	11.1%
午後7時～9時	93	29.8%	89	29.1%
午後9時以降	106	34.0%	110	35.9%
早朝			36	11.8%
自由な時間無し	40	12.8%	29	9.5%
※未回答	25	8.0%	9	2.9%
計	490		442	



【休日】

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
午前中	108	34.6%	113	36.9%
正午～午後5時	109	34.9%	137	44.8%
午後5時～7時	71	22.8%	60	19.6%
午後7時～9時	96	30.8%	78	25.5%
午後9時以降	94	30.1%	91	29.7%
自由な時間無し	40	12.8%	36	11.8%
※未回答	41	13.1%	12	3.9%
計	559		527	



問7 あなたは自由な時間をどのように過ごしていますか。(あてはまるもの3つに○)

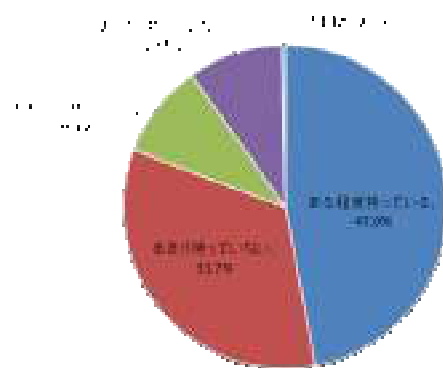
区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
のんびり休養する	173	55.4%	194	63.4%
趣味を楽しむ	165	52.9%	157	51.3%
家族と一緒に過ごす	135	43.3%	139	45.4%
新聞や雑誌、本などを読んだりする	134	42.9%	113	36.9%
遊園地等のレジャーやショッピング、食事	57	18.3%	64	20.9%
スポーツなど身体を動かす(体カ・健康づくり)	57	18.3%	44	14.4%
近郊の散歩など自然と楽しむ活動	46	14.7%	36	11.8%
旅行をする	31	9.9%	24	7.8%
その他	28	9.0%	17	5.6%
習い事などで教養を高める	12	3.8%	13	4.2%
能力・職務向上、資格習得のための学習	9	2.9%	11	3.6%
各種ボランティア活動に参加する	9	2.9%	6	2.0%
自治会、子ども会などの地域活動	10	3.2%	2	0.7%
※未回答	3	1.0%	8	2.6%
計	869		828	
※その他の内容	庭の草取り、ガーデニング、庭いじり、野菜づくり			
	掃除や片付け、買い物、用事足し			
	TVを見る			
	インターネット、パソコン			
	スポーツの指導			
	子守り、子どもの習い事、子どもの用事			
	自由な時間がない			
	病院			
	料理			

問8 あなたは、自由な時間をどのように過ごしたいと思いますか。(あてはまるもの3つに○)

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
のんびり休養する	156	50.0%	162	52.9%
趣味を楽しむ	164	52.6%	154	50.3%
旅行をする	105	33.7%	125	40.8%
家族と一緒に過ごす	83	26.6%	102	33.3%
新聞や雑誌、本などを読んだりする	75	24.0%	52	17.0%
能力・職務向上、資格習得のための学習	19	6.1%	12	3.9%
習い事などで教養を高める	37	11.9%	32	10.5%
近郊の散歩など自然と楽しむ活動	52	16.7%	42	13.7%
遊園地等のレジャーやショッピング、食事	53	17.0%	59	19.3%
スポーツなど身体を動かす(体カ・健康づくり)	103	33.0%	74	24.2%
各種ボランティア活動に参加する	21	6.7%	15	4.9%
自治会、子ども会などの地域活動	2	0.6%	3	1.0%
その他	10	3.2%	5	1.6%
※未回答	8	2.6%	8	2.6%
計	888		845	
※その他の内容	ガーデニング			
	おいしいものをたくさん食べたい			
	自由な時間がない			
	病院			

問9 生涯学習は、学校の学習活動だけではなく、文化やスポーツ活動、趣味やレクリエーション、ボランティア活動なども含めた幅広いものですが、あなたはこうした生涯学習活動に関心をお持ちですか。（あてはまるもの1つに○）

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
ある程度持っている	184	56.8%	144	47.0%
あまり持っていない	74	22.8%	103	33.7%
おおいに持っている	41	12.7%	29	9.5%
まったく持っていない	23	7.1%	29	9.5%
※未回答	2	0.6%	1	0.3%
計	324	100.0%	306	100.0%



問10 あなたが、学習活動をしようとするときに、どのようなことが障害になりますか。（あてはまるもの3つに○）

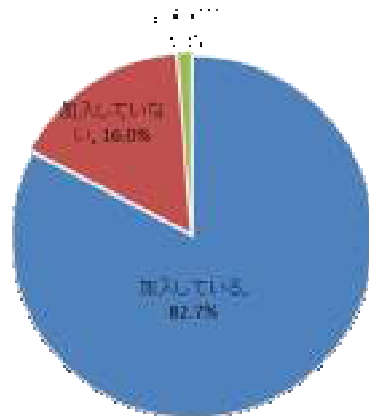
区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
時間のやりくりが大変	141	45.2%	170	55.6%
活動に踏み切るきっかけがない	118	37.8%	96	31.4%
経費のやりくりが大変	80	25.6%	92	30.1%
活動の為の情報が得にくい	79	25.3%	81	26.5%
一緒に行動する仲間がいない	80	25.6%	75	24.5%
活動に対してなんとなく不安がある	63	20.2%	63	20.6%
参加してみたいと思う団体（グループ、サークル、町内会、NPO等）はあるが、そこに参加する気持ちにならない	41	13.1%	42	13.7%
活動する為の場所が身近に無い	44	14.1%	40	13.1%
受けたい講座などが開講されていない	40	12.8%	39	12.7%
子どもや老人などの家族の世話をしてくれる人がいない	30	9.6%	38	12.4%
家庭や職場の理解が得にくい	26	8.3%	32	10.5%
※未回答	28	9.0%	7	2.3%
計	770		775	

問 11 あなたは最近1年で、町内の次の施設を利用したことがありますか。
 (あてはまるもの全てに○)

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
百年記念ホール	130	41.7%	125	40.8%
札内コミュニティプラザ	84	26.9%	96	31.4%
図書館(分館含む)	100	32.1%	89	29.1%
幼稚園、小・中学校	33	10.6%	47	15.4%
札内スポーツセンター	72	23.1%	46	15.0%
運動公園施設	37	11.9%	41	13.4%
ナウマンゾウ記念館	16	5.1%	24	7.8%
幕別町民会館	50	16.0%	23	7.5%
農業者トレーニングセンター	29	9.3%	17	5.6%
プール	9	2.9%	12	3.9%
忠類コミュニティーセンター	11	3.5%	11	3.6%
幕別町ふるさと館	7	2.2%	8	2.6%
依田公園野球場	6	1.9%	8	2.6%
糠内公民館	9	2.9%	6	2.0%
まなびや相川	4	1.3%	3	1.0%
駒島公民館	2	0.6%	2	0.7%
蝦夷文化考古館	3	1.0%	2	0.7%
まなびや中里	1	0.3%	0	0.0%
※未回答	99	31.7%	85	27.8%
計	702		645	

問 12 あなたは公区(町内会)に加入していますか。
 (あてはまるもの1つに○)

また、どのような活動をしていますか。

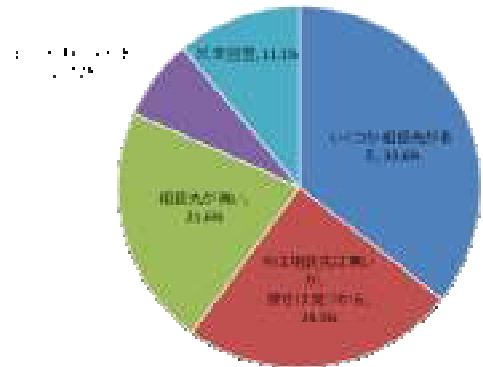


区分	第6次	
	人数	割合(%)
加入している	253	82.7%
加入していない	49	16.0%
※未回答	4	1.3%
計	306	100.0%

活動内容	行事への参加(36人) 新年会、お祭り、焼肉、花見など
	環境整備、清掃(11人)、公園清掃(6人)、草刈り(6人)、花壇整備(5人)
	子ども会(7人)
	長寿会、老人会(4人)
	資源回収(3人)、廃品回収
	防災訓練(2人)
	公区長、副公区長
	役員(7人)
	班長(10)

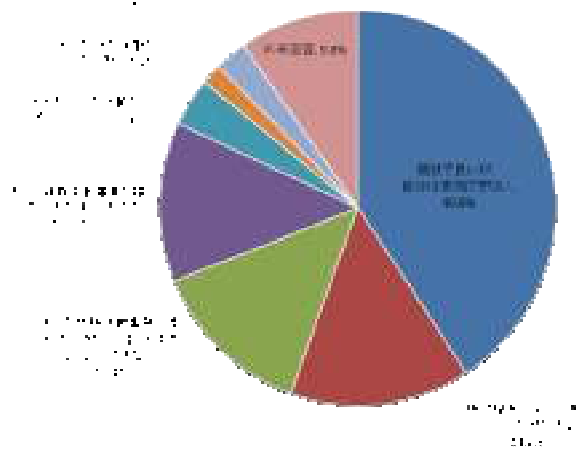
問 13 あなたは、身近なところで育児相談が出来る環境があると感じますか。
現在育児期間中でない方もお答えください。（あてはまるもの1つに○）

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
いくつか相談先がある	91	28.1%	109	35.6%
今は相談先は無いが、探せば見つかる	64	19.8%	75	24.5%
相談先が無い	68	21.0%	66	21.6%
1つだが相談先がある	26	8.0%	22	7.2%
※未回答	75	23.1%	34	11.1%
計	324	100.0%	306	100.0%



問 14 あなたは、親子（祖父、祖母も含む）を対象とした体験活動事業についてどのようにお考えですか。また、あれば参加したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
現状で良いが、自分は参加できない	99	30.6%	125	40.8%
現状程度で良いと思うし、自分も参加する	34	10.5%	45	14.7%
もっと体験活動事業を増やさべきだが、自分は参加しない(できない)	52	16.0%	41	13.4%
もっと体験活動事業を増やさべきで、自分も参加したい	50	15.4%	40	13.1%
子どもだけの活動を多くすべきだ	16	4.9%	12	3.9%
大人だけの活動を多くすべきだ	6	1.9%	5	1.7%
その他	15	4.6%	8	2.6%
※未回答	52	16.0%	30	9.8%
計	324	100.0%	306	100.0%

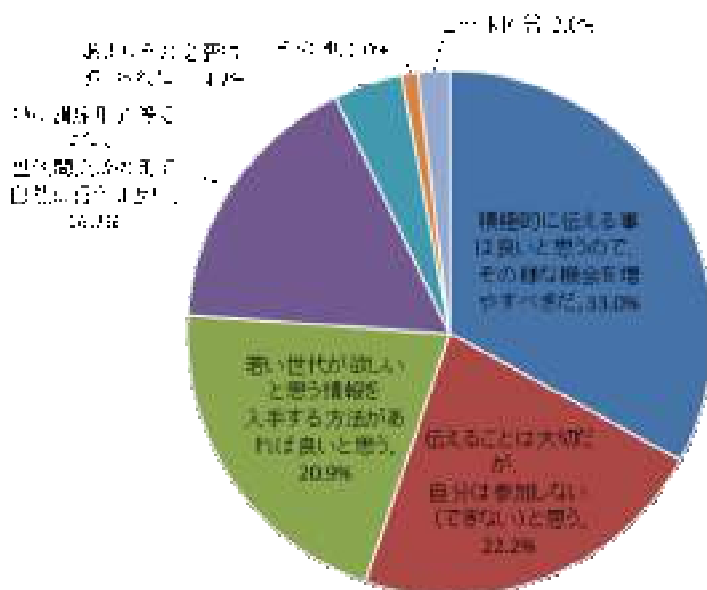


※その他の内容	事業は増やさべき。自分の参加は内容による。
	平日にも歩こう会とか自然観察などあるといいね。毎日のラジオ体操も何箇所かにわけてするとか、参加しやすいように子どもも年寄りも一緒にできるもの。
	体験活動事業が行われていることを知らない。
	今のところはひとりの時間を楽しみたい。
	活動事業、内容がわからない

問 15 あなたは、世代を超えて蓄積した技術や知識を次の世代に伝えることを、どのようにお考えですか。（あてはまるもの1つに○）

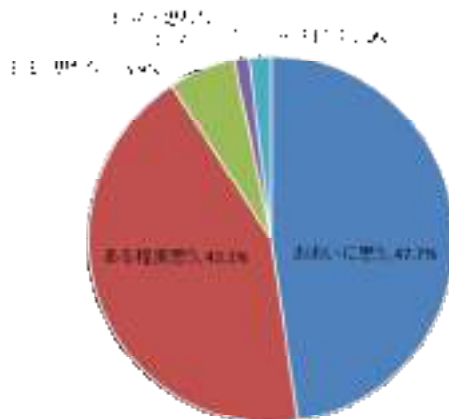
区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
積極的に伝える事は良いと思うので、 その様な機会を増やすべきだ	112	34.6%	101	33.0%
伝えることは大切だが、 自分は参加しない(できない)と思う	65	20.1%	68	22.2%
若い世代が欲しいと思う情報を 入手する方法があれば良いと思う	47	14.5%	64	20.9%
特に講座形式等ではなく、 世代間交流の形で自然に行えば良い	59	18.2%	51	16.7%
あまりその必要は感じられない	12	3.7%	13	4.2%
その他	2	0.6%	3	1.0%
※未回答	27	8.3%	6	2.0%
計	324	100.0%	306	100.0%

※その他の内容	本来は親が子に教えることだと思います。それに、現代の若い世代はインターネット等で情報入手しているからあえて欲しいとは思えない。
	今はネットの時代で若い人達は情報をたくさん得られるので、世代間のギャップが大きすぎて、若者は嫌がって逆にあまり耳を貸さないと思う。
	伝えたい、学びたいという人がいるのなら行政としてサポートするのは大いに行っていただきたい
	学校行事の中に地域学として交流できると良い。



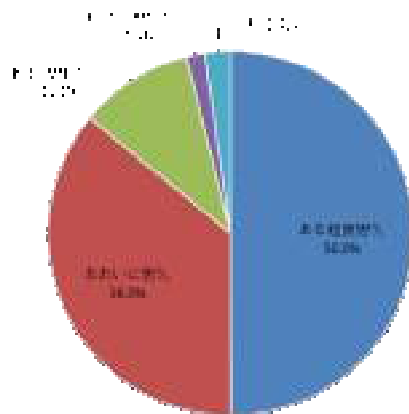
問 16 幼児期は人間形成の基礎を培う大切な時期です。子育てに苦勞されている保護者を支援する「幕別子育て支援システム」があれば良いと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
おおいに思う	137	42.3%	146	47.7%
ある程度思う	141	43.5%	132	43.1%
あまり思わない	21	6.5%	18	5.9%
まったく思わない	2	0.6%	4	1.3%
※未回答	23	7.1%	6	2.0%
計	324	100.0%	306	100.0%



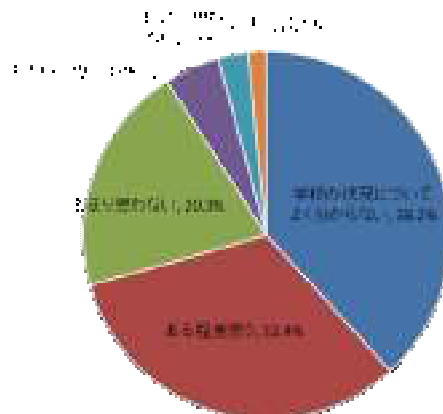
問 17 教育活動の連続性に配慮した、幼・保・小・中・高の連携の取組は必要だと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
ある程度思う	159	49.1%	153	50.0%
おおいに思う	108	33.3%	110	36.0%
あまり思わない	26	8.0%	31	10.1%
まったく思わない	4	1.2%	5	1.6%
※未回答	27	8.3%	7	2.3%
計	324	100.0%	306	100.0%



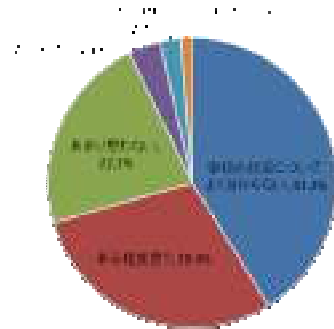
問 18 あなたの近くの小・中学校では、地域や児童生徒の実態に応じて、特色ある教育活動を進めていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
学校の状況についてよく分からない	121	37.3%	117	38.2%
ある程度思う	114	35.2%	99	32.4%
あまり思わない	48	14.8%	62	20.3%
おおいに思う	12	3.7%	15	4.9%
まったく思わない	7	2.2%	8	2.6%
※未回答	22	6.8%	5	1.6%
計	324	100.0%	306	100.0%



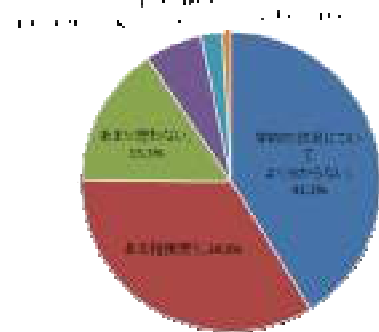
問 19 あなたの近くの小・中学校では、豊かな感性を育む「心の教育」が十分に進められていると思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
学校の状況についてよく分からない	122	37.7%	126	41.2%
ある程度思う	95	29.3%	90	29.4%
あまり思わない	61	18.8%	68	22.2%
おおいに思う	16	4.9%	11	3.6%
まったく思わない	6	1.9%	7	2.3%
※未回答	24	7.4%	4	1.3%
計	324	100.0%	306	100.0%



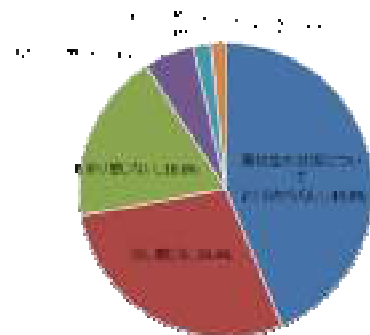
問 20 心身に障がいを持つ子どもの教育について、適切な「特別支援教育」が進められていると思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
学校の状況についてよく分からない	125	38.6%	126	41.2%
ある程度思う	109	33.6%	104	34.0%
あまり思わない	41	12.7%	47	15.3%
おおいに思う	18	5.6%	19	6.2%
まったく思わない	7	2.2%	7	2.3%
※未回答	24	7.4%	3	1.0%
計	324	100.0%	306	100.0%



問 21 高等学校の生徒に規範意識の低下や、コミュニケーション能力の欠如を感じる場合がありますか。
(あてはまるもの1つに○、おおいに感じる場合は()内に具体的にお書きください)

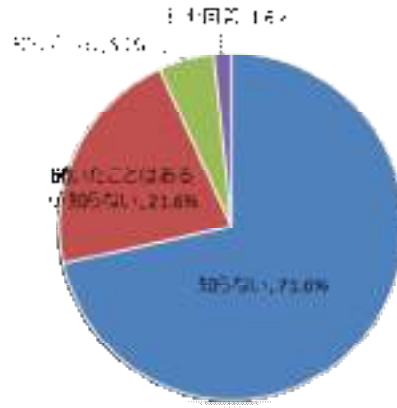
区分	第5次		第6次	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
高校生の状況についてよく分からない	128	39.5%	134	43.8%
少し感じる	106	32.7%	87	28.4%
あまり感じない	42	13.0%	57	18.6%
おおいに感じる	17	5.2%	17	5.6%
まったく感じない	8	2.5%	6	2.0%
※未回答	23	7.1%	5	1.6%
計	324	100.0%	306	100.0%



※おおいに感じるの内容	携帯、スマホばかり見ている。
	SNSやYouTubeを見ているとそう思う。
	スマートフォン利用が多くなり人に目がいかないように感じます。
	言葉の知識など少なく会話が無い
	職場に職場体験に来たときに接してそう思った。
	日本語、国語が分かっていない
	メールでの会話がが多い。
	言葉足らず。スマホに夢中のため、人の話を聞いていない。
	赤ちゃんと触れ合う授業があり、赤ちゃんを連れて行ったが、参加せず居眠りをしていた。
	登下校時の自転車マナー
登下校の際の道路の歩き方がひどい。	

問 22 あなたは、CS（コミュニティ・スクール）制度を知っていますか。

区分	第6次	
	人数	割合(%)
知らない	219	71.6%
聞いたことはあるが知らない	66	21.6%
知っている	16	5.2%
※未回答	5	1.6%
計	306	100.0%

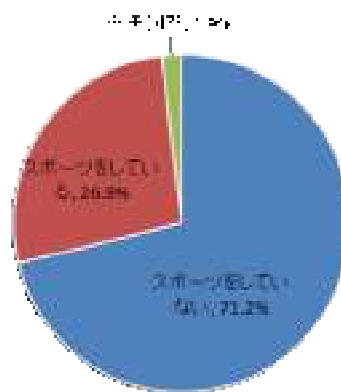


問 23 あなたが普段、学校や家庭で困っていることはありますか。（自由記述）

スポーツの部活渡航(全国大会)の際、町から支援があるようですが、文化系にもお願したい。
支援学級に入れたが先生の数で足りなくて全然見てもらえず、学校に言ったが改善されなかった。南小は支援の子をとりすぎ、先生の準備をしてから入学させるべき。子供がかわいそう。現場も大変。知識のある先生を配置してほしい。
除雪車が来るのが遅いため固い雪を家の前に積み残されると体力的に大変。
幕別町は車の税金納付の書類が遅くて困る。ちょうどその時期に車検なので、納税証明書にいらぬ手間がかかる。
高齢化社会。冬の除雪。隣近所とのつながりが無い。
学校に通っている子供がいないため、学校の情報が無い事
子育てについて。世代の違いから考え方の違いが生じる問題
通学に時間と費用が掛かる。PM6時台の電車が無く困る。札内のバス停が少なくて困っている。
近くに店がない。なんでも遠い。
マチコミメールがとても遅い。帯広、音更など停電の連絡が早いのに幕別はとても遅くなりました。もう少し早く対応してほしい。
歩道に車を止めているひとがいて歩きにくい
子どもがクラブチームでスポーツしているが学校の先生に差別されている。トレセンの私物化。ジャッジの不公平
イジメだけはやめてほしい
仕事が忙しい。もっと市町村他が企業を指導すべき。
生活費が大変。仕送りが大変
住んでいる近隣のことでありますが若い親がモラルに欠けているので子どもたちにも影響されている。世の中全体の問題だと思う。
白人小学校は生徒が少ないので、子供が増えるように町営団地などを増やしてほしい。各学年1クラスしかないのは少ない。面白味がない。
学費がかかる。(大学院に行きたい。留学もしたい。)
少年団の指導者が足りない。
ゴミがルール通りに出されていない。
年齢とともに思うように体を動かさなくなった。
学校は学習時間確保のため、地域の伝統文化や地域が楽しみにしている特色ある活動をPTAと相談したと言い、カットしている。全Pの意見、地域の意見などが活かされていない。管理職が変わると地域との連携も変わる。
娘が反抗期真っ只中でいう事を聞かない。
食生活が不便
息子が小学生になったら夏休みの間の預け先が不安(学童はあるが・・・)
子どもの教育
小学校にクラブ活動があると良いと思う。
妻が挨拶やコミュニケーションをあまり重要視していない。

問 24 あなたは、現在何かスポーツをしていますか。

区分	第6次	
	人数	割合(%)
スポーツをしていない	222	71.2%
スポーツをしている	84	26.9%
※未回答	6	1.9%
計	312	100.0%

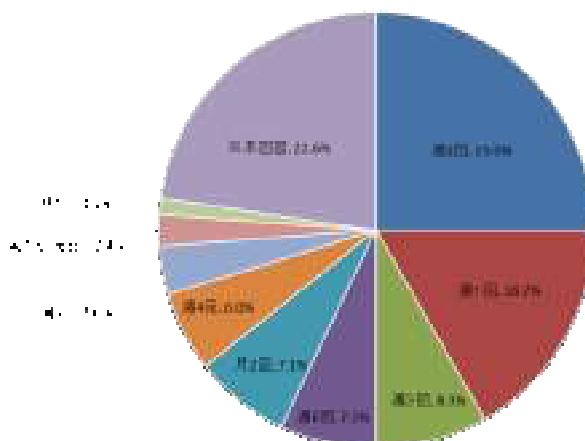


「スポーツをしている」と回答した人が行っているスポーツ（2つまで回答）

スポーツの種類	人数	割合(%)	スポーツの種類	人数	割合(%)
ウォーキング	21	25.0%	クロスカントリー	1	1.2%
ゴルフ	8	9.5%	ゲートボール	1	1.2%
パークゴルフ	7	8.3%	サイクリング	1	1.2%
野球	6	7.1%	サッカー	1	1.2%
筋トレ	5	6.0%	スクエアダンス	1	1.2%
ジョギング	4	4.8%	スノーボード	1	1.2%
ミニバレー	4	4.8%	ソフトボール	1	1.2%
ヨガ	4	4.8%	ディスコン	1	1.2%
テニス	3	3.6%	トレッキング	1	1.2%
テニポン	3	3.6%	ノルディックウォーキング	1	1.2%
バレーボール	3	3.6%	バドミントン	1	1.2%
卓球	3	3.6%	バレエ	1	1.2%
アイスホッケー	2	2.4%	フォークダンス	1	1.2%
スキー	2	2.4%	ボーリング	1	1.2%
ストレッチ	2	2.4%	マラソン	1	1.2%
ダンス	2	2.4%	ランニング	1	1.2%
ラジオ体操	2	2.4%	レクダンス	1	1.2%
登山	2	2.4%	散歩	1	1.2%
TV体操	1	1.2%	太極拳	1	1.2%
カーブス	1	1.2%	※未回答	6	7.1%
計			計	110	

「スポーツをしている」と回答した人がスポーツをしている頻度

スポーツをしている頻度	人数	割合(%)
週2回	21	25.0%
週1回	14	16.7%
週3回	7	8.3%
週6回	6	7.1%
月2回	6	7.1%
週4回	5	6.0%
週5回	3	3.6%
週7回(毎日)	2	2.4%
月1回	1	1.2%
※未回答	19	22.6%
計	84	100.0%



問 25 問 24 で「スポーツをしていない」と答えた方の、スポーツをしていない理由とスポーツへの興味について

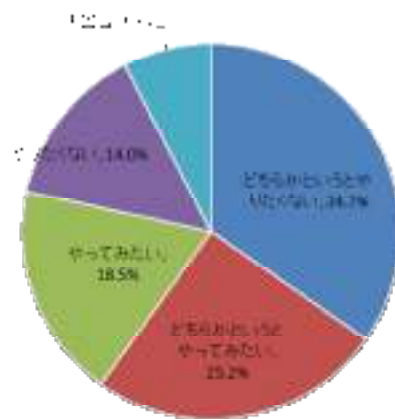
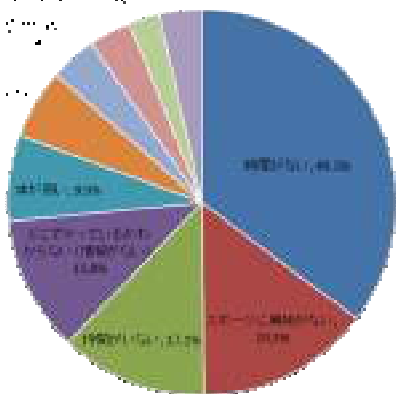
スポーツをしていない理由
(あてはまるもの3つに○)

区分	第6次	
	人数	割合(%)
時間がない	109	49.1%
スポーツに興味がない	45	20.3%
仲間がいない	38	17.1%
どこでやっているかわからない(情報が無い)	35	15.8%
体が弱い	22	9.9%
お金がかかる	18	8.1%
家族の協力が得られない	12	5.4%
教えてくれる人(指導者)がいない	11	5.0%
場所がない	8	3.6%
※未回答	11	5.0%
計	309	

スポーツへの興味・感心
(あてはまるもの1つに○)

区分	第6次	
	人数	割合(%)
どちらかというやりたくない	77	34.7%
どちらかというやってみよう	56	25.2%
やってみよう	41	18.5%
やりたくない	31	14.0%
※未回答	17	7.6%
計	222	100.0%

スポーツをしていない理由の割合

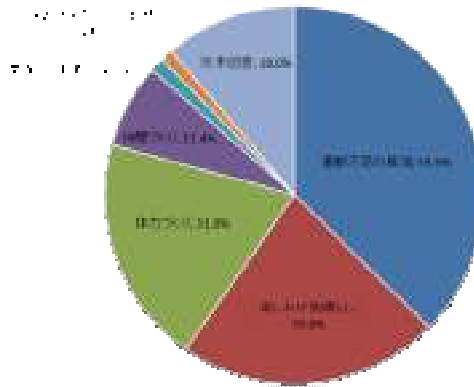


「やってみよう」「どちらかというやってみよう」と回答した人がやりたいスポーツ

スポーツの種類	人数	割合(%)	スポーツの種類	人数	割合(%)
テニス	9	9.3%	アイスホッケー	1	1.0%
卓球	9	9.3%	カーリング	1	1.0%
サッカー	5	5.2%	サイクリング	1	1.0%
バレーボール	5	5.2%	ソフトテニス	1	1.0%
水泳	5	5.2%	ソフトボール	1	1.0%
バドミントン	4	4.1%	野球	1	1.0%
ウォーキング	3	3.1%	ノルディックウォーキング	1	1.0%
ゴルフ	3	3.1%	パークゴルフ	1	1.0%
ヨガ	3	3.1%	バスケットボール	1	1.0%
ジョギング	2	2.1%	フットサル	1	1.0%
ダンス	2	2.1%	ボルダリング	1	1.0%
ミニバレー	2	2.1%	ヨガピラティス	1	1.0%
ランニング	2	2.1%	体力作り等の運動	1	1.0%
TRX	1	1.0%	※未回答	29	27.8%
計				97	

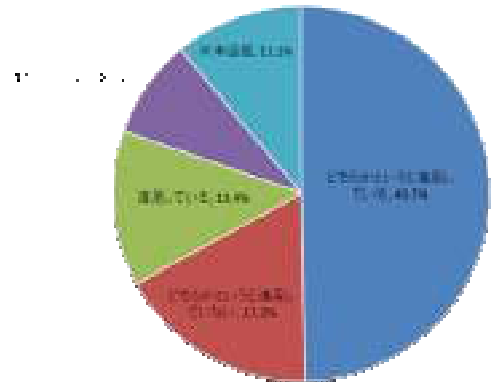
問 26 何のためにスポーツをしている
(やってみたい) と思いますか。
(あてはまるもの2つに○)

区分	第6次	
	人数	割合(%)
運動不足の解消	182	59.5%
楽しみや気晴らし	109	35.6%
体力づくり	95	31.0%
仲間づくり	35	11.4%
家族のふれあい	6	2.0%
全国大会などへの出場	5	1.6%
※未回答	55	18.0%
計	487	



問 27 あなたは町内における運動や
スポーツの環境に満足していますか。
(あてはまるもの1つに○)

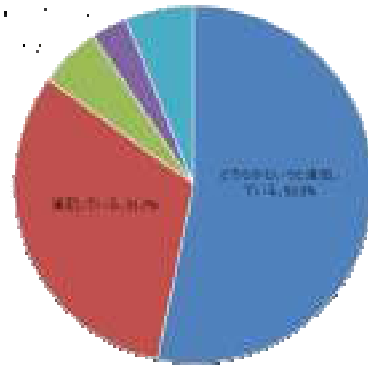
区分	第6次	
	人数	割合(%)
どちらかという満足している	152	49.7%
どちらかという満足していない	53	17.3%
満足している	41	13.4%
満足していない	26	8.5%
※未回答	34	11.1%
計	306	100.0%



満足していない理由	情報が無い、足りない(13人)
	講座の不足、参加したい講座、イベントがない(7人)
	時間がない、時間が合わない(4人)
	参加しづらい(3)
	施設の整備不足(2人)
	指導者が少ない(2人)
	施設数の不足(2人)
	施設が遠い(2人)
	施設が古い(2人)
	オカモトさんのジョイフィットができて嬉し
	札内スポセンを利用しているがバーベルが軽いのしかない。もう少し充実させてほしい
	もっと色々なスポーツ教室をやってください。
	休日祝日にはイベントがあるが皆が休みではなく働いていて参加したくともできない。そんな人が沢山いるのでは??
	札内スポセンに通っていますが、ウォーキングマシンの数が足りない事、筋トレマシンの間隔が狭く、隣の人との距離が近い
	札内スポセンのトレーニング室の器具について、筋力強化をメインとするトレーニングを行う人向けの器具を設置してほしい。(高負荷トレーニングを行えるもの、重いウエート等)
	ジム、プールの充実
	札内のプールはどうなるのか? 情報が無い
通年で使えるプールがない	
施設管理人の対応が悪い。	
予約が埋まっていて使用できないことが多い。マシンなど中学生が使えない(保護者同伴なら可とするなどルールを変えてほしい)	

問 28 あなたは町内出身のスポーツ選手の活躍に対する町の応援活動に満足していますか。(あてはまるもの1つに○)

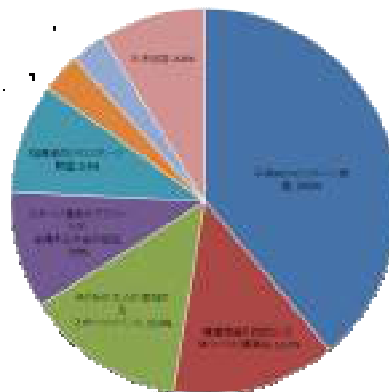
区分	第6次	
	人数	割合(%)
どちらかという満足している	163	53.2%
満足している	97	31.7%
どちらかという満足していない	17	5.6%
満足していない	10	3.3%
※未回答	19	6.2%
計	306	100.0%



満足していない理由	応援活動の内容がわからない(5人)
	児童・生徒の大会参加などの金銭的支援を充実すべきと思う。
	町としてスポーツ選手の成長のために特別なことをしているとは思えないのに活躍した時に町の名前を前面に出して応援するのはどうかと思う。
	必要ない。常に地元に住るわけではなく、企業に属している人たちに援助はいらない。
	オリンピック等の時にしか活動がわからない。
	オリンピックに出たから応援してます感があり普段からの活動が見られない
	町内出身だからといって特別な応援は必要ないと思う。その人が町に貢献しているのならしても良いと思うが。
	名誉より賞金とか年金の話になるがスポーツをやって良かったと思える体勢づくりが必要だと思う
	情報がうまく入ってこない
	もう少し何かしてあげた方が良いと思った。
選手が分からない	

問 29 現在、町内出身のスポーツ選手やアスリートを活用した「オリンピックの町づくり」を展開しています。あなたは、今後スポーツ選手やアスリートを活用してどのようなことをしてもらいたいですか。(あてはまるもの1つに○)

区分	第6次	
	人数	割合(%)
子供向けのスポーツ教室	119	38.9%
健康増進を目的とした体づくりの講演会	42	13.7%
子どもや大人が参加するスポーツイベント	41	13.4%
スポーツ選手やアスリートが出場する大会や試合	30	9.8%
指導者向けのスポーツ教室	28	9.2%
スポーツ選手やアスリートになるための体づくりの講演会	10	3.3%
その他	9	2.9%
※未回答	27	8.8%
計	306	100.0%



満足していない理由	スポーツを目指す子供、関心を持つ親の子供達にはとても良い環境と思っています。そうではない子供達へ、その様な選手、アスリートがそれらの魅力を伝える方法が無いだろうと思う。
	町のPR
	アスリートが小中学校に出向いて、努力・感動などを語って刺激を与えてほしい。
	スポーツ選手・アスリートに体をつくるためには、体を休めることの重要性や休め方なども含めて話してもらおうが良い。
	やらなくてよい
	全国で幕別町のPR物産品の宣伝
	選手が疲れて帰ってきたら、ゆっくりさせてあげてください。
	祝勝行事を行うのは良い事だが、町づくりに活かすというのは違和感がある。

問 30 あなたは、どのような生涯学習の講座や機会があれば良いと思いますか。（自由記述）

エコクラフト、ヨガ、ジャズバンド
ガーデニングの講座、お花に関する講座、十勝のガーデン(十勝ヒルズ、紫竹ガーデン等)見学ツアー講座
カラーセラピー等のカウンセリング関係、ハンドメイド
スポーツが盛んな幕別町にしたい。
スマホの使い方
テニス、ネイル、マッサージ
パソコン、スマホ講座
プロ野球選手の技術指導や講義
英会話(夜間開催)
英会話や簡単な製作、調理活動が夜間に行われると良い
町民のみなさんがだれでも参加しやすい英会話教室(時間や曜日など増やしてもらいたい)
家族で参加できるような講座や機会があると良いです。(乳幼児含む)
絵画教室(日中もあると良い)
具体的には思いつきませんが、どんな講座でも安心できる託児があると助かります。
健康に関する話等、日常的な事であまり難しくないお話だと聞きたい気がします。
健康増進のための食・体づくりのための運動の講座
高齢化社会に向けて高齢者への健康指導やサポート等心と体の両面から高齢者を支えて幕別町として健康寿命を延ばす取組。(保健課の視点ではなく、生涯学習の視点で)を期待したい。
高齢者向けの学習生涯講座、障害関係の講座
今は自由な時間をとるのは難しいがお金のかからない趣味があったらと思う。
再就職を考える子育て世代の女性の為の講座。子どもが英語に触れる機会(遊びや絵本の読み聞かせなど)
札内地区で年間通して使える水泳施設がほしい。
子どもからお年寄りまで参加できる教育
子育て中でも参加できるような環境
自作の小説やエッセイ、歴史好きな人達の集まり(戦国時代・幕末期)などの交友や交流会
自然、生活、防災体験などの体験活動機会
自然と触れ合えること
手話サークル
手話講座があればいいと思います。
趣味講座を増やしてほしい(経費をあまりかけない事)
終活、老いへの準備、体づくり、シニアの仲間づくり
初心者でも参加しやすい軽スポーツサークルなどがあれば、とっかかりとして始めやすい様な気がします。
心の教育、子どものメンタルトレーニング
身体づくりの講座をもっと増やしてほしい。
生け花、茶道
専門的な大学講座みたいなもの
太極拳
大人でも自宅で子供に勉強を教える知識(中学校 数学、英語など)
大人になってから勉強がしたいと思うことがある。大人の学習塾(期間限定の)があったらいいかも?(歴史とか数学・古典とか学べる)
地域活性化講座、ボランティアに繋がる活動であれば参加していきたい。
着物着付け、語学(中国語)、パソコン
陶芸教室で時間が合えば参加したい
読書、映画鑑賞等
農村地域からも通い易いように交通手段を充実させてほしい(親は農作業で送迎が難しいため)
防災に関すること、パソコン、音楽、男の料理、語学(英、仏、中、韓、露)
料理、裁縫
料理教室やふるさと館ジュニアスクールなど過去に参加しましたが、とても楽しく役に立っていると思うのでこのようなものを継続していただきたいです。工作教室や読み聞かせなども好きを見つける機会だと感じました。

問 31 あなたは、ボランティアをしたらどのようなことをしたいですか。（自由記述）

老人クラブでの交通安全指導、町内周辺の掃除等
幼児への絵本の読み聞かせ、小中学生の学習指導(得意な科目)(家庭以外の場合)
福祉、動物関係
農業
動物愛護
冬場、除雪に困っているお年寄りの家でお手伝いすること
通訳、ホームステイ受け入れ
通学の見守りなど
町内会のお手伝い
町の発展になること、町民の為になることならなんでもやりたいです。
地域の環境美化のため清掃活動を定期的に行う。(特に地区住民の参加が必要です)
託児のような一息つきたいお母さんの代わりに子どもの面倒をみてあげること
帯広では、保育所等の送迎で親が働いている時間帯のサポートのボランティアがあるようです。
体力的に自信がないので、事務的な事やあまり時間の束縛が少ない事
清掃、草刈り、除雪
正直いってボランティアとは何か分からない。自衛隊や消防隊の邪魔にならないように参加したい
食事に関すること、話し相手になること
植木活動
障がい者や高齢者と直接かかわれること。お祭りイベント
小さな子どもを持つお母さんの役に立てれば嬉しい。
小さな子どもたちと遊べること
児童の学習に関すること、老人の買い物の援助、老人宅の環境に関すること、地域の環境整備(美)
子育て世代の方の手が足りていない時のお手伝い
子ども達の体験活動の支援
子どもの預かり、本の読み聞かせなど子ども達と関わること
子どもの野外活動など
病児保育
今、絵手紙のボランティアしています。
高齢者のスポーツ大会等の手伝い
高齢なので軽い手作業くらいならできるかも
講演会の会場手伝い、保育(子守り)、食事の炊き出し
交通整理(アスリートの皆さんが町に凱旋した時)
健康増進に関わること
継続して参加しなくてもいけないものではなく一回しか参加できなくても大丈夫なようなものが参加しやすい
逆にボランティアを求めている人がいるのでしょうか？いるなら役に立つよう考えるかもしれませんが、おしつけにならないかな～とか考えてしまいます。
街をきれいにする活動(ゴミ拾い、花を植えるなど)
花壇の手入れ
ファミリーサポート、手話サポート
スキーの指導、茶道でのふれあい
こども食堂等
お話し相手
イベントのお手伝い
あいさつ運動

(2) 幕別町生涯学習中期計画案の策定について（諮問）

幕 教 生 第 383 号
平成30年 6 月 22 日

幕別町社会教育委員会 委員長 様

幕別町教育委員会 教育長 菅野 勇次

幕別町生涯学習中期計画案の策定について（諮問）

本町の生涯学習推進につきましては、平成20年3月に策定されました第5期幕別町総合計画を基本計画として、平成26年3月に策定した第5次幕別町生涯学習中期計画に基づき、「ともに考えともに創る活力あるまちづくり」「文化の香る心豊かな学びのまちづくり」を基本理念に諸施策の推進を図ってまいりました。

第5次幕別町生涯学習中期計画の最終年度を迎えるにあたり、人々の価値観、生活様式の多様化や地域社会、家庭のあり方など社会構造全体が急激に変化している中で、大人をはじめ子どもたちを取り巻く生活環境は、様々な課題を内包しているところであります。

このような中、これまで培われた本町の教育を基盤とし、豊かな人間性を育む教育環境の整備・充実を図り、さらに一人ひとりの個性と地域の特性を生かし、生涯にわたって学習できる機会の提供や、豊かで活力ある地域づくりのため、生涯学習に対する充実が求められています。

こうした現状や課題を踏まえ、これからの幕別町に求められている生涯学習社会のあるべき姿を構築するため、次期計画「第6次幕別町生涯学習中期計画（案）」の策定を諮問いたします。

記

1 考慮いただきたい事項

- (1) 第6期幕別町総合計画及び幕別町教育目標に沿ったものであること。
- (2) 第6次計画は、平成31年度から平成35年度までの5年間とすること。

2 答申希望日 平成31年3月31日まで

(3) 第6次幕別町生涯学習中期計画策定経過

- 平成30年5月14日 第7回教育委員会
・幕別町社会教育委員の委嘱
- 5月31日 第8回教育委員会
・幕別町生涯学習中期計画案の策定について
- 6月22日 第1回社会教育委員会
・委嘱状交付
・正副委員長選出
・教育委員会より、第6次生涯学習中期計画の諮問
・策定部会の構成
- 7月25日 第1回総合教育会議
・第6次生涯学習中期計画策定スケジュールについて
- 7月26日 第2回社会教育委員会
・生涯学習計画とは
・アンケート調査について
(部会開催(社会教育・社会体育・学校教育))
- 8月31日 第3回社会教育委員会
・アンケート調査について
・第5次生涯学習中期計画の評価
(部会開催(社会教育・社会体育・学校教育))
- 11月21日 第4回社会教育委員会
・アンケート調査結果について(報告)
・第5次生涯学習中期計画の評価(報告)
・第6次生涯学習中期計画の策定
- 12月19日 第2回総合教育会議
・第6次生涯学習中期計画(素案)について
- 平成31年1月15日 パブリックコメント
(～2月15日まで)
- 2月26日 生涯学習推進部会
・第6次生涯学習中期計画の調整
- 3月6日 第5回社会教育委員会
・第6次生涯学習中期計画の調整と答申について
- 3月25日 第4回教育委員会
・教育委員会審議・決定

(4) 幕別町社会教育委員会委員名簿

委員長 岩谷 史人 (忠類地区)

副委員長 鈴木 譲二 (江陵高等学校副理事長)

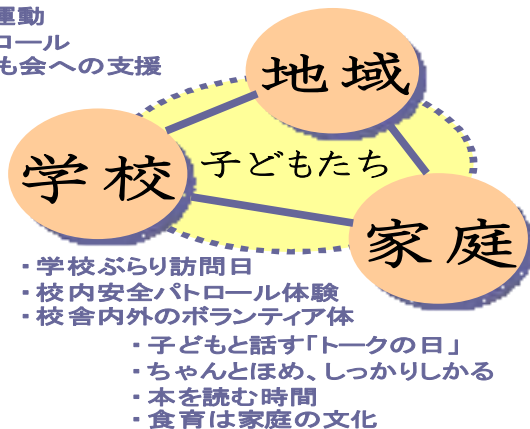
- (1) 社会教育部会 (5名) 岩谷 史人 ※部会長
千葉 智子 (NPO まくべつ町民芸術劇場)
中井 一美 (町文化協会)
原田 啓二 (町子ども会育成連絡協議会)
松田 哲博 (農村：南幕別地区)
- (2) 社会体育部会 (5名) 鈴木 譲二 ※部会長
和田 良治 (町体育連盟)
新倉 榛名 (町スポーツ推進委員)
池田 明子 (幕別地区)
新保 都 (札内地区)
- (3) 学校教育部会 (5名) 帰山 孝美 ※部会長
岡田 義行 (町PTA連合会)
山口 由美子 (札内地区)
加藤 広規 (農村：西幕別地区)
井原 みきえ (忠類地区)
- (4) 生涯学習推進部会 (3名) 岩谷 史人 ※部会長
鈴木 譲二
帰山 孝美 (町校長会：幕別小学校長)

毎月19日は まくべつ教育の日

たとえばこんなこと

- ・子ほめ、子しかり運動
- ・あいさつ運動
- ・安全パトロール
- ・地域子ども会への支援

いっしょに読む・食べる
いっしょに遊ぶ・話す
しっかりと聞く・見る



○幕別町教育の日憲章

わたしたちは、自己を高め、明るく豊かな暮らしが営めるよう、毎月19日を幕別町教育の日と定め、ふれあい、響きあい、磨きあいながら、ともに伸びる教育をめざします。

- 1 あたたかい家庭をめざして
 - ・家族だんらの機会をふやし、子どもの自主性と個性、やさしい心を育てます。
 - ・家族が協力して、子育てにあたります。
- 2 あかるい地域をめざして
 - ・子どもは地域の宝、まちの宝、あたたかく成長を見守ります。
 - ・子どものために、よりよい環境をつくります。
- 3 たのしい学校をめざして
 - ・ゆとりある教育をめざし、豊かな心をはぐくみます。
 - ・来て・見て・知って、みんなで学校づくりにつとめます。

子どもをまん中に
家庭・地域・学校が

幕別町教育委員会

第6次幕別町生涯学習中期計画 〈2019年度～2023年度〉

2019年3月発行

発行者：幕別町教育委員会

〒089-0604 北海道中川郡幕別町錦町98番地

TEL 0155(54)2006

FAX 0155(54)4714

E-mail shogaigakusyuka@town.makubetsu.lg.jp

第 1 期幕別町スポーツ推進計画 (令和 3 年度～令和 5 年度)



令和 3 年 2 月
幕別町教育委員会

目次

第1章 計画の策定に当たって

- 1 計画策定の背景と趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画の策定体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 スポーツを取り巻く現状

- 1 町民のスポーツ意識の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 スポーツ関係団体の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 3 スポーツ施設の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第3章 計画の体系

- 1 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 2 基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 3 SDGsを踏まえた計画の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 4 計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

第4章 基本計画

- 1 スポーツを「見る」「応援する」雰囲気を醸成しよう！・・・・・・・・ 14
- 2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！・・・・ 15
- 3 社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えよう！・・・・・・・・ 17
- 4 子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくろう！・・・・ 19
- 5 「オリンピックの町・幕別町」を広げよう！・・・・・・・・・・・・ 21

第5章 計画の推進に当たって

- 1 計画の推進に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- 2 主な関係団体の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

第1章 計画の策定に当たって

1 計画策定の背景と趣旨

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神のかん養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっています。

また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものでもあります。

国は、スポーツ立国を実現するために、平成23年に「スポーツ基本法」を制定し、スポーツに関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明確化しました。また翌年には「スポーツ基本計画」、平成29年には「第2期スポーツ基本計画」を策定し、国民、スポーツ団体、民間事業者、地方公共団体、国等が一体となって取り組むための指針を示しました。

町では、これまで町内からオリンピック選手やプロスポーツ選手（以下「アスリート」と総称します。）を多く輩出しており、町民一人ひとりが運動やスポーツを見る・する・楽しむ機会を創り、地域に根ざしたスポーツコミュニティの確立に向けて、「アスリートと創るオリンピックの町創生事業」を展開してきました。

これまでの取組や国におけるスポーツ施策を踏まえ、今後も町民一人ひとりがスポーツに関わることで、スポーツが地域に根ざした文化として醸成するとともに、スポーツ交流人口の拡大や経済の活性化につながるよう、町・町民・地域・関係機関が一体となって、一歩ずつ着実にスポーツ振興に取り組むため、「幕別町スポーツ推進計画」を策定します。

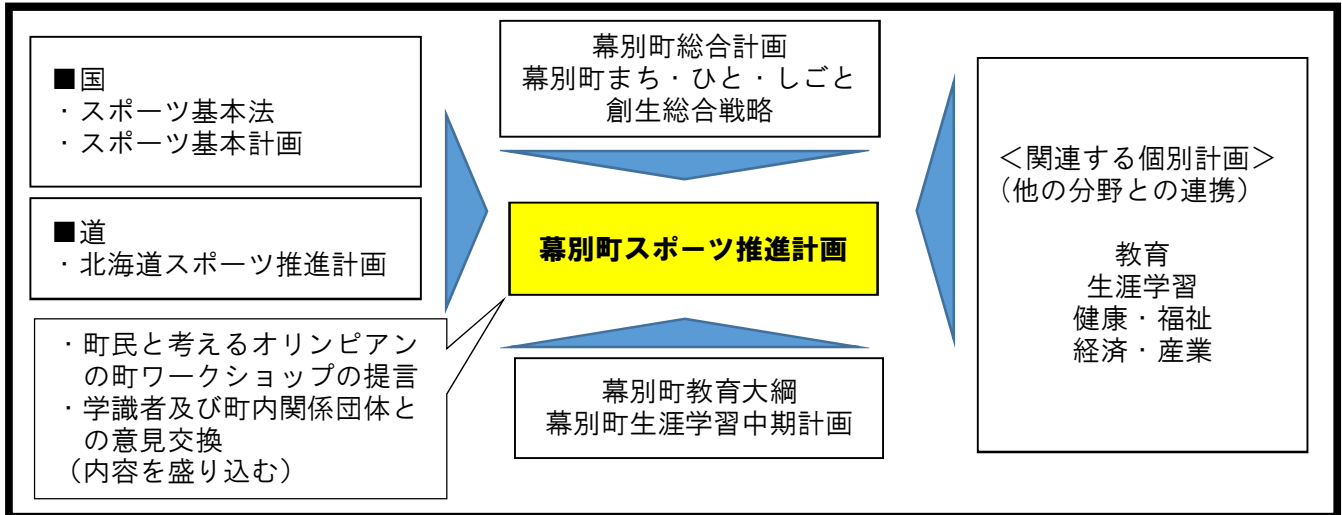
2 計画の位置付け

この計画は、スポーツ基本法第10条に基づく「地方スポーツ推進計画」として策定します。

また、計画策定に当たっては、国の「第2期スポーツ基本計画」及び「第2期北海道スポーツ推進計画」を参酌し、「第6期幕別町総合計画」の基本構想を基に、「幕別町教育大綱」の基本方針や「第6次幕別町生涯学習中期計画」などの個別計画との整合性を図ります。

3 計画の策定体制

この計画は、無作為抽出の町民及び関係団体が参加した「町民と考えるオリンピックの町ワークショップ」から令和元年10月に提言があった内容や学識者及び町内関係団体との意見交換内容などを盛り込み、スポーツに関する施策を体系化した「スポーツ推進計画」を策定します。



4 計画の期間

この計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和5年度（2023年度）までの3年間とします。
また、この計画は、社会情勢等の変化に対し柔軟に対応するため、計画期間中であっても必要に応じ見直しを行います。

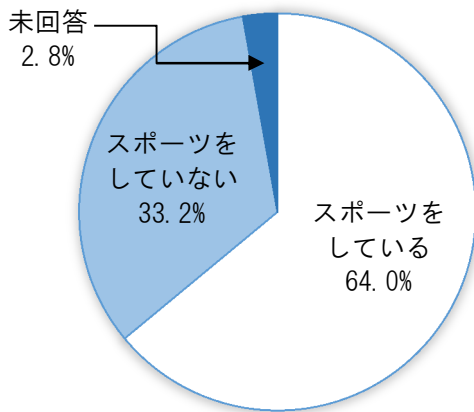
第2章 スポーツを取り巻く現状

1 町民のスポーツ意識の状況

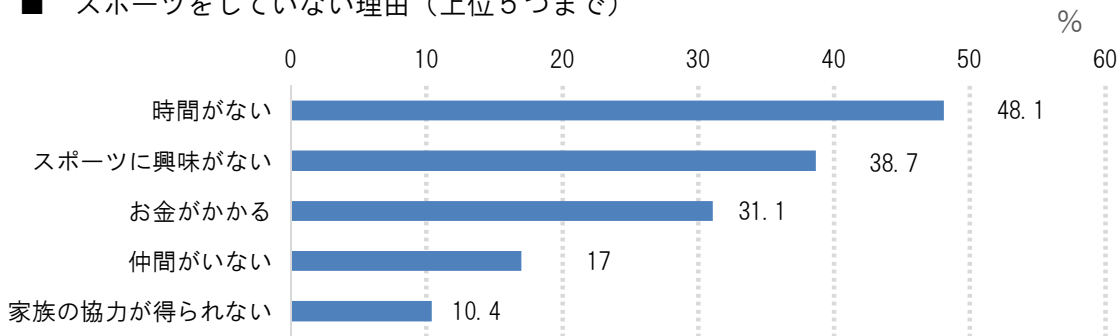
(1) 子どものスポーツの実施状況

町教育委員会が9歳から17歳までの子どもを対象に行った「第6次幕別町生涯学習中期計画アンケート（2018）」で、子どもがスポーツをしている人の割合は64.0%であります。スポーツをしていない人の割合は33.2%となっています。スポーツをしていない人の理由は、「時間がない」、「スポーツに興味がない」、「お金がかかる」と回答が多い一方で、スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度は「やってみたい」または「どちらかというとやってみたい」と回答している方が57.5%となっています。

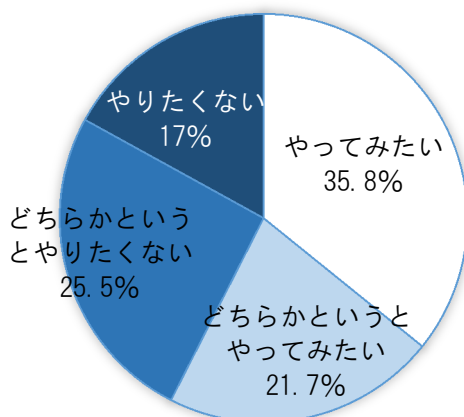
■ スポーツをしている人の割合



■ スポーツをしていない理由（上位5つまで）



■ スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度

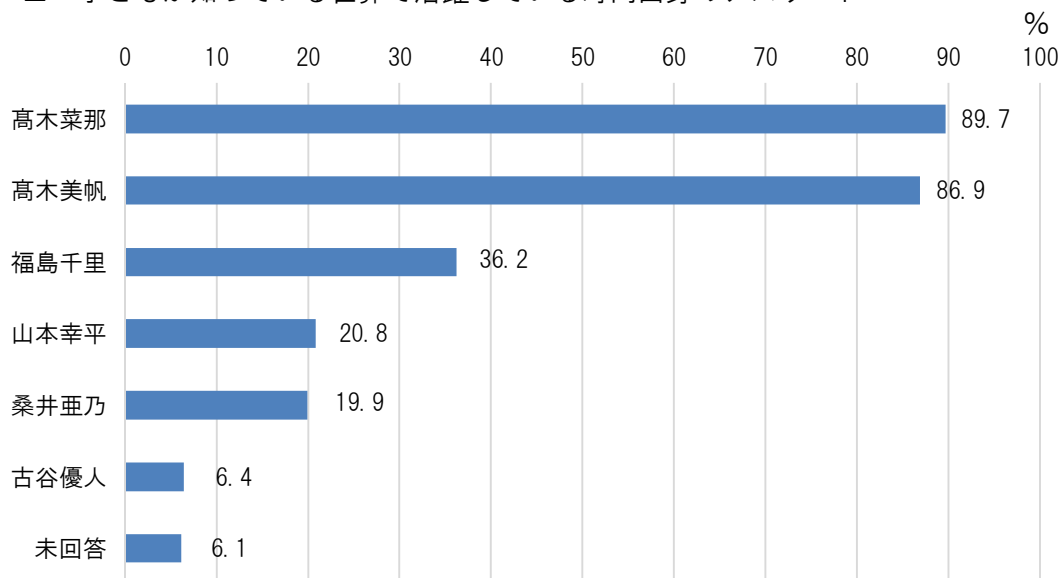


【参照】第6次幕別町生涯学習中期計画アンケート（9歳～17歳）の概要

調査時期	2018年9月19日～10月5日
抽出方法	4地区（幕別・札内・南幕別・忠類）に分けて、各地区の人口・性別・年代の人数割合に相応した人数を無作為に抽出
調査人数	704人
回収人数	319人（回収率45.3%）

また、子どもが知っている世界で活躍している町内出身のアスリートは、平昌オリンピックで金メダルを獲得した高木菜那選手や高木美帆選手が85%以上となっていますが、他の選手は知っている人が少ない状況となっています。

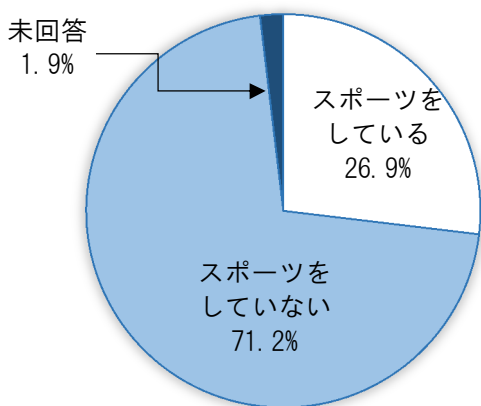
■ 子どもが知っている世界で活躍している町内出身のアスリート



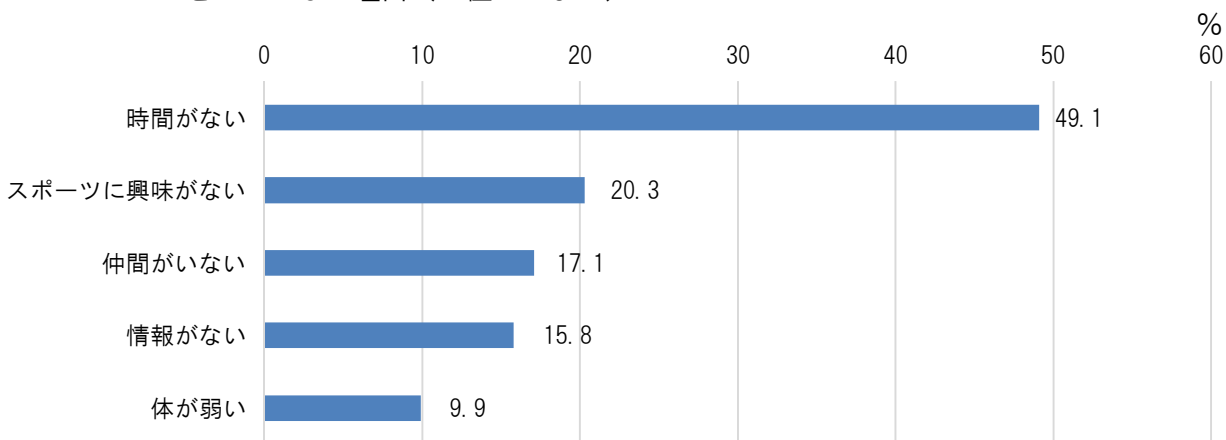
(2) 成人のスポーツの実施状況

スポーツ庁が行った「スポーツの実施状況等に関する世論調査（2019）」によると、スポーツをしている人の割合は全国で53.6%であります。町教育委員会が18歳以上の方を対象に行った「第6次幕別町生涯学習中期計画アンケート（2018）」で、スポーツをしている人の割合は26.9%であり、全国の約半数の割合となっています。スポーツをしていない人の理由は、「時間がない」、「スポーツに興味がない」、「仲間がない」と回答が多い一方で、スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度は、「やりたくない」または「どちらかというやりたくない」と回答している方が48.7%となっています。

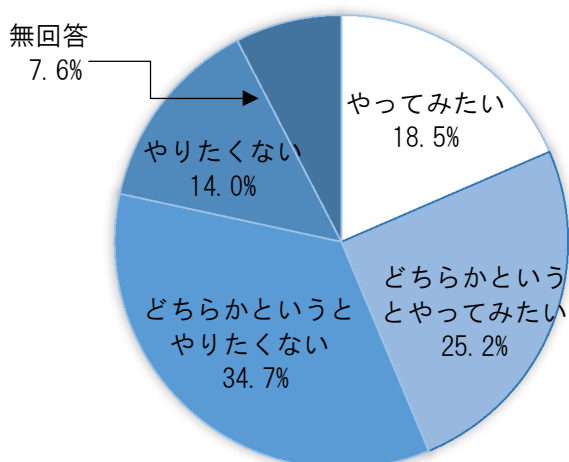
■ スポーツをしている人の割合



■ スポーツをしていない理由（上位5つまで）



■ スポーツをしていない人におけるスポーツの関心度

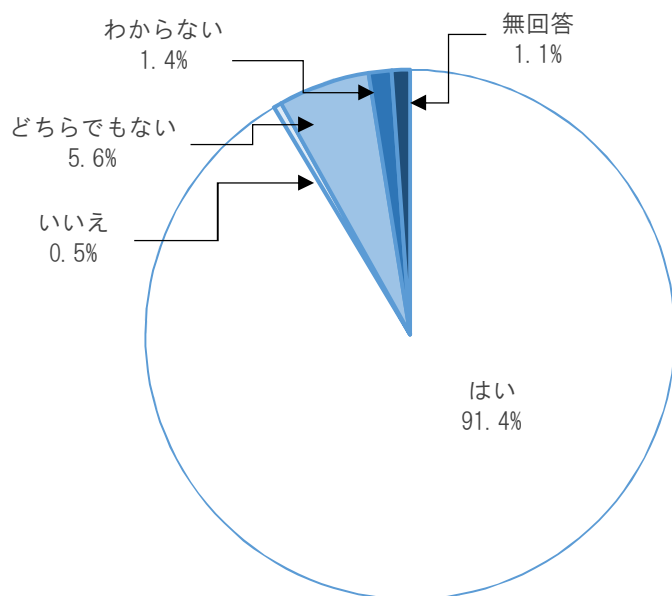


【参照】第6次幕別町生涯学習中期計画アンケート（18歳以上）の概要

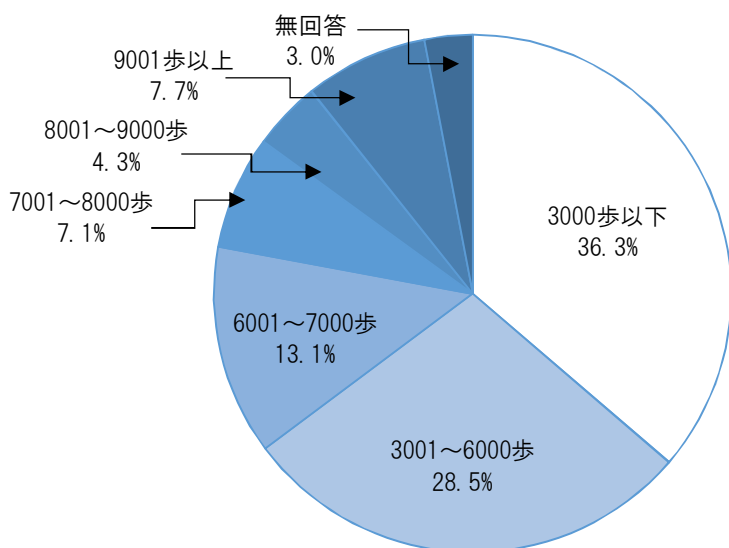
調査時期	2018年9月19日～10月5日
抽出方法	4地区（幕別・札内・南幕別・忠類）に分けて、各地区の人口・性別・年代の人数割合に相応した人数を無作為に抽出
調査人数	796人
回収人数	306人（回収率38.4%）

町が20歳から79歳までの方を対象に行った「健康づくりアンケート（2017）」で、「運動は健康にとって大切か」という問いには大切であると回答した方が91.4%となっており、運動と健康の意識が高い一方、1日に歩く歩数では、3000歩以下が36.3%であり、厚生労働省が行った「国民健康・栄養調査（2018）」における平均6340歩と比べると非常に少ない状況にあります。

■ 運動は健康にとって大切か



■ 1日に歩く歩数

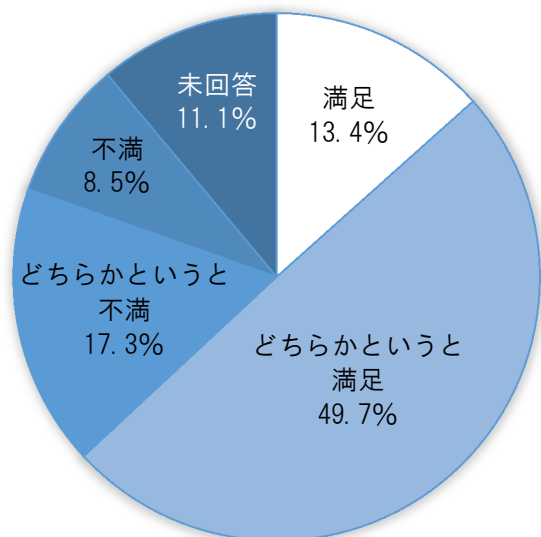


【参照】健康づくりアンケートの概要

調査時期	2017年7月1日～7月20日
抽出方法	4地区（幕別・札内・南幕別・忠類）に分けて、各地区の人口・性別・年代の人数割合に相応した人数を無作為に抽出
調査人数	2,000人
回収人数	844人（回収率42.2%）

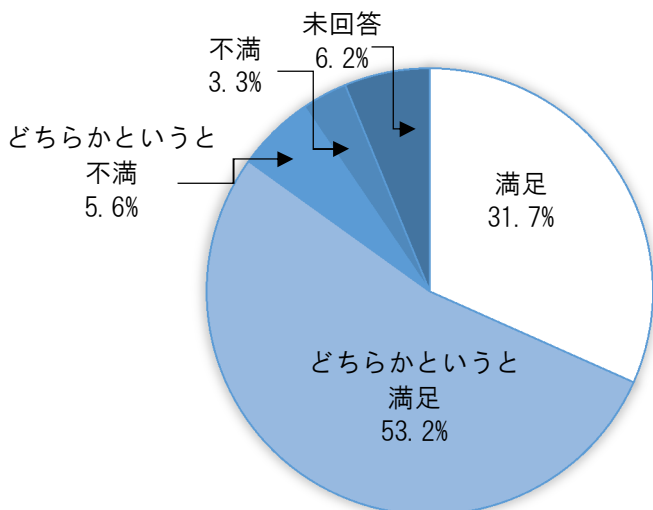
町教育委員会が行った「第6次幕別町生涯学習中期計画アンケート（2018）」で、町内のスポーツ環境の満足度は、「満足」または「どちらかという満足」と回答している方が63.1%となっていますが、「どちらかという不満」または「不満」と回答している方が25.8%となっており、不満の理由として、「情報が足りない」、「施設や機器の整備不足」、「参加したい講座やイベントが少ない」と回答されています。

■ 町内のスポーツ環境の満足度



町内のスポーツ選手の応援活動に対する満足度は、「満足」または「どちらかという満足」と回答している方が84.9%となっていますが、「どちらかという不満」または「不満」と回答している方が8.9%となっており、不満の理由として、「応援活動内容がわからない」、「情報が入ってこない」、「オリンピックだけでなく、普段の活動がわからない」と回答されています。

■ 町内のスポーツ選手の応援活動に対する満足度



2 スポーツ関係団体の状況

(1) スポーツ少年団の状況

スポーツ少年団の団員数は、近年、横ばい傾向にありますが、団体数は、小学校区単位におけるスポーツ少年団のチームを構成することが難しく、複数校構成の混合チームやクラブチームとなってきており、平成28年度をピークに減少傾向にあります。

■ スポーツ少年団登録団員数と団体数の推移（各年度末現在）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
団体数	38	37	36	36	38	38	38	37	36	35
団員数	1,227	1,127	1,036	999	997	1,012	1,033	1,018	1,045	1,039

(2) 体育連盟の状況

体育連盟は、町民のスポーツの普及と振興、体力向上と健康増進を願い、昭和33年4月に設立しました。加盟団体数は、近年、横ばい傾向にありますが、競技人数は、令和元年度に500人ほど減少しており、特に若年層の競技者が少なくなっている傾向にあります。

■ 体育連盟加盟団体数と競技人数の推移（各年度末現在）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
団体数	32	31	32	33	34	34	34	34	34	34
人数	3,589	3,735	3,791	3,748	4,014	3,953	4,019	4,880	4,934	4,436

(3) スポーツ推進委員の状況

スポーツ推進委員は12人を委嘱し、地域スポーツ振興の推進役として、毎年、「ウォークラリーまくべつ」や「リフレッシュ教室」の開催、「チャレンジデー」や「まくべつマラソン大会」などのイベント協力を行っています。

(4) スポーツ合宿誘致実行委員会の状況

スポーツ合宿誘致実行委員会は、スポーツ合宿や大会を誘致し、交流人口の拡大、スポーツの振興及び地域の活性化を目指した活動を行っており、平成30年度は「慶應義塾体育会野球部」の合宿誘致、令和元年度は「慶應義塾体育会野球部」の合宿誘致と「車いすラグビー日本選手権予選リーグ」の大会誘致を行いました。

(5) 総合型地域スポーツクラブの状況

総合型地域スポーツクラブは、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多目的）、それぞれの志向やレベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

町内には、「特定非営利活動法人 幕別札内スポーツクラブ」と「一般社団法人 十勝総合型スポーツクラブ フーニ」の2クラブを有しており、町のスポーツ振興に大きく貢献しています。

3 スポーツ施設の状況

町内で利用可能なスポーツ施設等は次のとおりであり、各地区に様々なスポーツ施設があります。町発祥のスポーツであるパークゴルフ場は、町内で14コースあります。

農業者トレーニングセンター及び札内スポーツセンターは、令和元年度から指定管理者制度を導入し、民間事業者が施設の管理運営全般を行っており、サービスの充実、利用者の拡大に努めています。

また、民間スポーツ施設では、トランポリン施設やゴルフ場などがあります。

地区	施設名	内容
幕別	農業者トレーニングセンター	アリーナ、武道場、トレーニング室
	幕別運動公園	陸上競技場、野球場、ソフトボール場、多目的広場、屋外スケートリンク場(冬季)、アーチェリー場、テニスコート、ゲートボール場、パークゴルフ場(2コース)
	明野ヶ丘公園	スキー場(冬季)、マウンテンバイクコース、パークゴルフ場(1コース)
	その他施設	屋内プール(1箇所)、屋内ゲートボール場(1箇所)、屋外ゲートボール場(1箇所)、パークゴルフ場(1コース)
札内	札内スポーツセンター	アリーナ、武道場、トレーニング室、テニスコート
	依田公園	野球場、テニスコート、アーチェリー場、パークゴルフ場(2コース)
	札内川河川緑地公園	野球場、ソフトボール場、テニスコート、バスケットコート、サッカー場、ラグビー場、パークゴルフ場(1コース)
	スマイルパーク	パークゴルフ場(1コース)
	その他施設	屋外スケートリンク(冬季)、屋内プール(3箇所)、屋内ゲートボール場(1箇所)、屋外ゲートボール(2箇所)、パークゴルフ場(1コース)
糠内	糠内公園	パークゴルフ場(1コース)
	糠内町民プール	屋内プール(1箇所)
忠類	忠類体育館	アリーナ
	忠類野球場	野球場
	ナウマン公園	パークゴルフ場(2コース)
	白銀台スキー場	スキー場(冬季)
	その他施設	テニスコート(1箇所)、屋外ゲートボール場(1箇所)、屋内プール(1箇所)
民間施設		トランポリン常設施設(1箇所)、ゴルフ場(2箇所)、パークゴルフ場(2コース)

第3章 計画の体系

1 基本理念

スポーツは、幸福で豊かな生活を営むために重要なものであり、健康寿命の延伸や体力向上、介護予防、生活習慣病予防に寄与します。すでにスポーツをすることの楽しさを享受できている町民のみならず、スポーツをしていない、スポーツに無関心な町民も、スポーツを「見る」・「応援する」・「する」・「支える」という視点で、積極的にスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで、人生が豊かになるよう推進していきます。

また、これまで町内から多数のオリンピック選手を輩出していることやスポーツを行う上で自然環境や社会環境において適した地であることから、「オリンピックの町・幕別町」として町内外に発信していきます。

このことを踏まえ、幕別町の教育目標である「郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人」の育成を基本として、子どもから高齢者までのライフステージに応じたスポーツの推進など、これまで推進してきた取組は、本町のスポーツ推進の根幹となるものとして、引き続き、推進・充実を目指していきます。

2 基本目標

本計画の基本理念を実現するため、次の5つの基本目標を掲げます。

基本目標1 スポーツを「見る」・「応援する」雰囲気醸成しよう！

基本目標2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！

基本目標3 社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えよう！

基本目標4 子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくろう！

基本目標5 「オリンピックの町・幕別町」を広げよう！

3 SDGsを踏まえた計画の推進

SDGs（エス・ディ・ジーズ）は、持続できるというSustainable（サステイナブル）のS、開発というDevelopment（ディベロップメント）のD、目標であるGoalの複数形Goals（ゴールズ）のGとsの略語であり、日本語訳として、「持続可能な開発目標」とされています。



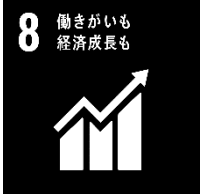




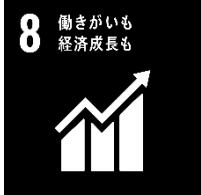


このSDGsは、2015年9月の国連で採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げた目標であり、環境、経済、社会それぞれの側面を統合的に向上させるため、17の目標と169のターゲットから構成されています。












この目標の達成に向け、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、町民にも役割があり、それぞれが協力・連携しあうことが求められています。

当計画がSDGsの推進につながるものと考え、SDGsの視点を取り入れ、基本目標の達成に向けた各種施策を推進します。



4 計画の体系

基本目標	施策の方向	関連するSDGs	
<p>1 スポーツを「見る」・「応援する」雰囲気を醸成しよう！</p>	<p>(1) 各種メディアによる情報発信の強化 (2) 町内出身アスリートの応援における町全体での機運醸成 (3) スポーツ合宿や大会の誘致とスポーツ交流人口の拡大</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに  ≪教育≫</p> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう  ≪パートナーシップ≫</p>	<p>8 働きがいも経済成長も  ≪経済成長・雇用≫</p>
<p>2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！</p>	<p>(1) スポーツ体験の充実 (2) 学校での体づくり活動の充実 (3) 様々な世代のスポーツ機会の充実と健康増進 (4) コミュニティスポーツの普及</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を  ≪健康な生活≫</p> <p>10 人や国の不平等をなくそう  ≪不平等の是正≫</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに  ≪教育≫</p>
<p>3 社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えよう！</p>	<p>(1) スポーツ団体の活性化 (2) スポーツ指導者やボランティアなどの人材育成 (3) スポーツ人材の働く環境づくり (4) スポーツ大会や用具、送迎などの保護者負担軽減</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに  ≪教育≫</p> <p>8 働きがいも経済成長も  ≪経済成長・雇用≫</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう  ≪ジェンダー平等≫</p> <p>10 人や国の不平等をなくそう  ≪不平等の是正≫</p>

基本目標	施策の方向	関連するSDGs	
<p>4 子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくろう！</p>	<p>(1) スポーツをしやすい環境づくり (2) 気軽にスポーツ施設を訪れる機会の創出 (3) スポーツに親しめる多様な環境整備</p>	<div data-bbox="1018 215 1219 412"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  <p>《健康な生活》</p> </div> <div data-bbox="1018 456 1219 654"> <p>8 働きがいの経済成長も</p>  <p>《経済成長・雇用》</p> </div> <div data-bbox="1018 698 1219 896"> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  <p>《不平等の是正》</p> </div>	<div data-bbox="1295 215 1497 412"> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>《教育》</p> </div> <div data-bbox="1295 456 1497 654"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>《インフラ》</p> </div> <div data-bbox="1295 698 1497 896"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>《安全な都市》</p> </div>
<p>5 「オリンピックの町・幕別町」を広げよう！</p>	<p>(1) 応援大使を活用した宣伝 (2) スポーツを活用した地方創生 (3) 大学及び道内プロスポーツ団体との連携</p>	<div data-bbox="1018 1025 1219 1223"> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>《教育》</p> </div> <div data-bbox="1018 1267 1219 1464"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>《安全な都市》</p> </div> <div data-bbox="1018 1509 1219 1706"> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>  <p>《パートナーシップ》</p> </div>	<div data-bbox="1295 1025 1497 1223"> <p>8 働きがいの経済成長も</p>  <p>《経済成長・雇用》</p> </div> <div data-bbox="1295 1267 1497 1464"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>《持続可能な生産消費》</p> </div>

第4章 基本計画

1 スポーツを「見る」・「応援する」雰囲気を醸成しよう！

〈現状と課題〉

- ・ 町内出身アスリートは、オリンピック出場やプロスポーツなどいろいろな分野で活躍しています。しかし、生涯学習中期計画のアンケート結果から、アスリートの情報が町民へなかなか伝わっていないことがわかり、また、町内出身のアスリートの認知度がそれほど高くはないと同時に、町内出身のアスリートが多数いることを町の強みだと感じている人も少ないことがわかりました。町全体が身内意識を持ち、これまで以上に応援する態勢を整える必要があります。
- ・ 自然環境や社会環境においてスポーツ合宿や大会に適した地であるため、近年、スポーツ合宿や大会の受入が増えていますが、町全体となった更なる受入体勢や盛り上がりが必要であることから、官民連携としたネットワークの強化が必要となります。

〈目標（KPI）設定〉

項目	現在	目標値
町の応援活動の満足度 ＊生涯学習中期計画アンケート	85.0% (H30)	88.0% (R5)
スポーツ合宿・大会の受入者数	299人 (H30)	420人 (R5)

〈施策の方向〉

(1) 各種メディアによる情報発信の強化

- ・ 町民が全道や全国で優秀な成績を収めた町内選手や町内出身のアスリートの情報を積極的に見たり、聞いたり、触れたりできるよう、町ホームページや広報紙で特集する機会を設けるなど、各種媒体により情報を提供します。

(2) 町内出身アスリートの応援における町全体での機運醸成

- ・ 町全体が町内出身アスリートの応援機運を高めるため、町全体での応援宣伝やパブリックビューイング等を通して、常に応援する雰囲気を作り出します。

(3) スポーツ合宿や大会の誘致とスポーツ交流人口の拡大

- ・ スポーツを行う環境が整っていることを発信しながら誘致を進めるとともに、官民連携として歓迎ムードの創出や地域に密着した交流活動等を通じて、スポーツ交流人口の拡大を図ります。

2 スポーツを「する」きっかけや新たな広がりをつくろう！

《現状と課題》

- ・ 少子化、共働きや核家族による家庭環境の影響に加え、スポーツ以外の興味や価値観の多様化により、子どもが体を動かす機会の減少を招いています。また、文部科学省が実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、中学生において全国平均を下回っている傾向があります。
- ・ スポーツをするきっかけには「楽しい」や「憧れ」を感じられることが重要であることから、オリンピック選手をはじめとしたアスリートと触れ合える機会を創出することで、その動機付けを行うことが必要です。
- ・ 成人期において、多くの人々が心身ともに健康で活力ある生活を望んでおり、スポーツ・レクリエーションへの関心がますます高まっています。日頃からスポーツを「する」きっかけをつくるとともに、継続してスポーツをする習慣を身に付けることも重要です。
- ・ パークゴルフは、コミュニティスポーツとして海外にも普及していますが、日本パークゴルフ協会や様々な分野と連携しながら、競技世代の裾野を広げることが必要です。
- ・ 障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを行うとともに、年齢や性別、障がい等を問わず、町民がパラスポーツに関心を示し、参画することができる環境整備が必要です。

《目標（KPI）設定》

項目	現在	目標値
成人のスポーツ実施率 ＊生涯学習中期計画アンケート	26.9% (H30)	30.0% (R5)
子どものスポーツ実施率 ＊生涯学習中期計画アンケート	64.0% (H30)	68.0% (R5)

《施策の方向》

(1) スポーツ体験の充実

- ・ 子どもが基礎的な運動を習得することで、スポーツの楽しさや喜びを感じ、子どもの心身の発育や体力の向上につなげます。
- ・ スポーツ団体と協議し、子どもが気軽に参加できる体験入会などのスポーツをするきっかけとなる取組を検討します。
- ・ 町内出身アスリートと直接触れ合う機会をつくり、様々なスポーツの体験、スポーツ技術の向上を図ります。

(2) 学校での体づくり活動の充実

- ・ 児童生徒に体を動かす喜びを実感させ、積極的に運動に取り組む意欲や態度を育てるため、学校の休み時間等を利用し、遊びを通してスポーツに親しむ機会を増やすなど体力や運動能力の向上に努めます。
- ・ 町内出身のアスリートが学校に訪問し、その選手が活躍している映像の放送やスポーツ等を通じて選手との交流を図り、スポーツに興味を持つ機会を創ります。

(3) 様々な世代のスポーツ機会の充実と健康増進

- ・ ウォーキング、ストレッチ、筋力アップ、ラジオ体操など、家庭内においても取り組める運動や、スポーツ施設の利用促進を図るとともに、ライフスタイルに合わせて継続できる運動を目指し、効果的な方法を普及します。
- ・ ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度を上げるため、広報紙やホームページ等で周知を図り、意識して体を動かすことの必要性について働きかけます。

(4) コミュニティスポーツの普及

- ・ 町発祥のスポーツであるパークゴルフの情報を国内外へ発信するよう努めるとともに、三世代が交流することができるパークゴルフを気軽に親しめるような取組を進めます。
- ・ パラスポーツ体験イベントを通じて、障がいのある人と障がいのない人が一緒にスポーツを楽しむ場を作るなど、パラスポーツに対する理解促進を図るとともに、共生社会の実現につながるよう努めていきます。

3 社会全体でスポーツを「支える」基盤を整えよう！

《現状と課題》

- ・ スポーツ振興を担う体育連盟は、若年層の加入が少なく、世代交代が進まない団体が見受けられることから、今後、活動の停滞によるスポーツ振興への影響が懸念されます。
- ・ 少子化により、学校単位でスポーツ少年団や部活動のチームを構成することが難しく、複数校構成の混合チームやクラブチームなどが増加傾向にあります。また、保護者が送迎や金銭面などの負担を理由に、スポーツ少年団や部活動に入らない場合があります。
- ・ 運動部活動において、専門的なスキルを持った教員が不足し、「生徒のニーズに合う運動部活動が学校に存在しない」、「不慣れな指導であるために専門性の高い指導ができない」といった課題があります。
- ・ スポーツ指導者は、技術指導だけでなく、スポーツの楽しさや面白さを上手に伝えることがスポーツの推進には不可欠であるため、スポーツ指導者の育成やハラスメントの防止にも取り組むことが重要です。
- ・ スポーツ大会やイベントの開催に当たり、関係団体が主体となり行ってきましたが、今後、多種多様なニーズに対応するため、スポーツボランティアの育成が求められています。
- ・ 北海道幕別清陵高等学校と総合型地域スポーツクラブとの連携により、高校生の活躍の場を創出しており、将来のスポーツに関わる若手人材の発掘・育成が期待されます。また、スポーツ環境をより豊かにするため、町内出身のアスリートの経験が町内で活かされる環境づくりも必要です。

《目標（KPI）設定》

項目	現在	目標値
体育連盟加盟競技人数	4,436人（R1）	4,600人（R5）
町内スポーツイベントのボランティア実績人数	180人（R1）	200人（R5）

《施策の方向》

(1) スポーツ団体の活性化

- ・ 町民がスポーツの理解と関心を深め、積極的にスポーツをする意欲を高めるとともに、関係団体に連携したイベントなどを展開し、スポーツ団体の活性化が図られるよう引き続き支援していきます。
- ・ 総合型地域スポーツクラブの特性を有効的に高めるために、関係団体との連携強化を図り、単体のスポーツ団体から複合型スポーツ団体へ発展していくよう支援していきます。

(2) スポーツ指導者やボランティアなどの人材育成

- ・ スポーツ団体と連携し、研修会や講習会などを通じて、スポーツ活動を「支える」立場である指導者の育成やスポーツ指導の資質向上を図る機会を充実します。
- ・ スポーツボランティアを育成するために、スポーツへの関わり方を学ぶ機会を創るとともに、活動内容の情報収集と情報発信をしていきます。

(3) スポーツ人材の働く環境づくり

- ・ 総合型地域スポーツクラブを核として、引き続き北海道幕別清陵高等学校と連携し、将来にわたりスポーツに関わることができる若い人材を育成するとともに、引退後のアスリートを雇用し、スポーツ指導や指導者の育成を行います。
- ・ 専門的な知識とトレーニング技術指導を持ったパーソナルトレーナー等の有資格者の採用を検討し、多種多様なニーズにこたえる指導体制を構築します。

(4) スポーツ大会や用具、送迎などの保護者負担軽減

- ・ 子どもが思う存分スポーツに取り組める環境を整えるため、全道大会や全国大会等に参加した者に宿泊費や交通費を助成することにより、保護者の経済負担への支援を行うとともに、送迎や競技用具購入などの保護者負担が軽減できるよう、地域と一緒に協力できる体制づくりを検討します。

4 子どもから高齢者までみんながスポーツをしやすい「環境」をつくろう！

《現状と課題》

- ・ 運動と健康の意識は高い一方、時間がなく、継続的にスポーツをするといった行動にはなかなか結び付いていないため、健康を促進するための事業効果が低調の状況にあります。
- ・ 農業者トレーニングセンターと札幌スポーツセンターにおいて、平成31年4月から指定管理者制度を導入し、トレーニング機器の指導担当者の常駐や町民のニーズに応えた健康講座の新設などにより、新規利用者を増やす取組を行っています。しかし、一般開放の時間が少なく、町民が気軽にスポーツをする環境になっていないことから、一度も行ったことがない町民もいます。また、スポーツ施設や公園等において、気軽にスポーツができる場所や情報が不足しています。
- ・ 幅広い世代の方が気軽にスポーツ・レクリエーションの場として公園を利用されていることから、今後も親しみが持て多くの方に利用してもらえる仕組みづくりが求められています。
- ・ スポーツ施設は、日常的に各種競技の練習会場や体力づくりの活動場所として使用されていますが、供用開始から30年以上経過した施設が多いことから、設備や備品の経年劣化が進み、計画的な整備が求められています。

《目標（KPI）設定》

項目	現在	目標値
農業者トレーニングセンター利用人数	26,903人 (R1)	33,000人 (R5)
札幌スポーツセンター利用人数	112,522人 (R1)	120,000人 (R5)
スポーツ環境の満足度 *生涯学習中期計画アンケート	63.1% (H30)	70.0% (R5)

《施策の方向》

(1) スポーツをしやすい環境づくり

- ・ 仕事等で忙しく、スポーツをする時間が少ないビジネスパーソンが多いことから、企業において、積極的にスポーツを通じた健康確保を促すため、働き方改革の啓発や休憩時間等にスポーツをしやすい環境づくりを働きかけます。
- ・ スポーツをしない人が気軽にスポーツを継続的に取り組めるよう、インセンティブ（成果報酬）を提供する制度をより効果的に活用できる手法を検討します。

(2) 気軽にスポーツ施設を訪れる機会の創出

- ・ スポーツへの興味や関心を高めるための雑誌や本の展示、スポーツ番組の放映、町にゆかりのあるアスリートの紹介を行い、気軽にスポーツ施設を訪ねることができるような演出を行います。
- ・ 気軽にスポーツができる場所、スポーツ施設の設備や利用方法などがわかりやすく紹介できる情報を積極的に発信していきます。また、スポーツ施設の一般開放について、利用団体などと協議を行い、多くの町民がスポーツ施設を利用できるような工夫を行います。

(3) スポーツに親しめる多様な環境整備

- ・ 町民が身近な場所でスポーツができるよう、道路や遊歩道、広場や公園などの既存資源を生かし、町民参加を基本として、スポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。町ホームページで公園の健康遊具や利用方法を紹介する等の取組を検討します。
- ・ 将来の人口動態を踏まえて、スポーツ施設における長寿命化計画を策定し、計画的な整備を行うとともに、地域や使用団体が愛着を持って、維持していく手法を検討します。

5 「オリンピックの町・幕別町」を広げよう！

《現状と課題》

- ・ 「オリンピックの町」としての魅力を町内外に発信するために、町内出身の現役オリンピック選手5人を応援大使とする事業や町内出身のオリンピック選手のゆかりの品を展示する事業を展開してきましたが、今後も更なる魅力を発信することが必要です。
- ・ 数年前から「産業まつり」と総合型地域スポーツクラブによるイベントを同時開催しているほか、令和元年は地元密着でJリーグを目指す北海道十勝スカイアースの選手が「産業まつり」に参加協力するなどスポーツを取り込んだ観光イベントが徐々に定着してきています。
- ・ 豊富な観光資源と自然環境や社会環境を生かして、パークゴルフやサイクリングなどの体験型スポーツツーリズムの取組により、町へ訪れる方が徐々に増えてきています。
- ・ 北海道科学大学、日本体育大学との連携協定を締結していることから、町が抱える様々な課題に対して、大学が持つ専門的な知見や学生の視点を生かした解決策や事業展開が期待されます。
- ・ プロスポーツ団体の理念に地域貢献を掲げていることが多いことから、プロスポーツ団体が持つノウハウやネームバリューを生かして、スポーツ振興や町の活性化など様々な課題解決をしていくことが今後求められます。

《目標（KPI）設定》

項目	現在	目標値
オリンピックたちからのメッセージ 「マチアルキ」視聴回数	162回（R2） *10月末現在	300回（R5）
スポーツと観光イベントの入込客数	27,000人（R1）	30,000人（R5）

《施策の方向》

(1) 応援大使を活用した宣伝

- ・ 今後も応援大使を活用した町の魅力発信を継続するとともに、様々な町の特徴を活用して、町の認知度を向上するための手法を検討します。

(2) スポーツを活用した地方創生

- ・ 町の基幹産業である農業を活用して、アスリートの育成に必要な栄養バランスがとれた地元産アスリート食の開発を進め、販路拡大に繋がります。
- ・ 町の特色である「農作物」、「食」、「スポーツ」、「エンターテインメント」を融合したイベントを開催し、子どもから高齢者までをターゲットとした集客や、スポーツに関心がない方も無意識に関わることができる取組を推進していきます。
- ・ 今後も体験型スポーツツーリズムを発展させていくために、スポーツ用具等の環境整備や情報発信の強化を行うとともに、旅行会社や近隣自治体と連携していきます。

(3) 大学及び道内プロスポーツ団体との連携

- ・ 北海道科学大学や日本体育大学との連携により、スポーツだけでなく、幼児教育や保健医療など様々な分野における研修会や講座の開催、北海道幕別清陵高等学校と連携した事業を検討します。また、大学が持つ専門的な知見を生かして、町内出身のオリンピック選手輩出

に係る優位性や環境の分析研究を行い、その研究結果に基づき、更なるスポーツの推進に役立てるとともに、町の魅力発信と愛着心につながる取組を行うことで、持続可能なまちづくりを推進していきます。

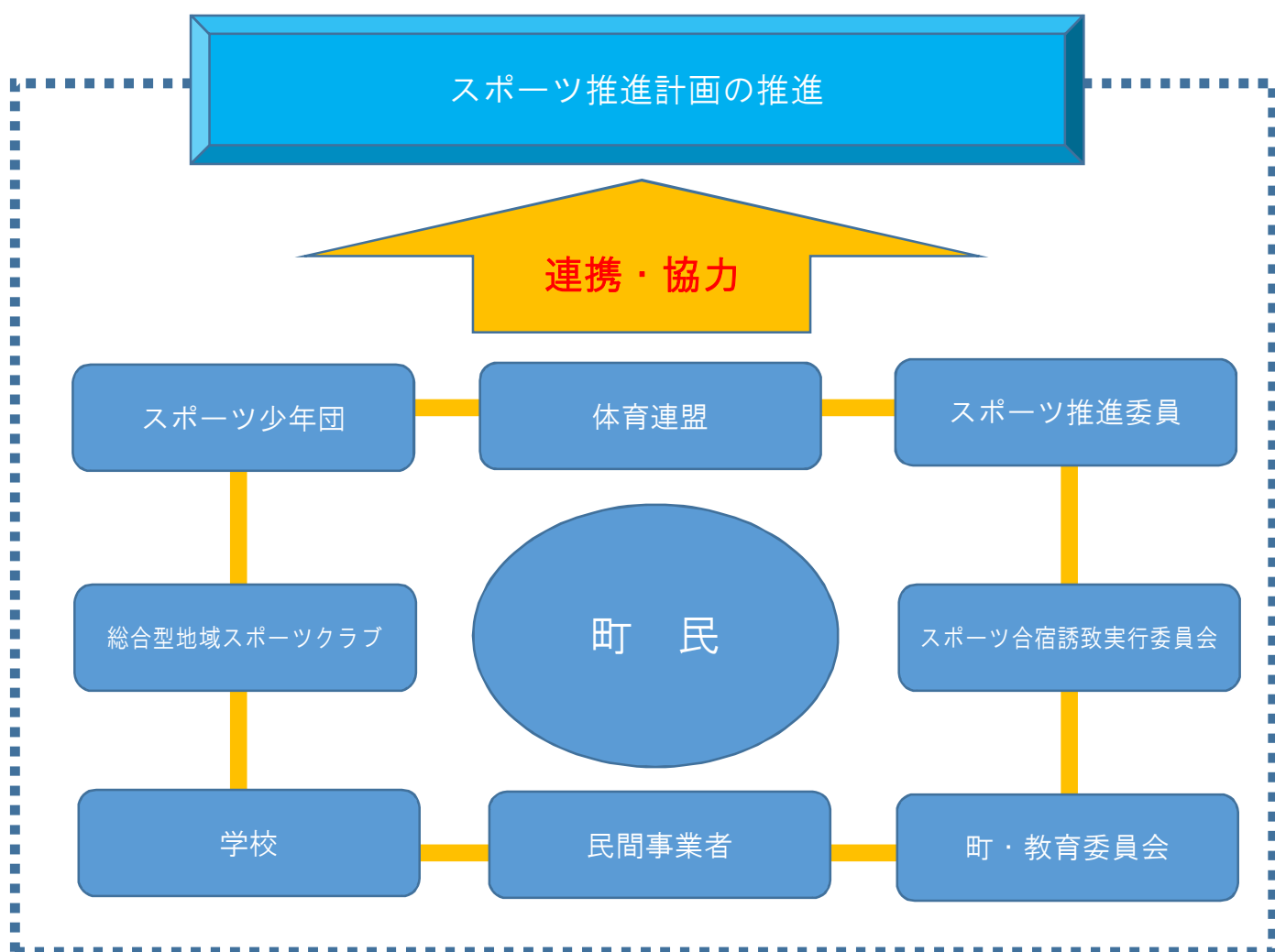
- ・ 道内プロスポーツ団体と連携協定締結の検討を進めると同時に、人材育成やスポーツを核とした健康、教育、観光など地域活性化に向けた事業等を展開します。

第5章 計画の推進に当たって

1 計画の推進に当たって

計画を推進していくためには、町民、スポーツ少年団、体育連盟、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ合宿誘致実行委員会、学校、民間事業者、町・町教育委員会が一体となり、互いに連携・協力をしながらも、それぞれの担う役割に対して主体的にスポーツ推進に取り組み、町民のだれもが「みる」、「応援する」、「する」、「支える」スポーツを楽しみ、親しめる環境づくりが望まれます。

《イメージ図》



2 主な関係団体の役割

(1) スポーツ少年団

スポーツ少年団においては、子どもたちへスポーツを通じた健全育成の役割が期待されるとともに、指導者の意識と専門的な知識、技術や資質を高めていくことが望まれます。

(2) 体育連盟

体育連盟加盟団体をはじめ、スポーツ推進委員や関係団体と連携を図り、時代の変化や町民のニーズに即したスポーツを推進するとともに、町民の体力向上と健康増進、スポーツの情報収集や情報提供を通じて、生涯にわたって明るく豊かな生活の形成に寄与していくことが望まれます。

(3) スポーツ推進委員

地域のスポーツ推進のコーディネーターとして、その職責を達成できる知識と技術を身に付け、スポーツ推進のための連絡調整やスポーツの実技指導を通じて、町民が自発的にスポーツを行うことができるよう幅広い活動をするのが望まれます。

(4) 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブが地域で抱える様々な課題にこたえるため、地域住民やスポーツ団体等と連携して、スポーツを通じた健康増進、子育て支援、学校への支援などを引き続き行い、「社会的な仕組」として定着していくことが期待されます。

(5) スポーツ合宿誘致実行委員会

官民連携により、スポーツを通じて地域に密着した交流活動等を行い、スポーツ交流人口の拡大とスポーツによる町の活性化を図られることを期待されます。

(6) 学校

体育の授業や運動部活動などの学校体育における子どもたちの体力向上や健全な育成、そして大人になってもスポーツを楽しむきっかけづくりが期待されます。

(7) 民間事業者

指定管理者制度による施設運営や民間事業者との連携によるスポーツ推進に向けた施策の展開など、民間活力によるノウハウの提供が期待されます。

(8) 町・町教育委員会

町民のスポーツ活動をより充実したものにするため、スポーツの枠に捉われることなく、幅広い機関や庁内関係部署と連携を図ります。

また、基本理念を実現しスポーツ活動をより充実するために、ソフトとハードの両面から環境の整備を図りつつ、町民の自発的なスポーツの推進に取り組みます。



第1期幕別町スポーツ推進計画
(令和3年度～令和5年度)

令和3年2月発行

発行者 幕別町教育委員会

〒089-0604 北海道中川郡幕別町錦町98番地

TEL 0155 (54) 2006

FAX 0155 (54) 4714

E-mail shogaigakusyuka@town.makubetsu.lg.jp

幕別町教育大綱

(2019 年度～2023 年度)



平成 31 年 3 月

幕 別 町

1 教育大綱策定の背景と趣旨

平成 27 年 4 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しなど制度の抜本的な改革が行われました。

また、同法には、地方公共団体の長と教育委員会の連携強化を図るため、「総合教育会議」を設け、本会議において教育の目標や施策の根本的な方針を定めた大綱の策定が規定されました。

幕別町においても、人口減少時代にあって、少子高齢化社会や就業形態の複雑化などにより町民の生活を取り巻く環境が大きく変化する中、本町の持続的な発展のために、町民、地域、行政が一体となってまちづくりの方向性を示す「幕別町総合計画」を基に、「幕別町生涯学習中期計画」及び国が策定する「教育振興基本計画」と歩調を合わせながら、平成 27 年 9 月に「幕別町教育大綱」を策定しました。

今回の「幕別町教育大綱」は、平成 27 年度に策定した大綱が終期を迎えるに当たり、今後の本町における教育行政の総合的な施策の指針を示すものであります。

2 教育大綱の位置付け

この大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3*に基づき、総合教育会議において町長及び教育委員会が協議・調整し、町長が策定する大綱です。

また、本町の教育行政を推進するための基本方針となるものであり、「第6期幕別町総合計画」の基本構想を基に、教育分野の基本目標、重点的に取り組むべき基本施策の方向性を示すとともに、「第6次幕別町生涯学習中期計画」及び国の「第3期教育振興基本計画」との整合性・一貫性を図るものであります。

○基本目標 郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人
(幕別町教育目標)

○具体目標 豊かな心とたくましい体の育成
豊かな生活と自ら学ぶ力の高揚
豊かな人間愛と国際性の涵養
豊かな郷土と文化の創造

* 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3

地方公共団体の長は、教育基本法第十七条第一項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下単に「大綱」という。）を定めるものとする。

3 大綱の期間

大綱の期間は、「第6次幕別町生涯学習中期計画」（2019年度～2023年度）及び「第3期教育振興基本計画」（2018年度～2022年度）を考慮して、2019年

度から 2023 年度までの 5 年間としますが、今後の社会情勢等により改訂を行う必要が生じた場合には、適宜その見直しを行うものとします。

4 施策の実施

本大綱に掲げる基本目標の達成に向け、その具体的な施策の柱を掲げるとともに、事業実施に当たっては、「第 6 次幕別町生涯学習中期計画」を踏まえ、本町の現状に即し、効率的かつ効果的に施策を推進します。

5 施策の柱

(1) 国内交流や国際交流の推進

【基本方針】

国内交流を推進し、幅広い交流を行います。

また、学校教育や社会教育など、様々な場を通じて、国際理解の機会づくりと国際性豊かな人材の育成を図ります。

【方 策】

- ①国内交流の推進
- ②国際交流の推進

(2) 豊かな人生を育む生涯学習の推進

【基本方針】

多種多様な学習機会を自己に適した手段、方法により自ら選択し、生涯にわたる学習活動を通じ、その学習効果が還元される総合的な環境づくりを進めます。

百年記念ホールや図書館をはじめとする生涯学習の拠点施設を有効活

用するとともに、札内コミュニティプラザや町民会館、忠類コミュニティセンターなどの施設も活用し、各種事業や生涯学習講座の充実に取り組みます。

【方 策】

- ①学習プログラムの充実
- ②情報提供の充実
- ③指導者・団体の育成
- ④学習・活動機会の充実
- ⑤施設の機能充実
- ⑥図書館機能の拡充

(3) 「生きる力」を育む学校教育の推進

【基本方針】

本町の教育目標である「郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人」の具現化を目指し、全ての児童生徒が、主体的に判断し、行動できる「生きる力」を育むため、家庭、学校、地域がそれぞれの役割を自覚し、お互いの理解、協力を深めることができるよう学校運営協議会を活用しながら連携を図ります。

また、一貫教育の推進により、小学校と中学校が同じ目標である、目指す子ども像の実現に向けて、9年間を見通した教育により、中1ギャップと呼ばれる子どもたちの困り感の解消や、子どもの発達等に応じた柔軟で多様な教育の充実を図るとともに、地域の教育資源を活用し、郷土に誇りを持つ子どもを育みます。

【方 策】

- ①幼児教育の充実
- ②小中学校教育の充実
- ③教育施設の整備
- ④高等学校教育・特別支援学校の支援

(4) 青少年の健全育成の推進

【基本方針】

未来を担う青少年が心身ともに健やかに育つ環境づくりを進めます。

【方 策】

- ①青少年の健全育成

(5) 芸術・文化活動の振興

【基本方針】

国内外の優れた芸術文化に接し、体感できる鑑賞機会などの提供や自主的な活動による芸術文化の振興と豊かな情操の育成を図ります。

【方 策】

- ①芸術・文化活動の支援と人材育成
- ②芸術・文化事業の推進
- ③芸術・文化鑑賞機会の拡充

(6) 歴史的文化の保存・伝承

【基本方針】

本町の歴史的資料やアイヌ文化資料を収集・保存、展示しているふるさと館や蝦夷文化考古館、世界的にも貴重な資料を展示しているナウマ

ン象記念館のそれぞれの特徴を生かし、郷土の歴史や文化の保存・継承を図ります。

【方 策】

- ①施設の充実
- ②歴史的文化の保存・継承と活用
- ③アイヌ文化の保存振興と理解の促進

(7) 健康づくりとスポーツ活動の振興

【基本方針】

町民がいつでも気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境づくりを進め、パークゴルフの振興とスポーツ・レクリエーションの指導者、団体の育成を図ります。

また、町出身のアスリートやスポーツ団体と連携し、次世代のアスリートの育成に努めます。

【方 策】

- ①スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ②指導者・組織の育成と支援
- ③社会体育施設の整備拡充と有効活用
- ④パークゴルフの振興

幕別町教育大綱の概要

基本目標 郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人



〈 具 体 目 標 〉

豊かな心とたくましい体の育成

豊かな生活と自ら学ぶ力の高揚

豊かな人間愛と国際性の涵養

豊かな郷土と文化の創造



〈 施 策 の 柱 〉

国内交流や国際交流の推進

豊かな人生を育む生涯学習の推進

「生きる力」を育む学校教育の推進

青少年の健全育成の推進

芸術・文化活動の振興

歴史的文化の保存・伝承

健康づくりとスポーツ活動の振興

大綱の体系

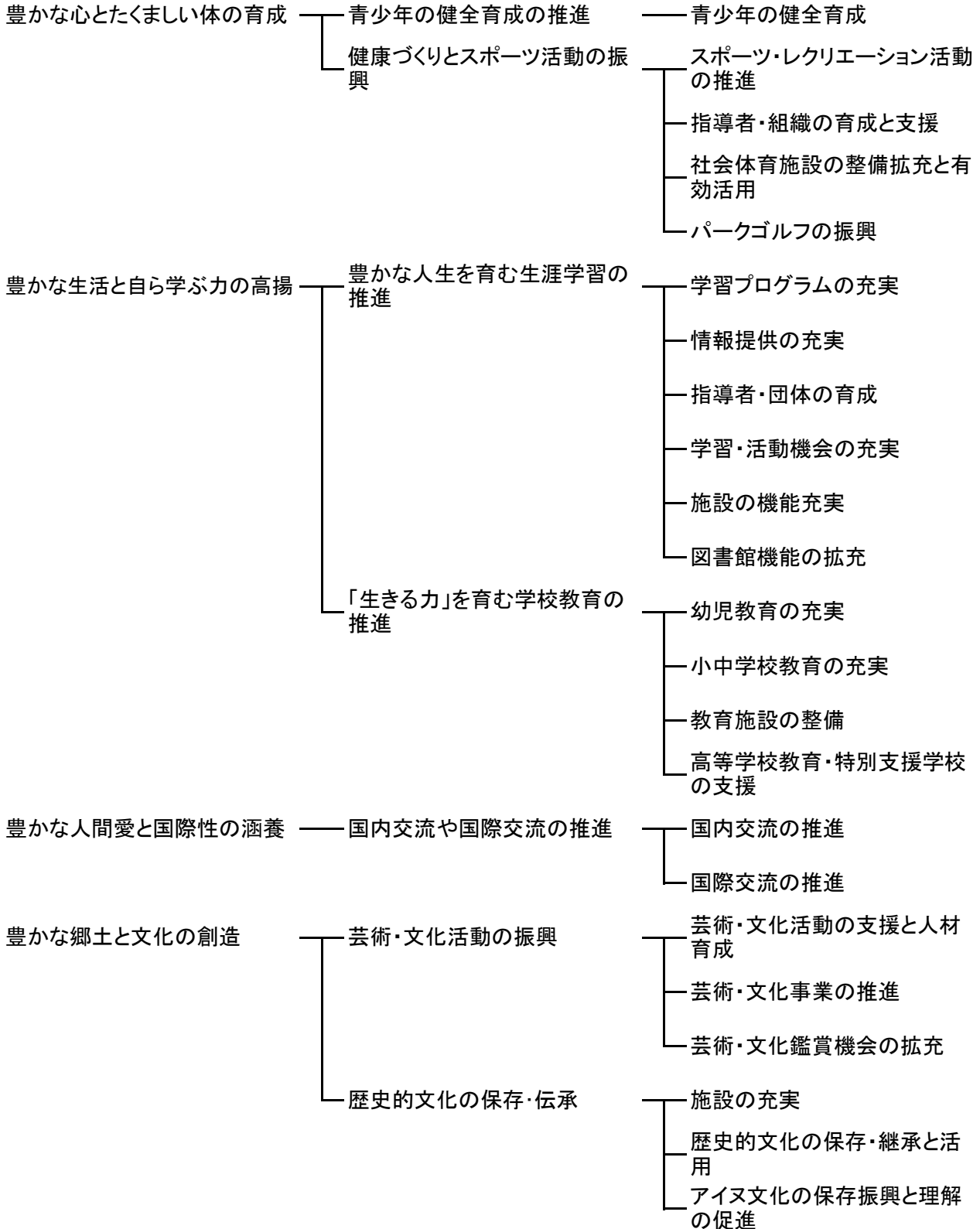
基本目標

郷土を愛し、自ら学び、心豊かに生きる人

<具体目標>

<施策の柱>

<方 策>



「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について」に関する保護者アンケートの結果について【概要】

1 実施理由

幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育を推進するに当たり、「まくべつ学園」のあり方と施設整備の方向性の検討内容について、あらためて、全保護者に検討内容を伝え、アンケート調査を行うことにより、保護者の考えや浸透度合いを把握するため。

2 実施内容

5月8日（月）～15日（金）の期間、幕別小中学校全保護者（実家庭数）に対し、2～3ページの「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について（説明資料）」と、4～6ページの「保護者アンケート用紙」を配付。

3 実施結果

幕別小中学校全保護者（実家庭数）の回答率は83.3%であった。

※幕別小学校：115家庭（児童163人）、82.6%（95件/115件）

※幕別中学校：76家庭（生徒83人）、84.2%（64件/76件）

詳細については、**4～6ページ**からの「各設問の内容と回答の傾向」とおり。

「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について（説明資料）」

幕別小学校と幕別中学校は、令和元年度から「まくべつ学園」として、9年間の一貫した系統的な教育課程を編成し、中学校教員の小学校への乗入授業、小学生の中学校登校など、小中一貫教育に積極的に取り組み、様々な成果を挙げています。

また、幕別町教育委員会では、令和2年11月に「幕別町学校施設の長寿命化計画」を策定し、令和4年度から札内南小学校の長寿命化改修工事に着手していますが、次期対象施設として幕別小学校校舎を検討してきたところであります。

以上を踏まえ、幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育を推進するに当たり、次の3通りから、「まくべつ学園」のあり方と施設整備の方向性を検討しています。

- (1) 幕別小学校と幕別中学校を使用した「施設分離型」の「小中一貫型小学校・中学校」
- (2) 幕別小学校あるいは幕別中学校を活用した「施設一体型」の「小中一貫型小学校・中学校」
- (3) 幕別小学校あるいは幕別中学校を活用した「義務教育学校」

そのような中、2月24日（金）には、小中一貫教育「まくべつ学園」講演会として、「大空学園義務教育学校」の村松校長を講師に迎え、「大空学園義務教育学校の取組から見る小中一貫教育」と題して講演会を開催しました。約50名の保護者や教職員等が参加をいただき、保護者の中から「まくべつ学園も義務教育学校の方向性で」との意見があったところであります。

○義務教育学校と小中一貫型小学校・中学校の違い

		義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校
修業年限		9年（前期課程6年・後期課程3年）	小学校6年、中学校3年
組織・運営		1人の校長、1つの教職員組織	それぞれの学校に校長、教職員組織
免 許		原則、小・中学校の両免許状を併有（当面の間、小学校免許状で前期課程、中学校免許状で後期課程の指導が可能）	所属する学校の免許状を保有していること
教育課程の特例	一貫教育に必要な独自教材の設定	○	○
	指導内容の入替え・移行	○	○
施設形態		施設一体型・施設隣接型・施設分離型	

※十勝管内の「義務教育学校」は、「帯広市立大空学園義務教育学校」と「新得町立富村牛小中義務教育学校」です。

※十勝管内で「小中一貫教育」を導入しているのは、「幕別町」と「陸別町」のみです。

○帯広市立大空学園義務教育学校の教育課程の全体像（令和4年度児童生徒数484人）

修業年限	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
教育課程の区分	前期課程 (小学校学習指導要領)						後期課程 (中学校学習指導要領)		
	初等部 《基礎期》			中等部 《充実期》			高等部 《発展期》		
指導形態	学級担任制 (一部教科担任制)			全教科担任制					
テスト等形態	単元テスト(従来のテスト)			定期テスト(中間・期末)					
P T A活動	一本化								
主な学校行事	入学式(1年)、卒業式(9年)、体育祭(合同)、文化祭(合同)、 修学旅行(6・9年) ※その他:夢の式(4年)、立志式(6年)								
部活動・少年団活動	少年団			部活動					
授業時間	45分授業			50分授業					
制服・指定ジャージ	なし			希望制(検討中)			推奨服・指定ジャージ		

※義務教育学校の教育の特例により教育課程区分を「6-3」以外に

現行の教育課程の区分は小学校6年の前期課程、中学校3年の後期課程になりますが、義務教育学校では、9年間の中で独自の区分を設けて子ども達の発達段階に応じて、効率的な教育課程を組み指導を行うことが可能となります。

「帯広市立大空学園義務教育学校」では、「初等部4年-中等部3年-高等部2年」の区分にしています。

※一つの「学校組織」であること

義務教育学校は一つの組織であるため、1名の校長のリーダーシップのもと、9年間を見通した教育目標を掲げ、児童生徒の指導に当たり、より多くの教職員が関わる事が可能となり、児童生徒の資質や能力を伸ばすことが期待できることや、学校の小規模化による影響の緩和が一層期待されます。また、教科内や教科間の学習内容の関連性を意識して指導順序や指導内容を考えることができ、9年間継続して、児童生徒に対する指導が行われるため、教員間で児童生徒の情報を共有しやすく、児童生徒の個性に応じたきめ細かで丁寧な生徒指導が可能となります。

「帯広市立大空学園義務教育学校」でも、校長、副校長、教頭2人の管理職のもと、一体的な組織体制になっています。

※異学年交流による精神的発達

義務教育学校における1年生から9年生までの児童生徒が学校行事などを通じた異学年交流による精神的な発達や社会性の育成の効果が期待されておりますが、「帯広市立大空学園義務教育学校」においても、初等部の児童は高等部の生徒を真似て、高等部の生徒は初等部の児童に優しく接する傾向があるようです。

⇒『現在の検討事項の認知度』の傾向

「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について」は、①②③の「聞いた・見た」が 93.7%、「④知らない」が 4.4%となっており、これまでの「学校だより」や「保護者懇談会」での説明が浸透していることが確認できる。

設問4 「義務教育学校」について、これまで目にしたり聞いたりしたことはありますか？（複数回答可）【○囲み】

- ① 学校の保護者懇談会等で話を聞いたことがある。
- ② 「学校だより」で見たことがある。
- ③ 他の保護者などから聞いたことがある。
- ④ 「まくべつ学園」講演会で、「大空学園義務教育学校」の取組を聞いた。
- ⑤ 令和4年4月に開校した「大空学園義務教育学校」を報道等で知った。
- ⑥ 目にしたり聞いたりしたことはない。

⇒『義務教育学校の認知度』の傾向

「義務教育学校」については、①②③④⑤の「聞いた・見た」が 84.9%、「⑥目にしたり聞いたことがない」が 13.2%となっており、「今後の進め方」での説明で触れていたことから、概ね認知されていることが確認できる。

設問5 あなたの考える「義務教育学校」のメリットはどれですか？

（複数回答可）【○囲み、記入】

- ① 「中一ギャップ」と呼ばれる問題が緩和する効果が、より期待できる。
- ② 義務教育学校の教育の特例により教育課程区分を「6-3」以外にできる。
- ③ 小学校と中学校が一つになり、1名の校長で一つの「学校組織」になる。
- ④ 異学年交流による精神的発達を期待できる。
- ⑤ その他（_____）

⇒『義務教育学校のメリットの感じ方』の傾向

「義務教育学校のメリット」については、「①中1ギャップの緩和」が最も多く 35.7%、次いで「④異学年交流による精神的発達」が 32.0%となっており、この2点のメリットが考えられているが、一方で、「②教育課程区分を6-3以外」や「③一人の校長（ひとつの組織）」は、あまりメリットとして考えられていないことが確認できる。

設問6 「まくべつ学園」のあり方と施設整備の方向性について検討している、次の3通りのうち、あなたが最も良いと思う方向性はどれですか？【○囲み】

- ① 幕別小学校と幕別中学校を使用した
「施設分離型」の「小中一貫型小学校・中学校」
- ② 幕別小学校あるいは幕別中学校を活用した
「施設一体型」の「小中一貫型小学校・中学校」
- ③ 幕別小学校あるいは幕別中学校を活用した「義務教育学校」

⇒『今後の方向性の三択』の傾向

(1) 今後の方向性の三択

「①施設分離型」が28.9%、「②施設一体型」が32.7%、「③義務教育学校」が35.2%で、「③義務教育学校」が最も高い回答率となった。

※幕別小学校：①31.6%、②28.4%、③35.8%

※幕別中学校：①25.0%、②39.1%、③34.4%

(2) 学年ごとの保護者の回答の傾向

小学校1年生では「①施設分離型」、小学校6年生と中学校の全ての学年では「②施設一体型」、小学校の2年生から5年生までの4学年では「③義務教育学校」の回答が最も多かった。

このことから、小学校1年生の保護者には、「小中一貫教育」そのものが浸透していないことが窺え、小学校6年生と中学校の全ての学年では、「施設一体型」には理解をしながらも、ここ数年で「義務教育学校」へ仕組みが変わることに対して、当事者にはならないという思いや、少なからずわずらわしさを感じていることも考えられる。

(3) 一つの施設に集約することへの理解

今後の方向性の三択の中では、それぞれで大きな差は見られなかったが、「②施設一体型」と「③義務教育学校」の合計で67.9%となり、一つの施設に集約することには理解を得ていると考えられる。

設問7 ご意見、ご質問等がある場合は、ご記入ください。

⇒『代表的なご意見、ご質問』

(1) 「設問6」で「①施設分離型」と回答の方

- ① これまでのように、校舎を別にしてもらった方が「これから中学生になるんだ！」という気持ちも持ちやすいのではないかと思います。
- ② 義務教育学校は、子どもにとって9年間、同じ校舎、先生、友達になるとマンネリするのではないのでしょうか？
- ③ 9年間にしなくて良いと思う、小、中は別々は基本として、先生たちの授業交流

や行事の交流で十分だと思う。

- ④ これまでのように、6年生が最高学年であると自覚させるのも小学校の良さかと思えます。
- ⑤ 義務教育学校になった場合、「体育祭」「文化祭」が合同で行われるようですが、小1と中学生の差が大きくなるので、取組が難しくならないか心配です。
- ⑥ 小学校の玄関など、いろいろな箇所に破損も見られ危険だと思う箇所が何カ所かありますので、施設整備の機会にいろいろと修繕していただけたらと思っております。

(2) 「設問6」で「②施設一体型」と回答の方

- ① 中1ギャップを小さくすることで高1ギャップが大きくなると思う。
- ② 義務教育学校の9年間を一本化することに関しては、まだ見えていない部分が数多くあり、賛否両論あると思いました。
- ③ 義務教育学校になると、卒業式は9年生になるので少し長いと感じています。
- ④ 義務教育学校のメリットはたくさんあるが、デメリットも共有してほしい。
- ⑤ 義務教育学校の例にあった、5年生からの定期テストは子どもにとっても負担。子どもらしく伸び伸び遊んだり家族と過ごす時間も減り、あまり小学生には良いこととは思えません。
- ⑥ 屋外トイレの建替えを希望します。

(3) 「設問6」で「③義務教育学校」と回答の方

- ① 義務教育学校などの場合、様々な理由で学校に馴染めなかった際に環境が変えづらいことが心配です。
- ② 保育所、幼稚園からずっと一緒にクラス替えもなく、少ない人数での学校生活の中で、9年生にした所で、何か変わる事があるのでしょうか？高校に入学した時の方が大変な気もいます。
- ③ 義務教育学校になると、特別活動6年の「小学生の最高学年としてのリーダーシップ」の指導は9年生で指導するイメージなのか？
- ④ 義務教育学校のメリットより不安を共有してオープンに進めていけたら、後々になって困らないと思えます。
- ⑤ 小学校の老朽化の問題が早急な課題だと思います。
- ⑥ 小学校の設備の古さは不安に感じます。
- ⑦ 児童生徒数、教員数を加味して考えれば、義務教育学校にすべきという回答になるのは決まっているのでしょうか。新しいことには、メリット、デメリットはつきものです。
- ⑧ 幕別小学校を幕別中学校に集約すべき。町内の少人数の小学校と中学校を集約し9年間の義務教育を推進すべき。
- ⑨ 義務教育学校になると、中学生になって増える不登校の子が減るようになるのでは？少し期待しています。

「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について」保護者アンケート【集計総括(データ)】

学校	学年	児童生徒数 A	家庭数 B ※	回答数 C	回答率 C/B	設問2(小中一貫教育) ※複数回答⇒回答者数で集計						設問3(今後の進め方の認知) ※複数回答⇒回答者数で集計						設問4(義務教育学校の認知) ※複数回答⇒回答者数で集計					
						①② メリット感じてる		③④ わからない・知らない		無回答		①②③ 聞いた・見た		④ 知らない		無回答		①②③④⑤ 聞いた・見た		⑥ 知らない		無回答	
						回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
幕小	1年生	28	13	12	92.31%	8	66.67%	4	33.33%	0	0.00%	11	91.67%	1	8.33%	0	0.00%	7	58.33%	5	41.67%	0	0.00%
	2年生	27	14	9	64.29%	8	88.89%	1	11.11%	0	0.00%	8	88.89%	1	11.11%	0	0.00%	6	66.67%	3	33.33%	0	0.00%
	3年生	26	18	17	94.44%	12	70.59%	3	17.65%	2	11.76%	15	88.24%	0	0.00%	2	11.76%	14	82.35%	1	5.88%	2	11.76%
	4年生	29	18	15	83.33%	14	93.33%	1	6.67%	0	0.00%	14	93.33%	1	6.67%	0	0.00%	12	80.00%	3	20.00%	0	0.00%
	5年生	22	21	17	80.95%	13	76.47%	3	17.65%	1	5.88%	17	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	15	88.24%	2	11.76%	0	0.00%
	6年生	31	31	25	80.65%	22	88.00%	3	12.00%	0	0.00%	24	96.00%	1	4.00%	0	0.00%	24	96.00%	1	4.00%	0	0.00%
	小計	163	115	95	82.61%	77	81.05%	15	15.79%	3	3.16%	89	93.68%	4	4.21%	2	2.11%	78	82.11%	15	15.79%	2	2.11%
幕中	1年生	29	23	19	82.61%	17	89.47%	2	10.53%	0	0.00%	17	89.47%	2	10.53%	0	0.00%	16	84.21%	3	15.79%	0	0.00%
	2年生	24	23	17	73.91%	17	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	17	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	16	94.12%	1	5.88%	0	0.00%
	3年生	30	30	28	93.33%	20	71.43%	7	25.00%	1	3.57%	26	92.86%	1	3.57%	1	3.57%	25	89.29%	2	7.14%	1	3.57%
	小計	83	76	64	84.21%	54	84.38%	9	14.06%	1	1.56%	60	93.75%	3	4.69%	1	1.56%	57	89.06%	6	9.38%	1	1.56%
合計	246	191	159	83.25%	131	82.39%	24	15.09%	4	2.52%	149	93.71%	7	4.40%	3	1.89%	135	84.91%	21	13.21%	3	1.89%	

※兄妹がいる場合は上級学年の兄姉の学年で提出。

学校	学年	児童生徒数 A	家庭数 B ※	回答数 C	回答率 C/B	設問5(義務教育学校のメリット) ※複数回答										設問6(三択)							
						① 「中1ギャップ」緩和		② 「6-3」以外も可		③ 1人の校長 (組織)		④ 精神的発達		⑤ その他		① 施設分離型		② 施設一体型		③ 義務教育学校		無回答	
						回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
幕小	1年生	28	13	12	92.31%	8	42.11%	1	5.26%	4	21.05%	6	31.58%	0	0.00%	7	58.33%	2	16.67%	3	25.00%	0	0.00%
	2年生	27	14	9	64.29%	5	35.71%	2	14.29%	1	7.14%	6	42.86%	0	0.00%	3	33.33%	2	22.22%	4	44.44%	0	0.00%
	3年生	26	18	17	94.44%	7	31.82%	2	9.09%	3	13.64%	9	40.91%	1	4.55%	6	35.29%	3	17.65%	6	35.29%	2	11.76%
	4年生	29	18	15	83.33%	8	33.33%	3	12.50%	3	12.50%	9	37.50%	1	4.17%	4	26.67%	4	26.67%	7	46.67%	0	0.00%
	5年生	22	21	17	80.95%	9	47.37%	3	15.79%	2	10.53%	4	21.05%	1	5.26%	5	29.41%	4	23.53%	7	41.18%	1	5.88%
	6年生	31	31	25	80.65%	12	38.71%	2	6.45%	2	6.45%	12	38.71%	3	9.68%	5	20.00%	12	48.00%	7	28.00%	1	4.00%
	小計	163	115	95	82.61%	49	37.98%	13	10.08%	15	11.63%	46	35.66%	6	4.65%	30	31.58%	27	28.42%	34	35.79%	4	4.21%
幕中	1年生	29	23	19	82.61%	15	45.45%	5	15.15%	3	9.09%	10	30.30%	0	0.00%	3	15.79%	8	42.11%	7	36.84%	1	5.26%
	2年生	24	23	17	73.91%	9	45.00%	0	0.00%	1	5.00%	8	40.00%	2	10.00%	6	35.29%	6	35.29%	5	29.41%	0	0.00%
	3年生	30	30	28	93.33%	14	22.58%	28	45.16%	3	4.84%	14	22.58%	3	4.84%	7	25.00%	11	39.29%	10	35.71%	0	0.00%
	小計	83	76	64	84.21%	38	33.04%	33	28.70%	7	6.09%	32	27.83%	5	4.35%	16	25.00%	25	39.06%	22	34.38%	1	1.56%
合計	246	191	159	83.25%	87	35.66%	46	18.85%	22	9.02%	78	31.97%	11	4.51%	46	28.93%	52	32.70%	56	35.22%	5	3.14%	

※兄妹がいる場合は上級学年の兄姉の学年で提出。

令和5年度図書館運営計画について

図書館では、「第6期幕別町総合計画」及び「第6次幕別町生涯学習中期計画」並びに「第4期子どもの読書活動推進計画」に基づき事業等を計画・実施しています。

① 地域情報の編集センター			
推進項目	住民参画による図書館事業を行うための人材育成を図るとともに、町民を主体とする「図書館協議会会議」などにより、図書館の機能強化に努めます。		
推進事業・事項など	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を核にしたさまざまな地域情報の編集に取り組む ・図書館サポーター育成、中札内高等養護学校幕別分校と連携したプレゼント用絵本バッグの製作 ・ARを活用したプラットフォーム構築（職場体験、チャレンジ雇用事業） ・図書館協議会の開催 		
事業名	事業の概要	期日・会場	参加対象
ARを活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ブラウザサポーター事業の拡充 ○利活用を促進するための取組 ・町民向け、観光者向けのコンテンツを精査し更新する 	4月～3月	町民ほか
図書館協議会	図書館の利用啓発等に係る調査・研究及び図書館事業の推進		
町民文芸「まくべつ」の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和60年創刊 ・第39号の発行 	10月	
「お直しサポーター」による本の修理 【幕別本館】【札内分館】	ボランティアによる本の修理作業の実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・幕別本館 毎週月曜日 ・札内分館 第1・3木曜日 	4月～3月	町民ほか
マイファーストブックサポート事業プレゼント絵本用バッグの製作	中札内高等養護学校幕別分校との連携事業。授業の作業学習を活用し、図書館キャラクターを用いた絵本用バックを制作。あわせて、生徒がおすすめる絵本を紹介するコーナーを設置。	4月～3月	中札内高等養護学校幕別分校
おすすめし帯！まくべつ～本の帯総選挙～における連携	中札内高等養護学校幕別分校との連携事業。令和5年度から開始する「おすすめし帯！まくべつ～本の帯総選挙～」において、入賞者への景品を制作する。	4月～10月	中札内高等養護学校幕別分校

② 読書の入口拡大、利用者サービスの向上

推進項目	住民ニーズをとらえた特色のある蔵書や図書企画展示の充実に努め、個性や魅力のある図書館づくりを進めます。		
推進事業・事項など	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで多様な書籍の情報を参照できるツールを提供 ・図書館管理システムの更新により資料管理の向上を図り、利用者の興味を引く本棚を編集 ・図書特別展示、新刊情報などでの書籍情報の提供 ・「スワディ講座（各館1回）」「まくバス de 映画会」「さつバス de 映画会」の開催 ・図書館向け疲労・ストレス測定およびストレスケアサービス（本館・札内分館・忠類分館で巡回実施） ・十勝東部4町図書館交流連携事業の実施（医療図書の分担収集、健康に関する講座の開催） ・落語会の開催 ・本を手にするきっかけ作りを目的とした各種講座、イベントの開催 		
事業名	事業の概要	開催期日	参加対象
講座【忠類分館】 「ちょっとしたアイディアで楽しく！野菜づくり教室」	農文協（出版社）の講師による野菜づくりのコツと裏技についての講義及びDVD上映。会場に図書館所蔵の関連本を展示し、本を手にする契機につなげる。	9月	町民ほか
スワディ講座【幕別本館】	本を活用した講座	3月	町民ほか
スワディ講座【札内分館】	本を活用した講座	10月	町民ほか
スワディ講座【忠類分館】	本を活用した講座)	9月	町民ほか
「十勝東部4町図書館交流連携事業 健康講座～図書館と本で健康になろう！～」【幕別本館】	4町における「医療関連図書の分担収集」及び分担収集に関連した「健康講座」を実施し、図書館から発信する地域住民の健康づくりに取り組む。	10月～11月	町民ほか
落語会【幕別本館】 「図書館落語会～本と笑いでストレス解消！～」	ストレス測定及び活字と笑いの提供により、予防医療・医療費負担軽減に繋げる新しい社会モデルを目指し実施。	9月～11月	町民ほか
疲労・ストレス測定およびストレスケア（レファレンス）サービス	ストレス計測器での測定後、結果に応じて司書がストレスを緩和するレファレンス（おすすめ本の紹介）を実施。	4月～3月	町民ほか

事業名	事業の概要	開催期間	参加対象
まくバス de 映画会 【幕別本館】	コミバスの運行時間にあわせた映画会の開催	4/3、5/1、 6/1、7/3、 9/1、10/2、 11/1、12/1、 2/1、3/1	町民ほか
さつバス de 映画会 【札内分館】	コミバスの運行時間にあわせた映画会の開催	7/3、10/2	町民ほか
図書展示 ・特別展示	主に他課、他機関と連携した展示 ○北海道自閉症協会十勝分会 世界自閉症啓発デー ○消費生活センター 消費者月間（消費者被害防止啓発） ○十勝総合振興局 ガイアナイト（温暖化防止に関連する図書展示とキャンドル配布）	4月 5月 6月 7月	
図書展示 ・札内コミプラ展示	札内コミプラの図書コーナーの利用促進を目的とし、防災などテーマによる展示を実施。（毎月更新）		
図書展示 ・月展示（毎月更新）	時事や季節等、テーマによる展示。他課と連携した展示も開催。 ○住民課 ・LGBTQ+、ジェンダーに関する展示 ○教育委員会 ・戦争と平和に関する展示 ○子ども課 ・子どもの権利条約に関する展示	6月 8月 11月	

③ 子ども読書活動の促進

推進項目 子育てや保健、福祉など様々な分野と連携した事業を展開し、図書館を核とした知の拠点づくりに取り組みます。

- 推進事業・事項など
- ・学校図書館のサポート
 - ・マイファーストブックサポート事業およびフォローアップ事業
 - ・こどもの読書週間行事および秋の読書週間行事の開催（本の帯のコンテストを開催）
 - ・ボランティアサークル等による読み聞かせ（ちるどらん2・ゆめのとびら・ババール・おはなしのたね）、紙芝居（あっちこっち紙芝居）などの開催
 - ・図書館向け疲労・ストレス測定およびストレスケアサービス（本館・札内分館・忠類分館で巡回実施）
 - ・図書館へ足を運んでもらうためのきっかけ作りを目的とした各種イベントの実施

事業名	事業の概要	開催期間	参加対象
マイファーストブックサポート事業 (7・8ヵ月児対象)	乳児期から親子で本を楽しむ機会を提供し、心豊かに安心して 子育て出来る環境を整えることを目的に、 7・8ヵ月乳児健診 会場に司書が訪問し、保護者に読み聞かせのコツなどを説明。あわせて、絵本1冊と中札内高等養護学校幕別分校の生徒がシルクスクリーンでプリントした図書館オリジナルキャラクターの絵本バックをプレゼントする。	4月～3月	7・8ヵ月児とその保護者
マイファーストブックサポート事業(1歳6ヵ月児対象)	親子で本に触れるきっかけ作りを目的とし、健診会場での空き時間を利用して、司書による読み聞かせや会場貸出用の絵本セット「おうち絵本セット」を紹介する。	4月～3月	1歳6ヵ月児とその保護者
子育て講座における出前貸出事業	子育て支援センター主催の「子育て講座」において、講座内容にあわせた図書展示と貸出を実施。	4月～3月	町民ほか
子育て支援センター開放事業 「うさぎの日」	1歳児以上が対象となる「うさぎの日」(毎月第1金曜日)に司書が訪問し、絵本の読み聞かせや手遊び、図書の貸出を実施。	4月～3月	町民ほか

事業名	事業の概要	開催期間	参加対象
移動あそびの広場	子育て支援センター「あそびの広場(町内保育所に出張)」事業に図書館を加え、親子が玩具で遊んだり、本を手にとったりするスペースを館内に確保し、本町地区を中心に子育て支援センターや図書館の利用促進に繋げる取り組みを実施。	6月1日 8月3日 10月5日	町民ほか
団体貸出セットの活用	家庭での読書活動(家読)を支援するため、図書館で選書したセットによる小学校への学級単位での団体貸出(個人宅への持ち出し可能)。		
貸出セットの活用	おすすめ本セットによる貸出。		
学校図書館支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・BMによる小学校への巡回 ・中学校図書館の蔵書登録及び蔵書管理支援 ・学校図書館運営相談 ・学校図書館(室)訪問 	随時	
清陵高校連携事業	清陵高校と連携し、本を読んでもらうことを目的としたイベントを実施。高校の図書委員と図書館司書が選んだおすすめ本を双方で展示し、該当する本を読んだ方に書いていただいたコメントを本に貼りつけ一定期間後に双方で集めたものを交換し、本を通して高校生と図書館利用者との交流を行う。	9月～3月	町民ほか
小・中学校長期休業期間における学童保育所への巡回サービス事業	スワディ号の一部が連休となる小・中学校の長期休業期間に合わせて、町内学童保育所へスワディ号を巡回するサービスを実施する。		町民ほか

事業名	事業の概要	開催期間	参加対象
人形劇【忠類分館】	本に親しむ機会づくりとして昔話を中心とした人形劇を開催。	3月	町民ほか
子どもの読書週間・ 秋の読書週間事業 「おすすめし帯！ まくたいとる～本の 帯総選挙～」	おすすめの本を紹介する「本の帯」のコンクールを開催する。コンクールの部門は、手書きでイラストや本の紹介文を自由に書く【手書きイラスト部門】、パソコンやタブレットを使ってイラストや本の紹介文を書く【デジタルデザイン部門】、文章のみで本を紹介する【コピーライター部門】の3部門とし、幼児から大人までの年齢区分を設定する(デジタルデザイン部門は年齢区分無し)。審査は、来館者が読みたいと思った本に貼るシールの投票数により決定する。	○募集期間 5月8日 ～7月10日 ○投票期間 8月2日 ～10月29日 ○表彰式 11月26日	町民ほか
夏休みイベント 「図書館で世界一 周！」 【全館】	各館にテーマとなる国を当てはめ、その国に関するクイズやミニゲームに挑戦すると達成できるスタンプラリー形式により、楽しみながら読書体験をしてもらう。各館において異なるテーマを設けることで、親子で図書館へ足を運ぶきっかけとなり、各館の特色を知る機会となる。	7月15日 ～8月6日	町民ほか
図書館夏まつり 「MCLトショフェ ス in サマー！」 【幕別本館】	夏休みイベント期間中に、工作教室やゲームなど様々なイベントを展開することで、図書館を訪れる機会づくりをする。	7月29日	町民ほか
ハロウィン 仮装でガチャイベト！ 【全館】	期間中に仮装して来館及びミニゲームに挑戦すると景品が当たるガチャガチャを回すことができる。景品は図書館で作成したオリジナル缶バッジとする。また、仮装コンテストを開催し、各館で賞を設け発表する。	10月28日 ～29日	町民ほか
まくべつハロウィン カーニバル 【幕別本館】	図書館本館を拠点としたスタンプラリーを実施。	10月28日または 29日に実施予定	町民ほか

事業名	事業の概要	開催期間	参加対象
ぬいぐるみの図書館探検 【全館】	お気に入りのぬいぐるみを持ち寄り、本の貸出や図書館の見学など、ぬいぐるみが図書館を探検する様子を写真に撮り、アルバムにして申込者にプレゼントをするもの。	未定	町民ほか
古本交換市【幕別本館】	除籍図書及び寄贈された図書のうち、受入しなかった図書を出品し、持ち寄った個人所有の古本と交換を行う。(持ち寄りの古本が無くとも、持ち帰りは可)	6月24日 ～29日 11月12日 ～18日	町民ほか
雑誌無料配布【札内分館・忠類分館】	保管期間の過ぎた雑誌を無料で配布する。	4月9日 ～15日	町民ほか
読み聞かせ【幕別本館】おはなしガーデン	図書館司書、「ちるどらん2」、「ゆめのとびら」による読み聞かせ。12月にクリスマスの特別バージョンを実施。	毎月 第2土曜日	町民ほか
読み聞かせ【札内分館】ババール	「読み聞かせの会ババール」による読み聞かせ。12月にクリスマスの特別バージョンを実施。	毎月 第4土曜日	町民ほか
読み聞かせ【札内分館】あっちこっち紙芝居	「あっちこっち紙芝居」による紙芝居の実演、読み聞かせ。	毎月 第1・3土曜日	町民ほか
読み聞かせ【忠類分館】おはなしのたね	「おはなしのたね」による読み聞かせ。	毎月 第3金曜日	町民ほか

④ 芸術・文化事業の推進

推進項目	町出身の芸術家や芸術・文化を愛する町民の作品等を発表する機会を設けるなど、芸術・文化のさらなる振興発展を促進します。		
推進事業・事項など	図書館の空きスペースを地元の芸術家や文化人の作品展示スペースとして開放する。		
事業名	事業の概要	開催期間	参加対象
ふらっとあ〜と	町民による作品展 十勝地方の水性植物と民俗（写真展） 幕別切り絵の会作品展	5月 6月	町民ほか